

基本計画書

基本計画書										
事項		記入欄								備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者		カウコリホクシンアオハカクエン 学校法人青葉学園								
フリガナ大学の名称		トウキョウリョウホケンダイガク 東京医療保健大学 (Tokyo Healthcare University)								
大学本部の位置		東京都品川区東五反田四丁目1番17号								
大学の目的		本学は、「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」を建学の精神及び教育理念とし、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める高い専門性及び豊かな人間性と幅広い教養並びに高い倫理性を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して新しい視点から総合的に探求し解決することのできる人材を育成する。								
新設学部等の目的		変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、臨床判断し、確かな看護の実践能力をもって発展的に未来の看護を創造しうる看護職を育成を目的としている。 和歌山県内では高齢社会が進展し、地域包括ケアを推進・実現する多様な場面で活躍できる質の高い医療職人材の育成・確保が必要とされる。和歌山県内における社会のニーズに応え、さらなる医療職人材を育成を行う必要があるため、収容定員を変更する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	医療保健学部看護学科	4年	100人	—年次人	400人	学士（看護学）	保健衛生学関係	平成17年4月第1年次	東京都品川区東五反田4-1-17	
	医療栄養学科	4	100	—	400	学士（栄養学）	同上	平成17年4月第1年次	東京都世田谷区世田谷3-11-3	
	医療情報学科	4	80	—	320	学士（医療情報学）	同上	平成17年4月第1年次	同上	
	東が丘看護学部看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	同上	令和2年4月第1年次	東京都目黒区東が丘2-5-1	
	立川看護学部看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	同上	令和2年4月第1年次	東京都立川市緑町3256	
	千葉看護学部看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	同上	平成30年4月第1年次	千葉県船橋市海神町西1-1042-2	
	和歌山看護学部看護学科	4	100(90)	—	400(360)	学士（看護学）	同上	令和7年4月第1年次	和歌山県和歌山市東坂ノ上丁3 和歌山県和歌山市小松原通4-20	
	計		680(670)	—	2,720(2,680)					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし								

教育 課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
			講義	演習	実験・実習	計					
	—	—	一科目	一科目	一科目	一科目	—単位				
学部等の名称			基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
			教授	准教授	講師	助教	計				
新	医療保健学部 看護学科		14人 (14)	9人 (9)	4人 (4)	1人 (1)	28人 (28)	4人 (4)	22人 (22)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		14 (14)	7 (7)	4 (4)	1 (1)	26 (26)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)				
	小計（a～b）		14 (14)	9 (9)	4 (4)	1 (1)	28 (28)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）		14 (14)	9 (9)	4 (4)	1 (1)	28 (28)				
	医療保健学部 医療栄養学科		8 (8)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	19 (19)		5 (5)		1 (1)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		5 (5)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	16 (16)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)				
小計（a～b）		8 (8)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	19 (19)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
計（a～d）		8 (8)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	19 (19)					
医療保健学部 医療情報学科		5 (5)	0 (0)	4 (4)	6 (6)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		4 (4)	0 (0)	4 (4)	6 (6)	14 (14)					
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)					
小計（a～b）		5 (5)	0 (0)	4 (4)	6 (6)	15 (15)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
計（a～d）		5 (5)	0 (0)	4 (4)	6 (6)	15 (15)					
設	東が丘看護学部 看護学科		9 (9)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	19 (19)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		9 (9)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	21 (21)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）		9 (9)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	21 (21)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）		9 (9)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	21 (21)				

分	立川看護学部 看護学科		7 (7)	6 (6)	6 (6)	2 (2)	21 (21)	4 (4)	6 (6)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	6 (6)	6 (6)	2 (2)	20 (20)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)				
	小計（a～b）	7 (7)	6 (6)	6 (6)	2 (2)	21 (21)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	7 (7)	6 (6)	6 (6)	2 (2)	21 (21)				
	千葉看護学部 看護学科		7 (7)	5 (5)	5 (5)	3 (3)	20 (20)	2 (2)	11 (11)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	5 (5)	3 (3)	20 (20)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	7 (7)	5 (5)	5 (5)	3 (3)	20 (20)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	7 (7)	5 (5)	5 (5)	3 (3)	20 (20)				
	和歌山看護学部 看護学科		7 (7)	8 (8)	5 (5)	10 (10)	30 (30)	1 (1)	6 (6)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	8 (8)	5 (5)	10 (10)	30 (30)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	7 (7)	8 (8)	5 (5)	10 (10)	30 (30)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	7 (7)	8 (8)	5 (5)	10 (10)	30 (30)				
	計		57 (57)	44 (44)	30 (30)	23 (23)	154 (154)	16 (16)	65 (65)	
既設分			－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 〇〇人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	小計（a～b）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	計（a～d）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	計		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
	合 計		57 (57)	44 (44)	30 (30)	23 (23)	154 (154)	16 (16)	65 (65)	

職 種			専 属		その他		計				
事 務 職 員			81 (81)		26 (26)		107 (107)				
技 術 職 員			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
図 書 館 職 員			4 (4)		6 (6)		10 (10)				
そ の 他 の 職 員			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
指 導 補 助 者			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計			85 (85)		32 (32)		117 (117)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		大学全体 (必要面積:4,000㎡) 借用面積:5,830㎡ 借用期間:30年		
	校 舎 敷 地	46,525㎡	0㎡		0㎡		46,525㎡				
	そ の 他	4,598㎡	0㎡		0㎡		4,598㎡				
	合 計	51,123㎡	0㎡		0㎡		51,123㎡				
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		大学全体 (必要面積:3,140㎡) 借用面積:4,019㎡ 借用期間:20年		
		55,082㎡ (55,082㎡)	(0㎡)		(0㎡)		55,082㎡ (55,082㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	71室		教 員 研 究 室		200室		大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	電子ジャーナルは大学 契約、全キャンパス 閲覧可
	大学全体	153,699 [2,618] (153,699 [2,618])	202 [0] (202 [0])		1,368 [226] (1,368 [226])		4,498 [2,916] (4,498 [2,916])		15,397 (15,397)	389 (389)	
	計	153,699 [2,618] (153,699 [2,618])	202 [0] (202 [0])		1,368 [226] (1,368 [226])		4,498 [2,916] (4,498 [2,916])		15,397 (15,397)	389 (389)	
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体			
		5,939㎡		0㎡		5,475㎡					
経費 の見 積り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	大学全体	
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	— 千円	— 千円		
		共同研究費等		7,000千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円	— 千円	— 千円		
		図 書 購 入 費	25,000千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円	— 千円	— 千円		
	設 備 購 入 費	320,000千円	320,000千円	320,000千円	320,000千円	320,000千円	— 千円	— 千円			
	学生1人当り 納付金			第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	医療保健学部 看護学科			1,904千円	1,604千円	1,604千円	1,604千円	—	—		
	医療保健学部 医療栄養学科			1,617千円	1,317千円	1,317千円	1,317千円	—	—		
	医療保健学部 医療情報学科			1,503千円	1,203千円	1,203千円	1,203千円	—	—		
	東が丘看護学部 看護学科			1,904千円	1,604千円	1,604千円	1,604千円	—	—		
	立川看護学部 看護学科			1,903千円	1,603千円	1,603千円	1,603千円	—	—		
	千葉看護学部 看護学科			1,905千円	1,605千円	1,605千円	1,605千円	—	—		
	和歌山看護学部 看護学科			1,902千円	1,602千円	1,602千円	1,602千円	—	—		
	医療保健学研究科 医療保健学専攻 (修士課程)			1,584千円	1,004千円	—	—	—	—		
	医療保健学研究科 医療保健学専攻 (博士課程)			2,024千円	1,404千円	1,404千円	—	—	—		
	看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)			1,584千円	1,204千円	—	—	—	—		
	看護学研究科 看護学専攻 (博士課程)			2,024千円	1,404千円	1,404千円	—	—	—		

	千葉看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)		1,584千円	1,004千円	—	—	—	—	
	和歌山看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)		1,200千円	900千円	—	—	—	—	
	助産学専攻科		1,643千円	—	—	—	—	—	
	和歌山助産学専攻科		1,610千円	—	—	—	—	—	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常経費補助金等						
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		東京医療保健大学						
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地
	医療保健学部	年	人	年次	人		倍		
	看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.17	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田4-1-17
	医療栄養学科	4	100	—	400	学士（栄養学）	0.66	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷3-11-3
	医療情報学科	4	80	—	320	学士（医療情報学）	0.67	平成17年度	同上
	東が丘看護学部								
	看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.14	令和2年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1
	立川看護学部								
	看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.14	令和2年度	国立病院機構立川キャンパス 東京都立川市緑町3256
	千葉看護学部								
	看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.12	平成30年度	船橋キャンパス 千葉県船橋市海神町西1-1042-2
	和歌山看護学部								
	看護学科	4	90	—	360	学士（看護学）	1.12	平成30年度	雄湊キャンパス 和歌山県和歌山市東坂ノ上丁3番地 日赤和歌山医療センターキャンパス 和歌山県和歌山市小松原通4-20
	大学院								
	医療保健学研究科 医療保健学専攻 (修士課程)	2	33	—	66	修士 (看護マシナント学) (感染制御学) (医療栄養学) (医療保健情報学) (助産学) (周手術医療安全学)	1.04	平成19年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田4-1-17
	医療保健学専攻 (博士課程)	3	4	—	12	博士 (感染制御学) (周手術医療安全学)	2.00	平成19年度	同上
	看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	2	40	—	80	修士 (看護学) (助産学)	0.95	平成25年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1
	看護学専攻 (博士課程)	3	2	—	6	博士 (成育看護学) (地域環境保健学)	0.33	平成26年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1
	和歌山看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (看護学)	0.75	令和2年度	日赤和歌山医療センターキャンパス 和歌山県和歌山市小松原通4-20
	千葉看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (看護学)	1.75	令和3年度	船橋キャンパス 千葉県船橋市海神町西1-1042-2
	専攻科								
	助産学専攻科	1	15	—	15	修了認定	1.33	平成21年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田4-1-17
	和歌山助産学専攻科	1	10	—	10	修了認定	0.90	令和4年度	日赤和歌山医療センターキャンパス 和歌山県和歌山市小松原通4-20

附属施設の概要	名称：国際交流センター 目的：国際的通用性の高い教育研究の推進のため 所在地：東京都品川区東五反田4丁目1番17号 設置年月：平成24年4月1日 規模等：22.56㎡	
	名称：感染制御学研究センター 目的：感染制御学の分野で基礎、応用研究を行う。 所在地：東京都品川区東五反田4丁目1番17号 設置年月：平成24年4月1日 規模等：22.56㎡	
	名称：メディテーションセンター 目的：医療・健康・保健面における「生命倫理観、生死間」に対する実践的理解及び「メンタルケア」の技術力向上に關すること等の業務を行う 所在地：東京都台東区浅草橋3丁目21番7号 不二禅堂 設置年月：平成25年5月1日 規模等：155.2㎡	
	名称：放射線看護研修センター 目的：医療領域等における放射線利用を理解し、放射線利用に伴う被ばくの最適化等の判断ができ、国民、患者等の放射線利用に伴う安全安心の確保に専門職として貢献できる看護職を育成に關すること等の業務を行う。 所在地：東京都目黒区東が丘2丁目5番1号 設置年月：平成30年4月1日 規模等：155.2㎡	
	名称：情報教育研究センター 目的：経済産業省が創出を推進している医療産業界で、医療系、情報系資格の確かな知識を持って貢献できる人材を育成する等の業務を行う。 所在地：東京都世田谷区世田谷3丁目11番3号 設置年月：平成30年10月1日 規模等：31.5㎡	
	名称：和歌山看護実践研究センター 目的：和歌山県に居住する人々の医療と健康に資するため、看護学基礎教育の充実、和歌山県で活躍する看護職の看護実践能力、看護教育力、看護研究能力といった看護の質の向上を図ること等の業務を行う。 所在地：和歌山県和歌山市小松原通4-20 設置年月：令和3年4月1日 規模等：17.7㎡	

学校法人 青葉学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度				令和7年度			
				入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
東京医療保健大学				東京医療保健大学			
医療保健学部				医療保健学部			
看護学科	100	—	400	看護学科	100	—	400
医療栄養学科	100	—	400	医療栄養学科	100	—	400
医療栄養学科	80	—	320	医療栄養学科	80	—	320
東が丘看護学部				東が丘看護学部			
看護学科	100	—	400	看護学科	100	—	400
立川看護学部				立川看護学部			
看護学科	100	—	400	看護学科	100	—	400
千葉看護学部				千葉看護学部			
看護学科	100	—	400	看護学科	100	—	400
和歌山看護学部				和歌山看護学部			
看護学科	90	—	360	看護学科	100	—	400
計				670		2,680	定員変更（10）
				680		2,720	
東京医療保健大学大学院				東京医療保健大学大学院			
医療保健学研究科				医療保健学研究科			
医療保健学専攻（修士課程）	33	—	66	医療保健学専攻（修士課程）	33	—	66
医療保健学専攻（博士課程）	4	—	12	医療保健学専攻（博士課程）	4	—	12
看護学研究科				看護学研究科			
看護学専攻（修士課程）	40	—	80	看護学専攻（修士課程）	40	—	80
看護学専攻（博士課程）	2	—	6	看護学専攻（博士課程）	2	—	6
和歌山看護学研究科				和歌山看護学研究科			
看護学専攻（修士課程）	12	—	24	看護学専攻（修士課程）	12	—	24
千葉看護学研究科				千葉看護学研究科			
看護学専攻（修士課程）	8	—	16	看護学専攻（修士課程）	8	—	16
計				99		204	
東京医療保健大学専攻科				東京医療保健大学専攻科			
助産学専攻科	15	—	15	助産学専攻科	15	—	15
和歌山助産学専攻科				和歌山助産学専攻科			
	10	—	10		10	—	10
計				25		25	

- 1 書類等の題名
「①和歌山県内における既存キャンパスの位置関係」
図面 1 ページ
- 2 出典
Google map
- 3 引用範囲
<https://www.google.co.jp/maps>
- 4 その他の説明
地図中の雄湊キャンパス、日赤和歌山医療センターキャンパスの位置を印し、注釈を付けた。

- 1 書類等の題名
「②和歌山市内におけるキャンパスの位置関係図（詳細）」
図面 2 ページ
- 2 出典
Google map
- 3 引用範囲
<https://www.google.co.jp/maps>
- 4 その他の説明
和歌山県和歌山市周辺の地図上で、「雄湊キャンパス」と「日赤和歌山医療センターキャンパス」の位置を示す注釈を付けた。

- 1 書類等の題名
「最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面＜和歌山＞」
図面 3 ページ
- 2 出典
Google map
- 3 引用範囲
<https://www.google.co.jp/maps>
- 4 その他の説明
和歌山県和歌山市周辺の地図上で、JR 和歌山駅と南海和歌山市駅、「雄湊キャンパス」と「日赤和歌山医療センターキャンパス」の位置関係、またキャンパス間の位置関係を明示した。

道路境界線

第二別館
延床面積：
654.03㎡

道路境界線

ポンプ室(16棟)
延床面積：12.55㎡

道路境界線

前面道路

カフェテリア棟
延床面積：
302.68㎡

本館
延床面積：1,473.94㎡

渡り廊下

別館
延床面積：1,516.62㎡

非常用ポンプ室(23棟)
延床面積：12.6㎡

道路境界線

体育館
延床面積：932.27㎡

歴史資料館
延床面積：133.92㎡

実習棟
延床面積：267.84㎡

道路境界線

道路境界線



道路境界線

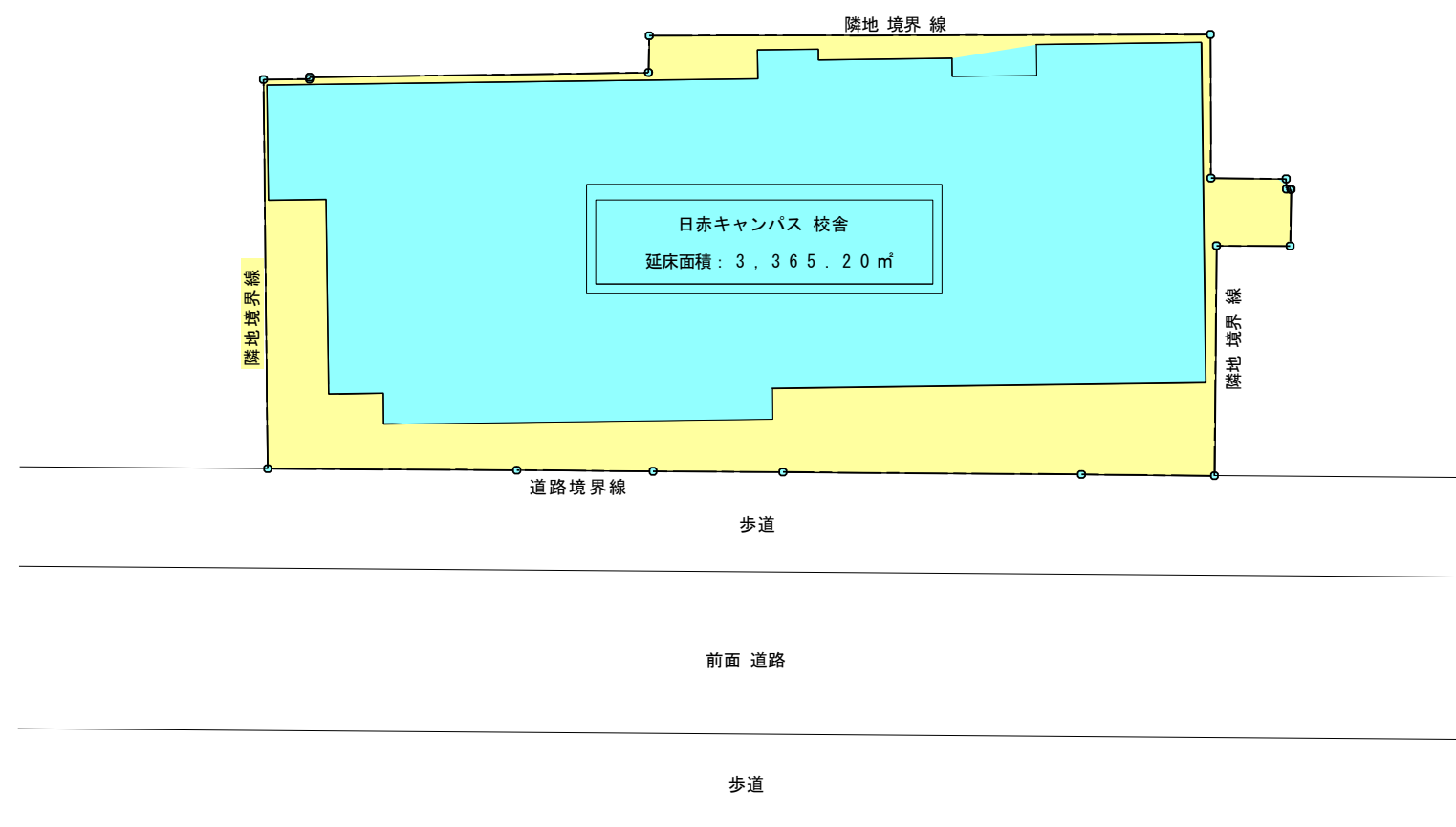
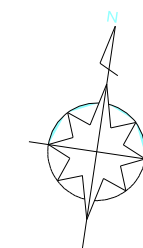
道路境界線

校地面積 5,830.41 ㎡
校舎面積 4,215.11 ㎡

校地内の校舎はすべて和歌山看護学部の専用として使用する。

道路境界線

-図面-4-



校地面積 1,361.77 m²
校舎面積 3,365.20 m²

-  和歌山看護学部・大学院和歌山看護学研究科・和歌山助産学専攻科共有
-  大学院和歌山看護学研究科占有
-  和歌山助産学専攻科占有

工事名	東京医療保健大学 日赤キャンパス校	DATE		DRAWING NO. /
図面名	配置図	SCALE	1/200 (A1) 1/400 (A3)	
 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡本設計				

(1) 学則案の全文

東京医療保健大学学則

第1章 総則

(本学の建学の精神・理念・目的)

第1条 本学は、教育基本法に基づき学校教育法の定める大学として、また私立学校法に従い、知識社会が実現すると予想される21世紀において、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することの出来る人材の育成を目的とする。

(医療保健学部理念・目的)

第1条の2 医療保健学部看護学科、医療栄養学科及び医療情報学科を設置し、医療保健学部においては「ますます高度化する医療保健活動に対応し、グローバルな視点で活動できる高度な知識・技術を持った専門職の育成」、「医療保健活動のチーム化を踏まえ、他の専門職と協調して医療保健活動を遂行できる人材の育成」及び「医療保健活動の原点とも言うべき「現場」に興味を持ち、「現場」を愛する専門職の育成」を図るとともに、「教育研究成果のエッセンスを相互に提供し合うことで幅広い視野を持った専門職及びチーム医療人として協調・協力が出来る人材の育成」を図る。

(医療保健学部看護学科の理念・目的)

第1条の3 医療保健学部看護学科においては、「新しい時代のニーズに対応した看護師及び保健師の養成」、「本学の教育環境を活かした、医療現場におけるチーム医療の中核として活躍できる人材の育成」及び「看護師に必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(医療保健学部医療栄養学科の理念・目的)

第1条の4 医療保健学部医療栄養学科においては、「新しい時代のニーズに合った医療を意識した高度専門職の養成」、「栄養学分野の高度専門職として、チーム医療において他の関連専門職とともに的確に責務を果たせる栄養サポートチームの中核として活躍できる人材の育成」及び「人間存在の根源的問題である「食」に取り組むために必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(医療保健学部医療情報学科の理念・目的)

第1条の5 医療保健学部医療情報学科においては、「医療現場を理解することで、病院等の現場及び医療・健康に関する企業等で、情報技術の専門職として活躍できる人材の育成」及び「医療保健の専門職に必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(東が丘・立川看護学部の理念・目的)

第1条の6 <削除>

(東が丘看護学部理念・目的)

第1条の7 東が丘看護学部看護学科を設置し、変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、確かな看護の実践能力をもって将来の看護を発展的に創造しうる看護職の育成を図るとともに、寛容と温かみのある人間性と看護実践能力を中心に自己啓発能力、キャリア開発能力を養い、将来の日本の医療保健福祉を支える実践力を備えた看護師＝“tomorrow’s Nurse”の育成を図る。

(立川看護学部理念・目的)

第1条の8 立川看護学部看護学科を設置し、寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神を持ち、変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、確かな看護の実践能力をもって将来の看護を発展的に創造しうる看護職を育成するとともに、人々の健康を支援することができる看護の実践力、災害時の健康危機に対応することができる災害対応能力及び看護を探究する能力を兼ね備えた、地域社会の医療・保健・福祉の将来を専門職として支えていく“地域から信頼される Nurse”の育成を図る。

(千葉看護学部理念・目的)

第1条の9 千葉看護学部看護学科を設置し、「確かな情報収集力と倫理観をもとに創造力を伸張」し、「高度な看護アセスメント能力と看護技術を持ちながら自己研さんし続ける」ことができ、「地域で暮らす人々の生活を見すえた看護ケアを提供しうる看護職」の育成を図る。

(和歌山看護学部理念・目的)

第1条の10 和歌山看護学部看護学科を設置し、変化する時代、社会を幅広く見据えながら、自律した専門職として、豊かな人間性と倫理観、高い看護実践能力をもち、発展的に地域社会の看護を創造しうる看護職の育成を図る。

(名称)

第2条 本学は、東京医療保健大学と称する。

(位置)

第3条 本学は、東京都品川区東五反田四丁目1番17号、東京都世田谷区世田谷三丁目11番3号、東京都目黒区東が丘二丁目5番1号、東京都立川市緑町3256番地、千葉県船橋市海神町西1丁目1042番地2及び和歌山県和歌山市東坂ノ上丁3番地に設置する。

第2章 自己評価及び第三者評価等

(自己点検・評価)

第4条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

- 2 本学に自己点検・評価を行うため、東京医療保健大学自己点検・評価委員会を独立した特別委員会として設置する。

3 自己点検・評価に関する事項は別に定める。

(第三者評価)

第5条 自己点検・評価報告書を、一定の期間ごとに作成し、文部科学大臣の認証を受けた「認証評価機関」の評価を受ける。

(情報の積極的な公開)

第6条 本学は、大学経営の透明性を高め社会に対する説明責任を果たすため、学内における教育研究活動の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開する。

第3章 学科、定員及び修業年限

(学部及び学科)

第7条 本学に医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部を設け、次の学科を置く。

医療保健学部	看護学科、医療栄養学科、医療情報学科。
東が丘看護学部	看護学科。
立川看護学部	看護学科。
千葉看護学部	看護学科。
和歌山看護学部	看護学科。

(学生定員)

第8条 本学の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	収容定員
医療保健学部	看護学科	100 名	400 名
	医療栄養学科 (うち管理栄養学 専攻)	100 (68)	400
	医療情報学科	80	320
	計	280	1,120
東が丘看護学部	看護学科	100	400
立川看護学部	看護学科	100	400
千葉看護学部	看護学科	100	400
和歌山看護学部	看護学科	<u>100</u>	<u>400</u>
合 計		<u>680</u>	<u>2,720</u>

(修業年限及び在学年限)

第9条 本学の修業年限は4年とする。在学期間は、8年を超えることはできない。
ただし、編入学、転入学及び再入学した者はその者が在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第4章 教育課程及び授業科目の設置等

(教育課程)

第10条 教育課程は、本学の教育上の目標を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとする。

(副専攻)

第10条の2 前条により編成する教育課程として、特定の分野または課題の授業科目で構成する副専攻を設置し、その学修成果を認定することができる。

2 副専攻に関して必要な事項は別に定める。

(授業科目の設置等)

第10条の3 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部に教育上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

2 医療保健学部の授業科目は、「いのち・人間の教育分野(全学科共通)」、「医療のコラボレーション教育分野(全学科共通)」、「専門職の教育分野(各学科毎)」、「養護教諭教職課程(看護学科)」及び「栄養教諭教職課程(医療栄養学科)」で構成する。

3-(1) 東が丘・立川看護学部(平成23年度入学生まで適用) <削除>

3-(2) 東が丘・立川看護学部(平成24年度入学生から適用) <削除>

3-(3) 東が丘・立川看護学部(平成27年度入学生から適用) <削除>

4 東が丘看護学部(令和2年度入学生から適用)

東が丘看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「統合分野」で構成する。

5-(1) 立川看護学部(令和2年度入学生から適用)

立川看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「統合分野」で構成する。

5-(2) 立川看護学部(令和4年度入学生から適用)

立川看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」で構成する。

6 千葉看護学部(平成30年度入学生から適用)

千葉看護学部の授業科目は、「いのち・人間の教育分野」、「専門職の教育分野」及び「養護教諭教職課程」で構成する。

7-(1) 和歌山看護学部(平成30年度入学生から適用)

和歌山看護学部の授業科目は、「豊かな人間性を育む分野」、「看護の基盤をつくる分野」、「看護実践能力を高める分野」及び「養護教諭教職課程」で構成する。

7-(2) 和歌山看護学部(令和4年度入学生から適用)

和歌山看護学部の授業科目は、「教養分野」、「専門分野」及び「養護教諭教職課程」で構成する。

(授業科目の種類及び単位等)

第11条 前条の授業科目の種類及び単位等は、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5及び別表第6のとおりとする。

(授業の方法)

第12条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業については、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(単位の算定基準)

第13条 1 単位の授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、おおむね 15 時間から 30 時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験及び実習については、30 時間から 45 時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を考慮して単位数を定めることがある。

(授業期間)

第14条 各授業科目の授業は、十分な教育効果を上げることができるよう、学長が別に定める適切な期間（以下「学事歴」という。）を単位として行う。

(履修単位の認定)

第15条 授業科目を履修し、その試験その他の学長が定める適切な方法により学修の成果の評価に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第16条 授業科目の試験の成績は、S、A、B、C、Dの評価で表し、C以上を合格とし、Dは不合格とする。

第5章 履修・卒業・国家試験受験資格

(医療保健学部の卒業要件)

第17条 医療保健学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計 126 単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

3 医療栄養学科に履修上の区分として、管理栄養学専攻及び臨床検査学専攻を置く。

4 第1項の授業科目の区分ごとに最低履修単位数は、各学科により、以下のとおりとする。

(1)-1 看護学科（平成 20 年度入学生まで適用）＜削除＞

(2)-2 看護学科（平成 21 年度入学生及び平成 22 年度入学生限り適用）

＜削除＞

(1)-3 看護学科（平成 23 年度入学生限り適用）＜削除＞

(1)-4 看護学科（平成 24 年度入学生から適用）

「いのち・人間の教育分野」については 12 単位、「医療のコラボレーション教育分野」については 18 単位、「専門職の教育分野」については 83 単位、上記 3 分野からの選択科目 13 単位の合計 126 単位以上とする。

- (2)-1 医療栄養学科 (平成 22 年度入学生限り適用) <削除>
- (2)-2 医療栄養学科 (平成 23 年度入学生限り適用) <削除>
- (2)-3 医療栄養学科 (平成 24 年度入学生から平成 27 年度入学生まで適用)
<削除>
- (2)-4 医療栄養学科 (平成 28 年度入学生から令和 5 年度入学生まで適用)
「いのち・人間の教育分野」については 14 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 20 単位、「専門職の教育分野」については 80 単位、
上記 3 分野からの選択科目 12 単位の合計 126 単位以上とする。
- (2)-5 医療栄養学科 (令和 6 年度入学生から適用)
○管理栄養学専攻
「いのち・人間の教育分野」については 14 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 20 単位、「専門職の教育分野」については 80 単位、
上記 3 分野からの選択科目 12 単位の合計 126 単位以上とする。
○臨床検査学専攻
「いのち・人間の教育分野」については 16 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 13 単位、「専門職の教育分野」については 88 単位、
上記 3 分野からの選択科目 9 単位の合計 126 単位以上とする。
- (3)-1 医療情報学科 (平成 18 年度及び平成 20 年度入学生に適用) <削除>
- (3)-2 医療情報学科 (平成 19 年度入学生に適用) <削除>
- (3)-3 医療情報学科 (平成 21 年度入学生及び平成 22 年度入学生限り適用)
<削除>
- (3)-4 医療情報学科 (平成 23 年度入学生限り適用) <削除>
- (3)-5 医療情報学科 (平成 24 年度入学生から平成 27 年度入学生まで適用)
<削除>
- (3)-6 医療情報学科 (平成 28 年度入学生から平成 31 年度入学生まで適用)
「いのち・人間の教育分野」については 12 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 20 単位、「専門職の教育分野」については 70 単位、
上記 3 分野からの選択科目 24 単位以上の合計 126 単位以上とする。
- (3)-7 医療情報学科 (令和 2 年度入学生から令和 4 年度入学生まで適用)
「いのち・人間の教育分野」については 12 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 20 単位、「専門職の教育分野」については 68 単位、
上記 3 分野からの選択科目 26 単位以上の合計 126 単位以上とする。
- (3)-8 医療情報学科 (令和 5 年度入学生から適用)
「いのち・人間の教育分野」については 12 単位、「医療のコラボレーション
教育分野」については 13 単位、「専門職の教育分野」については 41 単位、
上記 3 分野からの選択科目 60 単位以上の合計 126 単位以上とする。

(東が丘・立川看護学部学生の卒業要件)

第 17 条の 2 <削除>

(東が丘看護学部の卒業要件)

第 17 条の 3 東が丘看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最
低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、
合計 124 単位以上を修得しなければならない。

- 2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。
 - (1)-1 看護学科（令和3年度入学生まで適用）

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。
 - (1)-2 看護学科（令和4年度入学生から適用）

「基礎分野」については14単位、「専門基礎分野」については29単位、「専門分野」については59単位、「統合分野」については14単位、上記4分野からの選択科目8単位の合計124単位以上とする。

（立川看護学部の卒業要件）

- 第17条の4 立川看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計130単位以上を修得しなければならない。
- 2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
 - 3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。
 - (1) - 1 看護学科（令和3年度入学生まで適用）

「基礎分野」については15単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については53単位、「統合分野」については25単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。
 - (1) - 2 看護学科（令和4年度入学生から適用）

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については32単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計130単位以上とする。

（千葉看護学部の卒業要件）

- 第17条の5 千葉看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計126単位以上を修得しなければならない。
- 2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
 - 3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

看護学科(平成30年度入学生から適用)

「いのち・人間の教育分野」については15単位、「専門職の教育分野」については100単位、上記2分野からの選択科目11単位の合計126単位以上とする。
 - 4 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

看護学科(令和4年度入学生から適用)

「いのち・人間の教育分野」については15単位、「専門職の教育分野」については101単位、上記2分野からの選択科目10単位の合計126単位以上とする。

(和歌山看護学部の卒業要件)

第17条の6 和歌山看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計126単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

(1) - 1 看護学科(平成30年度入学生から適用)

「豊かな人間性を育む分野」については14単位、「看護の基盤をつくる分野」については33単位、「看護実践能力を高める分野」については66単位、上記3分野からの選択科目13単位の合計126単位以上とする。

(1) - 2 看護学科(令和4年度入学生から適用)

「教養分野」については18単位、「専門分野」については91単位、上記2分野からの選択科目17単位の合計126単位以上とする。

(国家試験受験資格)

第18条 医療保健学部看護学科、東が丘看護学部看護学科、立川看護学部看護学科、千葉看護学部看護学科、和歌山看護学部看護学科並びに医療保健学部医療栄養学科の卒業要件を満たした者は、次の国家試験の受験資格を取得できるものとする。

(1) 医療保健学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
看護師
保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
保健師

(2) <削除>

(3) 東が丘看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
看護師

(4) 立川看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
看護師

(5) 千葉看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
看護師
保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
保健師

(6) 和歌山看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
看護師
保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
保健師

(7) 医療保健学部医療栄養学科

管理栄養士国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
管理栄養士

臨床検査技師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者
臨床検査技師

(教育職員免許状の資格取得)

第18条の2 第10条及び第11条に定める単位を修得した上、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の科目を履修し、その単位を修得した者は、次の教育職員免許状の資格を取得することができる。

学部	学科	教育職員免許状の種類
医療保健学部	看護学科	養護教諭一種免許状 養護教諭二種免許状
	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状
千葉看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
		養護教諭二種免許状
和歌山看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
		養護教諭二種免許状

(他の大学又は短期大学等における授業科目の履修等)

第19条 教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 前項に基づき、本学と単位互換協定を結んだ他の大学で単位互換履修生等として授業科目を履修し修得した単位について、前項の60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすものとする。

3 第1項の規定は、外国の大学へ留学する場合についても準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第20条 教育上有益と認めるときは、学生が行う大学以外の教育施設等における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。

2 前項により与えることができる単位数は、前条により大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第21条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。

3 前2項により修得したものとみなし、別に定めるところにより単位を与える

ことのできる単位数は、編入学・転入学等の場合を除き、本学において取得した単位以外のものについては、第 15 条及び第 16 条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(卒業及び学位授与)

第 22 条 本学に 4 年以上在学し、第 14 条による所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者を卒業とし、学士の学位を授与する。

(学位の種類)

第 23 条 本学を卒業した者には、学士の学位を授与し、学位記に専攻分野を次のとおり付記する。

- (1) 医療保健学部看護学科、東が丘看護学部看護学科、立川看護学部看護学科、千葉看護学部看護学科、和歌山看護学部看護学科：学士（看護学）。
- (2) 医療保健学部医療栄養学科：学士（医療栄養学）。
- (3) 医療保健学部医療情報学科：学士（医療情報学）。

第 6 章 学年・学期・休業

(学年)

第 24 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わるものとする。

(学期)

第 25 条 学年を分けて次の 2 学期とし、さらに各学期を前半と後半に分けて運用する。

前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(休業日)

第 26 条 本学における休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日。
 - (2) 土曜日。
 - (3) 国民の祝日に関する法律に規定する休日。
 - (4) その他理事長が指定した日。
- 2 必要であると認める場合は、前項の定めにかかわらず、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することがある。

第 7 章 入学・休学等

(入学の時期)

第 27 条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第 28 条 入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者。
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

(5) 文部科学大臣の指定した者。

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）。

(7) 本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

（入学志願手続き）

第 29 条 入学志願者は、本学所定の入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添え、願出ねばならない。

（入学者の選考）

第 30 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続き）

第 31 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、直ちに保証人を定め、別に定める所定の手続きをしなければならない。

（入学許可）

第 32 条 前条の入学手続きを完了した者には学長が入学を許可する。

（休学）

第 33 条 学生が疾病その他やむを得ない事由によって 2 ヶ月以上修学することができないときは、その事由を示す書面を添え、保証人と連署して学長に願出ることとし、学長の許可を得て休学することができる。

2 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、新たに休学願出を提出し、学長の許可を得て休学期間を延長することができる。

3 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。

4 休学期間は、第 9 条の在学期間には算入しない。

5 休学期間については、別に定めるところにより学費を減額する。

（復学）

第 34 条 休学者が復学しようとするときは、保証人と連署の復学願を学長に提出し、許可を受けなければならない。

（留学）

第 35 条 外国の大学で学修することを希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、在学期間を含めることができる。

（編入・転入学・再入学）

第 36 条 次の各号に該当する者で、本学への入学を志望する者があるときは、選考のうえ、学長が相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者。

(2) 短期大学、高等専門学校等を卒業した者。

(3) 本学の退学者又は卒業生で再び入学を願出た者。

2 前項により入学を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、その取り扱いを別に定めることとする。

（転学科）

第37条 本学の他学科への転学科を志望する者があるときは、選考のうえ、学長が相当年次に転学科を許可することがある。

- 2 前項により転学科を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、その取り扱いを別に定めることとする。

(他大学への転学)

第38条 本学から他大学に転学しようとする者は、事由を記して学長に願い出て許可を得なければならない。

(退学)

第39条 疾病その他の事由により退学しようとするときは、保証人と連署の退学願いを学長に提出し、許可を受けなければならない。

(除籍)

第40条 次の各号の一に該当するものは学長が除籍する。

- (1) 学費を滞納し督促を受けても納入しない者。
- (2) 在学年数8年を超えた者。
- (3) 休学期間満了になっても復学願を提出しない者。
- (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者。

(休学等の手続き)

第40条の2 第33条(休学)～第40条(除籍)に係る手続きについては、学長が別に定める。

第8章 検定料・学費及び諸納金

(学費及び諸納金)

第41条 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の検定料は別表第9、医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の入学金、授業料、施設費、維持費、実験実習費及び諸納金は別表第10に定めるとおりとする。なお、その納入については、別に定める規程によるものとする。

- 2 助産学専攻科の検定料、学費及び諸納金は、別表第11、和歌山助産学専攻科の検定料、学費及び諸納金は、別表第12に定めるとおりとする。
- 3 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の科目等履修生及び研究生の学費については、別表第13及び別表第14に定めるとおりとする。
- 4 休学・復学・停学等の場合の授業料等については別に定めるものとする。

(学費等の返還制限)

第42条 一度納入した検定料、学費及び諸納金はこれを返還しない。

第9章 助産学専攻科

(目的及び構成)

第43条 本学に、助産学専攻科(以下「専攻科」という。)を置く。

- 2 専攻科に専攻科長を置き、医療保健学部看護学科長をもって充てる。
- 3 専攻科は、助産師として周産期のみならずライフサイクル全般にある女性、

乳幼児、家族、地域社会を対象に、全ての女性に寄り添い、女性の内なる力を信じ、人間性を重視したケア・支援を行う専門職の育成を行うとともに、特に、問題解決能力、判断力及び実践力を基盤にし、そのスキルをもって母子保健の向上に貢献できる助産師の育成を目的とする。

- 4 専攻科の入学定員は、次のとおりとする。

専 攻 科	入 学 定 員
助 産 学 専 攻 科	1 5 名

第 4 3 条の 2 本学に、和歌山助産学専攻科（以下「和歌山専攻科」という。）を置く。

- 2 和歌山専攻科に専攻科長を置く。
- 3 和歌山専攻科長は、学部長の命を受け、当該専攻科の運営に関し、総括し、調整する。
- 4 和歌山専攻科長に関し必要な事項は、別に定める。
- 5 和歌山専攻科は、寛容と温かみのある豊かな人間性と生命に対する畏敬の念を涵養し、リプロダクティブヘルス/ライツの観点で女性と母子の well-being を促進し、優れた臨床判断能力と根拠に基づいた助産実践能力を有することで、地域母子保健の向上に寄与し、時代の変化に応じて助産を創造できる助産師の育成を目的とする。
- 6 和歌山専攻科の入学定員は、次のとおりとする。

専 攻 科	入 学 定 員
和歌山助産学専攻科	1 0 名

（修業年限及び在学年限）

第 4 4 条 専攻科の修業年限は、1 年とする。

- 2 専攻科の学生は、2 年を超えて在学することができない。

第 4 4 条の 2 和歌山専攻科の修業年限は、1 年とする。

- 2 和歌山専攻科の学生は、2 年を超えて在学することができない。

（入学資格）

第 4 5 条 専攻科及び和歌山専攻科に入学することができる者は、第 1 号に規定する者で、第 2 号以下のいずれかに該当する者とする。

- (1) 看護師資格を有する女子。
- (2) 大学を卒業した者。
- (3) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (4) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設にあつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。

(7)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

(8)文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。

(編入学、転入学及び再入学)

第46条 専攻科及び和歌山専攻科への編入学、転入学及び再入学は、これを認めない。

(教育課程及び履修方法等)

第47条 専攻科の授業科目及びその単位数並びに履修方法等については、別表第7のとおりとする。ただし、特別の必要がある場合は、臨時に授業科目を開設することがある。

2 前項に規定するものの他、履修方法等について、第13条(単位の算定基準)第1項、第15条(履修単位の認定)及び第16条(成績の評価)を準用する。

第47条の2 和歌山専攻科の授業科目及びその単位数並びに履修方法等については、別表第8のとおりとする。ただし、特別の必要がある場合は、臨時に授業科目を開設することがある。

(修了)

第48条 本学の専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより34単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

第48条の2 (令和4年度入学生から適用) 本学の和歌山専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより38単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

(令和6年度入学生から適用) 本学の和歌山専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより37単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

(修了の認定等)

第49条 学長は、前条の規定により、修了を認定された者に、修了証書を授与する。

(助産師国家試験受験資格)

第50条 専攻科及び和歌山専攻科の修了を認定された者は、助産師国家試験の受験資格を取得できるものとする。

(規定の準用)

第51条 専攻科及び和歌山専攻科については、この章に定めるもののほか、第24条(学年)、第25条(学期)、第26条(休業日)、第27条(入学の時期)、第29条(入学志願手続き)、第30条(入学者の選考)、第31条(入学手続き)、第32条(入学許可)、第33条(休学)、第34条(復学)、第39条(退学)、第40条(除籍)、第41条(学費及び諸納金)及び第42条(学費等の返還制限)の規定を準用する。ただし、第33条第2項から第4項及び第40条第2号は、準用しない。

2 前項により規定を準用する条文中「本学」とあるのは「本学助産学専攻科」及び「本学和歌山助産学専攻科」と、「学生」とあるのは「本学助産学専攻科学

生」及び「本学和歌山助産学専攻科学生」と読み替えるものとする。

第10章 職員組織

(職員構成)

第52条 本学職員の構成は、次のとおりとする。

学長、副学長、学部長、学科長、図書館長。

大学経営会議室長、事務局長、部長、センター長、次長、課長、係長、主任。

教育職員（教授、准教授、講師、助教、助手）。

事務職員。

その他、必要に応じて役職者を置く。

(学長)

第52条の2 学長は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第92条第3項に基づき校務をつかさどり、職員を統督する。

2 学長に関し必要な事項は、別に定める。

(副学長)

第52条の3 本学に、副学長を置く。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

(学部長)

第52条の4 学部、学部に、学部長を置く。

2 学部長は、学長の命を受け、当該学部の運営に関する校務をつかさどる。

3 学部長に関し必要な事項は、別に定める。

(学科長)

第52条の5 学科に、学科長を置く。

2 学科長は、学部長の命を受け、当該学科の運営に関し、総括し、調整する。

3 学科長に関し必要な事項は、別に定める。

(図書館長)

第52条の6 図書館に、館長を置く。

2 図書館長は、学長の命を受け、図書館の運営に関する校務をつかさどる。

3 図書館長に関し必要な事項は、別に定める。

(大学経営会議室長)

第52条の7 本学に、大学経営会議室長を置く。

2 大学経営会議室長は、大学経営会議室の事務を総括する。

(事務局長)

第52条の8 本学に、事務局長を置く。

2 事務局長は、事務局の事務を掌理する。

第11章 大学経営会議

(大学経営会議の設置及び組織)

第53条 大学経営に関する重要な事項を審議するため大学経営会議を置く。

- 2 大学経営会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
 - (1)理事長。
 - (2)理事及び評議員の中から理事長が指名する者 10 名。
 - (3)教授会構成員の中から及び学長・副学長を含め理事長が指名する者 11 名。
- 3 理事長は大学経営会議議長となる。
- 4 大学経営会議の事務局として、大学経営会議室を置く。
- 5 大学経営会議の運営は、これを別に定める。
- 6 大学経営会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。
 - (1)中長期計画の策定に関する事項。
 - (2)学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項。
 - (3)大学予算案の作成及び決算処理の方針に関する事項。
 - (4)教員人事に関する事項。
 - (5)学部・学科その他重要な施設・組織の設置改廃に関する事項。
 - (6)学生の定員に関する事項。
 - (7)その他、全学に関する重要な事項及び理事会の諮問に関する事項。

(学長選考委員会の設置と組織)

第 5 4 条 大学に大学経営会議の諮問機関として学長選考委員会を置く。

- 2 学長選考委員会は、大学経営会議の諮問を受け学長の選考・解任について審議し、理事長に答申する。
- 3 学長選考委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
 - (1)理事・評議員の中から選出された者 3 名
 - (2)教授会構成員の中から選出された者 2 名

第 1 2 章 学部長等会議

(学部長等会議の設置及び組織等)

第 5 5 条 大学の教学上の重要事項の企画・審議並びに連絡調整を行い大学経営会議に提案するために学部長等会議を置く。

- 2 学部長等会議は、学長、副学長、学部長、学科長、研究科長、大学経営会議室長、事務局長等をもって組織する。
- 3 学部長等会議の運営は、これを別に定める。
- 4 学部長等会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。
 - (1)年度計画に関する事項のうち、教育研究に関するもの。
 - (2)学則(教育研究に関する部分に限る)その他教育研究に係る重要な規程の制定又は改廃に関する事項。
 - (3)学生の円滑な就学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項。
 - (4)学生の在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項。
 - (5)各学部学科・研究科間の教育研究に係る連絡及び調整。
 - (6)学長選考委員の選出に関する事項。
 - (7)その他教育研究に関する重要事項。

(人事委員会の設置及び組織等)

第55条の2 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部、助産学専攻科、大学院医療保健学研究科、大学院看護学研究科及び大学院和歌山看護学研究科に係る教員人事に関する事項について選考・審議を行い、大学経営会議に提案するため東京医療保健大学人事委員会(以下「人事委員会」という。)を置く。

- 2 人事委員会は学長、各学部長、各学科長、助産学専攻科長、各研究科長、大学経営会議室長及び事務局長をもって組織する。
- 3 人事委員会の運営等は、これを別に定める。

第13章 教授会

(教授会の設置等)

第56条 大学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長、学科長、専任の教授をもって組織し、学長及び副学長は必要に応じて出席することができる。
- 3 教授会には、准教授その他の教員を加えることができる。
- 4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了。
 - (2) 学位の授与。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 教授会の組織、運営等は、これを別に定める。

第14章 図書館

(図書館)

第57条 本学に図書館を置き、学生、職員、卒業生及び特に許可したものに利用させる。

- 2 図書館の組織及び運営に関し必要な事項は、これを別に定める。

第15章 研究所、センター

(研究所)

第58条 本学に東京医療保健大学総合研究所を置く。

- 2 東京医療保健大学総合研究所の組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(国際交流センター)

第58条の2 本学に東京医療保健大学国際交流センターを置く。

- 2 東京医療保健大学国際交流センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(感染制御学教育研究センター)

第58条の3 本学に東京医療保健大学感染制御学教育研究センターを置く。

- 2 東京医療保健大学感染制御学教育研究センターの組織及び運営に関し必要な

事項は別に定める。

(メディテーションセンター)

第58条の4 本学に東京医療保健大学メディテーションセンターを置く。

2 東京医療保健大学メディテーションセンターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(放射線看護研修センター)

第58条の5 本学に東京医療保健大学放射線看護研修センターを置く。

2 東京医療保健大学放射線看護研修センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(情報教育研究センター)

第58条の6 本学に東京医療保健大学情報教育研究センターを置く。

2 東京医療保健大学情報教育研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(産後ケア研究センター)

第58条の7 本学に東京医療保健大学産後ケア研究センターを置く。

2 東京医療保健大学産後ケア研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(和歌山看護実践研究センター)

第58条の8 本学に東京医療保健大学和歌山看護実践研究センターを置く。

2 東京医療保健大学和歌山看護実践研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(保健センター)

第58条の9 本学に東京医療保健大学保健センターを置く。

2 東京医療保健大学保健センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

第16章 学長戦略本部

(学長戦略本部)

第59条 本学に東京医療保健大学学長戦略本部を置く。

2 東京医療保健大学学長戦略本部の組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

第17章 厚生施設

(保健室及び厚生施設)

第60条 本学に保健室その他の厚生施設を設ける。

第18章 科目等履修生、外国人留学生、研究生

(科目等履修生)

第61条 本学は、本大学の学生以外の者が授業科目の履修を願い出たときは、当該学部等の教育に支障のない限り、選考の上、科目等履修生として許可することがある。

2 科目等履修生に関する規程は、これを別に定める。

(外国人留学生)

第62条 外国人で大学における教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として、入学を許可することがある。

(研究生)

第63条 本学において、特定の専門事項について研究することを希望する者があるときは、各学部の教育研究に支障のない限り、選考の上、これを許可することがある。

2 研究生に関する規程は、これを別に定める。

(準用)

第64条 本章に定めるほか、科目等履修生、外国人留学生及び研究生については本学則の規定を準用する。ただし、第9条(修業年限及び在学年限)、第17条(医療保健学部の卒業要件)、第17条の3(東が丘看護学部の卒業要件)、第17条の4(立川看護学部の卒業要件)、第17条の5(千葉看護学部の卒業要件)、第17条の6(和歌山看護学部の卒業要件)、第18条(国家試験受験資格)及び第19条(他の大学又は短期大学等における授業科目の履修等)は、適用しない。

第19章 賞罰

(表彰)

第65条 学業優秀、品行方正、課業精勤な者に対しては、卒業に際し、理事長賞、学長賞を授与する。また、学生の模範とするに足る者があるときは、これを表彰する。

(懲戒)

第66条 学長は、本学の学則または訓育の主旨に違背した学生に対し必要があると認めたときは、懲戒する。

2 前項に規定する懲戒の種類は、訓戒、停学及び退学とする。

3 前項に規定する退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者。

(2) 学業成績不良で改善の見込みがないと認められた者。

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

第20章 公開講座

(公開講座の設置等)

第67条 本学に公開講座を設けることがある。公開講座についてはその都度細目を定めてこれを実施する。

第21章 大学開放及び生涯学習事業等

(大学開放)

第68条 本学は、教育研究の成果及び知的財産を広く社会に還元する。

2 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第69条 本学は医療・健康・保健に関する公開講座・公開講演会等を開催し、それを広く社会に公開し、また本学が保持している情報の提供により地域社会への貢献を積極的に行う。

(学生の課外活動)

第69条の2 学生は、社会貢献・社会活動に関する意識の涵養に努めるとともに幅広い人間性を養い健全な心身の発達を図るため、正課の授業の他、課外活動に積極的に参加することとする。

第22章 細則

(細則)

第70条 本学則施行についての細則その他必要な事項は別に定める。

附則

本学則は平成17年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成17年5月26日から施行する。

附則

本学則は平成17年11月9日から施行する。

附則

本学則は平成18年3月24日から施行する。

附則

本学則は平成18年5月29日から施行する。

附則

本学則は平成19年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成20年4月1日から施行する。

附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-1. 医療保健学部 看護学科（平成20年度入学生まで適用）」及び第17条第3項のうち「(1)-1 看護学科（平成20年度学生まで適用）」については、平成20年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則は平成21年4月1日から施行する。

附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「2-1. 医療保健学部 医療栄養学科（平成18年度及び19年度入学生に適用）」「2-2. 医療保健学部 医療栄養学科（平成20年度入学生に適用）」については、各年度の入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「医療保健学部 医療情報学科の3-1. 3-2. 3-3. 」については、各適用年度の学生の卒業をもって削除する。
また、第17条第3項(3)-1（平成18年度及び20年度入学生に適用）、(3)-2（平成19年度入学生に適用）については、各適用年度の学生の卒業をもって削除する。
3. 本学則は平成21年4月1日から施行する。

附則

1. 本学則は平成22年4月1日から施行する。
2. 第3条（位置）中、「東京都目黒区東が丘二丁目5番23号」は、平成24年3

月31日までとし、平成24年4月1日以降は「東京都目黒区東が丘二丁目5番1号」とする。

附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-2. 医療保健学部 看護学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「2-3. 医療保健学部 医療栄養学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
3. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「3-4. 医療保健学部 医療情報学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
4. 本学則は平成22年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成22年10月20日から施行する。

附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-3. 医療保健学部 看護学科（平成22年度入学生限り適用）」については、平成22年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則は平成23年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成23年10月1日から施行する。

附則

1. 本学則は平成24年4月1日から施行する。
2. 本学則第18条（国家試験受験資格）(2)に定める東が丘・立川看護学部看護学科のうち、平成23年度までの入学生については、次のとおり読み替えるものとする。

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者 看護師
保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者 保健師

3. 本学則第48条（修了）に定める助産学専攻科の単位数のうち、平成23年度入学生については、次のとおり読み替えるものとする。

本学の専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより39単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

附則

本学則は平成25年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成25年5月29日から施行する。

附則

本学則は平成25年7月17日から施行する。

附則

本学則は平成25年12月4日から施行する。

附則

本学則は平成26年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成26年10月15日から施行する。

附則

本学則は平成27年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成28年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成29年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成30年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成31年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和2年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和3年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和4年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和4年6月1日から施行する。

附則

本学則は令和5年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和5年5月10日から施行する。

附則

本学則は令和6年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和7年4月1日から施行する。

別表第 1

1－1．医療保健学部 看護学科（平成 20 年度入学生まで適用）～

1－5．医療保健学部 看護学科（平成 24 年度入学生から平成 26 年度入学生まで適用）
＜削除＞

1－6．医療保健学部 看護学科（平成 27 年度入学生から平成 29 年度入学生まで適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療のコラボレーション教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の教育分野	専門支持	病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・腎泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2	2				15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1			1		15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門 基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－バイタルサインの測定と日常生活の援助①)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療・診療を受ける対象への援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－基礎)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－発展)	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的アプローチの基礎)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (批判的思考の展開)	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門 展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助論)	1				1		30
		老年・在宅看護学実習	5				5		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ (精神看護)	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術論)		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開論)		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
	実践統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45

1－7. 医療保健学部 看護学科（平成30年度入学生限り適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2		2				15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・腎泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2	2				15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1			1		15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－バイタルサインの測定と日常生活の援助①)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療・診療を受ける対象への援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－基礎)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－発展)	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的アプローチの基礎)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (批判的思考の展開)	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助論)	1				1		30
		老年・在宅看護学実習	5				5		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術論）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開論）		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
	実践統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程（一種免許状）	教職に関する科目	教職への道※1	2			2			15
		教育原理	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育課程論	1			1			15
		道德教育の理論と方法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	2				2		15
		学校教育相談	2				2		15
		養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系）	2		2				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
	養護又は教職に関する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
許状課程（二種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

1－8. 医療保健学部 看護学科（平成 31 年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2		2				15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・腎泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2	2				15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1			1		15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－バイタルサインの測定と日常生活の援助①)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療・診療を受ける対象への援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－基礎)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－発展)	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的アプローチの基礎)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (批判的思考の展開)	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助論)	1				1		30
		老年・在宅看護学実習	5				5		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術論）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開論）		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
	実践統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程（一種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳・総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導・教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育実践に関する科目	養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
許状）養護教諭教職課程（二種免許状）		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

1－9.医療保健学部 看護学科（令和4年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2		2				15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・腎泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2	2				15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1			1		15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－バイタルサインの測定と日常生活の援助①)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療・診療を受ける対象への援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－基礎)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－発展)	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的アプローチの基礎)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (批判的思考の展開)	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助論)	1				1		30
		老年・在宅看護学実習	5				5		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護活動展開論）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護管理論）		3			1		15
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅰ （健康危機管理演習）		1		1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅱ （家庭訪問演習）		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅲ （地域組織活動演習）		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅳ （公衆衛生看護展開演習）		2				2	30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
	実践統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
		看護研究		1				1	15
養護教諭教職課程（一種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育実践に関する科目	養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ （骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系）	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
許状） 課程（二種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

1－10. 医療保健学部 看護学科（令和5年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2		2				15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・腎泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2	2				15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1			1		15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－バイタルサインの測定と日常生活の援助①)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (身体と生活機能の観察と援助技術の基本－フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療・診療を受ける対象への援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－基礎)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (健康が障害された対象への援助とチーム活動－発展)	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的アプローチの基礎)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (批判的思考の展開)	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助論)	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助論)	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助論)	1				1		30
		老年・在宅看護学実習	5				5		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護活動展開論）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護管理論）		3			1		15
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅰ （健康危機管理演習）		1		1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅱ （家庭訪問演習）		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅲ （地域組織活動演習）		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅳ （公衆衛生看護展開演習）		2				2	30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
	実践統合	国際看護論		1	1	1	1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
		看護研究		1				1	15
養護教諭教職課程（一種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育実践に関する科目	養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動論）	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助論）	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ （骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系）	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
（一種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

- 2－1．医療保健学部 医療栄養学科（平成 18 年度及び平成 19 年度入学生限り適用）～
 2－7．医療保健学部 医療栄養学科（平成 27 年度入学生限り適用）＜削除＞
 2－8．医療保健学部 医療栄養学科（平成 28 年度入学生及び平成 29 年度入学生に限り適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
		社会福祉総論	2		2				15
		食育論		1	1				15
		食文化論		1	1				15
		病理学Ⅰ (病態の系統的理解)	2			2			15
		病理学Ⅱ (病態の評価・診断)	2				2		15
		生化学Ⅰ (生物物質の構造と機能)	2			2			15
		生化学Ⅱ (生物物質の代謝)	2			2			15
		微生物学	2			2			15
		分子病態学	2				2		15
		解剖生理学実習	1			1			45
		生化学実験Ⅰ (生物物質の分析)	1			1			45
		生化学実験Ⅱ (生物物質の発現・代謝分析)	1				1		45
		薬物療法学		1				1	15
		病態生化学		1				1	15
		臨床検査学		2				2	15
		食品学Ⅰ (総論・食品の構成・生理および栄養機能)	2		2				15
		食品学Ⅱ (各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)	2			2			15
		食品衛生学	2			2			15
		食安全学		2				2	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15
		食品化学実験	1		1				45
		食品学実験	1		1				45
		食品加工学実習	1				1		45
		食品衛生学実験	1			1			45
		調理学実習Ⅰ（基本調理・日本食の理解）	1		1				45
		調理学実習Ⅱ（応用調理・食文化と献立作成）	1		1				45
		食品機能学		1			1		15
		サプリメント論		1				1	15
		調理科学実験	1			1			45
		食品流通論		2			2		15
		フードスペシャリスト論		2			2		15
		フードコーディネーター論		2			2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1		1			15
	基礎栄養学	基礎栄養学特講	1			1			15
		栄養生理学実験	1				1		45
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ（基本的理解・総論）	2			2			15
		応用栄養学Ⅱ（応用・特殊環境と栄養・実践）	2			2			15
		運動栄養学	1				1		15
		アスリート栄養学		1			1		15
		栄養学演習	1		1				30
		応用栄養学実習Ⅰ （ライフステージ別食事管理）	1			1			45
		応用栄養学実習Ⅱ （ライフステージ別栄養管理）	1			1			45
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ（基礎）	2			2			15
		栄養教育論Ⅱ （応用・ライフステージ別栄養教育）	2			2			15
		栄養教育論Ⅲ （応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング）	2				2		15
		栄養教育論実習Ⅰ （基礎・ライフステージ別栄養教育）	1			1			45
		栄養教育論実習Ⅱ （応用・症例に基づく栄養教育）	1				1		45
		カウンセリング論		1				1	15
	臨床栄養学	医療栄養学概論	2				2		15
		臨床栄養学Ⅰ（臨床症候と栄養障害の評価）	2			2			15
		臨床栄養学Ⅱ（疾患別・病態別栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学Ⅲ（チーム医療における栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学実習Ⅰ（基礎）	1				1		45
		臨床栄養学実習Ⅱ（応用と実践）	1				1		45
		臨床栄養実践演習		1				1	30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職 の教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ (基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ (基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ (応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ (給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」及び「臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

2-9. 医療保健学部 医療栄養学科（平成30年度入学生限り適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
		社会福祉総論	2		2				15
		食育論		1	1				15
		食文化論		1	1				15
		病理学Ⅰ (病態の系統的理解)	2			2			15
		病理学Ⅱ (病態の評価・診断)	2				2		15
		生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)	2			2			15
		生化学Ⅱ (生体物質の代謝)	2			2			15
		微生物学	2			2			15
		分子病態学	2				2		15
		解剖生理学実習	1			1			45
		生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)	1			1			45
		生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)	1				1		45
		薬物療法学		1				1	15
		病態生化学		1				1	15
		臨床検査学		2				2	15
		食品学Ⅰ (総論・食品の構成・生理および栄養機能)	2		2				15
		食品学Ⅱ (各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)	2			2			15
		食品衛生学	2			2			15
		食安全学		2				2	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15
		食品化学実験	1		1				45
		食品学実験	1		1				45
		食品加工学実習	1				1		45
		食品衛生学実験	1			1			45
		調理学実習Ⅰ（基本調理・日本食の理解）	1		1				45
		調理学実習Ⅱ（応用調理・食文化と献立作成）	1		1				45
		食品機能学		1			1		15
		サプリメント論		1				1	15
		調理科学実験	1			1			45
		食品流通論		2			2		15
		フードスペシャリスト論		2			2		15
		フードコーディネーター論		2			2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1		1			15
	栄養基礎	基礎栄養学特講	1			1			15
		栄養生理学実験	1				1		45
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ（基本的理解・総論）	2			2			15
		応用栄養学Ⅱ（応用・特殊環境と栄養・実践）	2			2			15
		運動栄養学	1				1		15
		アスリート栄養学		1			1		15
		栄養学演習	1		1				30
		応用栄養学実習Ⅰ （ライフステージ別食事管理）	1			1			45
		応用栄養学実習Ⅱ （ライフステージ別栄養管理）	1			1			45
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ（基礎）	2			2			15
		栄養教育論Ⅱ （応用・ライフステージ別栄養教育）	2			2			15
		栄養教育論Ⅲ （応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング）	2				2		15
		栄養教育論実習Ⅰ （基礎・ライフステージ別栄養教育）	1			1			45
		栄養教育論実習Ⅱ （応用・症例に基づく栄養教育）	1				1		45
		カウンセリング論		1				1	15
	臨床栄養学	医療栄養学概論	2				2		15
		臨床栄養学Ⅰ（臨床症候と栄養障害の評価）	2			2			15
		臨床栄養学Ⅱ（疾患別・病態別栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学Ⅲ（チーム医療における栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学実習Ⅰ（基礎）	1				1		45
		臨床栄養学実習Ⅱ（応用と実践）	1				1		45
		臨床栄養実践演習		1				1	30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ (基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ (基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ (応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ (給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食・食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食・食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」及び「臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程（一種免許状）	教職に関する科目	教職への道※1	2			2			15
		教育原理	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育課程論	1			1			15
		道德教育の理論と方法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	2				2		15
		学校教育相談	2				2		15
		栄養教育実習 事前事後指導	1					1	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程（一種免許状）	教職に関する科目	栄養教育実習	1					1	45
		教職実践演習（栄養教諭）	2					2	15
	栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論	2				2		15
		学校栄養教育実践演習	2				2		15
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

2-10. 医療保健学部 医療栄養学科（平成31年度入学生から令和5年度入学生まで適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
		社会福祉総論	2		2				15
		食育論		1	1				15
		食文化論		1	1				15
		病理学Ⅰ (病態の系統的理解)	2			2			15
		病理学Ⅱ (病態の評価・診断)	2				2		15
		生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)	2			2			15
		生化学Ⅱ (生体物質の代謝)	2			2			15
		微生物学	2			2			15
		分子病態学	2				2		15
		解剖生理学実習	1			1			45
		生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)	1			1			45
		生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)	1				1		45
		薬物療法学		1				1	15
		病態生化学		1				1	15
		臨床検査学		2				2	15
		食品学Ⅰ (総論・食品の構成・生理および栄養機能)	2		2				15
		食品学Ⅱ (各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)	2			2			15
		食品衛生学	2			2			15
		食安全学		2				2	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15
		食品化学実験	1		1				45
		食品学実験	1		1				45
		食品加工学実習	1				1		45
		食品衛生学実験	1			1			45
		調理学実習Ⅰ（基本調理・日本食の理解）	1		1				45
		調理学実習Ⅱ（応用調理・食文化と献立作成）	1		1				45
		食品機能学		1			1		15
		サプリメント論		1				1	15
		調理科学実験	1			1			45
		食品流通論		2			2		15
		フードスペシャリスト論		2			2		15
		フードコーディネーター論		2			2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1		1			15
	栄養学基礎	基礎栄養学特講	1			1			15
		栄養生理学実験	1				1		45
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ（基本的理解・総論）	2			2			15
		応用栄養学Ⅱ（応用・特殊環境と栄養・実践）	2			2			15
		運動栄養学	1				1		15
		アスリート栄養学		1			1		15
		栄養学演習	1		1				30
		応用栄養学実習Ⅰ （ライフステージ別食事管理）	1			1			45
		応用栄養学実習Ⅱ （ライフステージ別栄養管理）	1			1			45
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ（基礎）	2			2			15
		栄養教育論Ⅱ （応用・ライフステージ別栄養教育）	2			2			15
		栄養教育論Ⅲ （応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング）	2				2		15
		栄養教育論実習Ⅰ （基礎・ライフステージ別栄養教育）	1			1			45
		栄養教育論実習Ⅱ （応用・症例に基づく栄養教育）	1				1		45
		カウンセリング論		1				1	15
	臨床栄養学	医療栄養学概論	2				2		15
		臨床栄養学Ⅰ（臨床症候と栄養障害の評価）	2			2			15
		臨床栄養学Ⅱ（疾患別・病態別栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学Ⅲ（チーム医療における栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学実習Ⅰ（基礎）	1				1		45
		臨床栄養学実習Ⅱ（応用と実践）	1				1		45
		臨床栄養実践演習		1				1	30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ (基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ (基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ (応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ (給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食・食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食・食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」及び「臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (二種免許状)	教育の基礎的理解に 関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間 の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (二種免許状)	教育実践に関する科目	栄養教育実習事前事後指導	1					1	15
		栄養教育実習	1					1	45
		教職実践演習（栄養教諭）	2					2	15
	栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論	2				2		15
		学校栄養教育実践演習	2				2		15
	第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

2-11. 医療保健学部 医療栄養学科（令和6年度入学生から適用）

○管理栄養学専攻

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレ ーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
		社会福祉総論	2		2				15
		食育論		1	1				15
		食文化論		1	1				15
		病理学Ⅰ (病態の系統的理解)	2			2			15
		病理学Ⅱ (病態の評価・診断)	2				2		15
		生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)	2			2			15
		生化学Ⅱ (生体物質の代謝)	2			2			15
		微生物学	2			2			15
		分子病態学	2				2		15
		解剖生理学実習	1			1			45
		生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)	1			1			45
		生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)	1				1		45
		薬物療法学		1				1	15
		病態生化学		1				1	15
		臨床検査学		2				2	15
		食品学Ⅰ (総論・食品の構成・生理および栄養機能)	2		2				15
		食品学Ⅱ (各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)	2			2			15
		食品衛生学	2			2			15
		食安全学		2				2	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15
		食品化学実験	1		1				45
		食品学実験	1		1				45
		食品加工学実習	1				1		45
		食品衛生学実験	1			1			45
		調理学実習Ⅰ（基本調理・日本食の理解）	1		1				45
		調理学実習Ⅱ（応用調理・食文化と献立作成）	1		1				45
		食品機能学		1			1		15
		サプリメント論		1				1	15
		調理科学実験	1			1			45
		食品流通論		2			2		15
		フードスペシャリスト論		2			2		15
		フードコーディネーター論		2			2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1		1			15
	栄養基礎	基礎栄養学特講	1			1			15
		栄養生理学実験	1				1		45
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ（基本的理解・総論）	2			2			15
		応用栄養学Ⅱ（応用・特殊環境と栄養・実践）	2			2			15
		運動栄養学	1				1		15
		アスリート栄養学		1			1		15
		栄養学演習	1		1				30
		応用栄養学実習Ⅰ （ライフステージ別食事管理）	1			1			45
		応用栄養学実習Ⅱ （ライフステージ別栄養管理）	1			1			45
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ（基礎）	2			2			15
		栄養教育論Ⅱ （応用・ライフステージ別栄養教育）	2			2			15
		栄養教育論Ⅲ （応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング）	2				2		15
		栄養教育論実習Ⅰ （基礎・ライフステージ別栄養教育）	1			1			45
		栄養教育論実習Ⅱ （応用・症例に基づく栄養教育）	1				1		45
		カウンセリング論		1				1	15
	臨床栄養学	医療栄養学概論	2				2		15
		臨床栄養学Ⅰ（臨床症候と栄養障害の評価）	2			2			15
		臨床栄養学Ⅱ（疾患別・病態別栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学Ⅲ（チーム医療における栄養管理）	2				2		15
		臨床栄養学実習Ⅰ（基礎）	1				1		45
		臨床栄養学実習Ⅱ（応用と実践）	1				1		45
		臨床栄養実践演習		1				1	30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ (基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ (基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ (応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ (給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30
		実用国語		1	1				15

※選択必修：「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」及び「臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程（一種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (一種免許状)	教育実践に関する 科目	栄養教育実習事前事後指導	1					1	15
		栄養教育実習	1					1	45
		教職実践演習（栄養教諭）	2					2	15
	栄養に係る教育 に関する科目	学校栄養教育論	2				2		15
		学校栄養教育実践演習	2				2		15
	第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

2-12. 医療保健学部 医療栄養学科（令和6年度入学生から適用）

○臨床検査学専攻

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレ ーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)		2		2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論		1	1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ		1			1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論		1	1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門基礎 分野	社会・環境と健康	健康管理概論		2	2				15
		社会福祉総論		2	2				15
		食育論		1	1				15
		食文化論		1	1				15
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	病理学Ⅰ	2			2			15
		病理学Ⅱ	2				2		15
		生化学Ⅰ		2		2			15
		生化学Ⅱ		2		2			15
		微生物学	2			2			15
		分子病態学		2			2		15
		解剖生理学実習	1			1			45
		生化学実験Ⅰ	1			1			45
		生化学実験Ⅱ		1			1		45
		薬物療法学		1				1	15
		病態生化学		1				1	15
		臨床検査学		1				1	15
専門応用 分野	病態学	臨床検査生化学	2			2			15
		臨床検査医学総論	2				2		15
		薬理学	2		2				15
		臨床検査栄養学	2			2			15
		チーム医療概論	1					1	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門応用分野	公衆衛生	医学概論	1		1				15
		臨床検査関係法規	1			1			15
	医用工学概論	医用工学・情報科学概論	2			2			15
		医用工学実習	1			1			45
		検査機器総論	2			2			15
	血液検査	血液検査学総論	2			2			15
		血液検査学	2			2			15
		血液検査学実習	1				1		45
	病理検査	病理検査学	2			2			15
		病理細胞検査学	2				2		15
		病理検査学実習	1				1		45
	尿・糞便等 一般検査学	一般検査学・寄生虫検査学	2			2			15
		一般検査学・寄生虫検査学実習	1			1			45
	生化学検査学・ 免疫検査学	生化学検査学	2			2			15
		免疫検査学	2			2			15
		生化学検査学実習	1				1		45
		免疫検査学実習	1				1		45
	遺伝子関 連・染色体 検査学	遺伝子関連・染色体検査学	2			2			15
		遺伝子関連・染色体検査学実習	1				1		45
	輸血・移植検査	輸血・移植検査学	2				2		15
		輸血・移植検査学実習	1				1		45
		輸血・移植検査学演習	1				1		15
	微生物検査学	微生物検査学Ⅰ	2			2			15
		微生物検査学Ⅱ	2				2		15
		微生物検査学実習	2				2		45
	生理検査学	生理検査学Ⅰ	2				2		15
		生理検査学Ⅱ	2				2		15
		生理検査学Ⅲ	2				2		15
		生理検査学実習Ⅰ	1				1		45
		生理検査学実習Ⅱ	1				1		45
		生理検査学実習Ⅲ	1					1	45
		生理検査学演習	2					2	15
	臨床検査総合管理学	検査管理総論	2				2		15
		検査精度管理学	2					2	15
		臨床検査総合演習Ⅰ	1					1	15
		臨床検査総合演習Ⅱ	1					1	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門 応用分野	医療安全	臨床検査医療安全管理学実習	1					1	45
		臨床検査医療安全学	2				2		15
	その他上記科目に おける臨地実習	臨地実習前評価	1					1	45
		生理検査学に関する臨地実習	3					3	45
		生理検査学以外の臨地実習	8					8	45
		卒業研究		4				4	30
		実用国語		1	1				15

3-1. 医療保健学部 医療情報学科（平成 18 年度入学生限り適用）～

3-10. 医療保健学部 医療情報学科（平成 27 年度入学生限り適用）＜削除＞

3-11. 医療保健学部 医療情報学科（平成 28 年度入学生から平成 31 年度入学生まで適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
		比較文化論		1				1	15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	情報 技術 系	コンピュータシステムⅠ (ハードウェア)	2		2				15
		コンピュータシステムⅡ (ソフトウェア)	2		2				15
		IT 入門Ⅰ (ストラテジおよびマネジメント)	1		1				30
		IT 入門Ⅱ (テクノロジー)	1		1				30
		情報ワークショップⅠ (ハードウェア)	1		1				45
		情報ワークショップⅡ (ソフトウェア)	1		1				45
		通信ネットワーク	2		2				15
		情報数学		2	2				15
		プログラミング演習Ⅰ (C#初級)	2		2				30
		プログラミング演習Ⅱ (C#中級)	2			2			30
		プログラミング演習Ⅲ (C#上級)	2			2			30
		データ構造とアルゴリズム	1			1			30
		情報基礎実験Ⅰ (情報システム基盤)	1			1			45
		情報基礎実験Ⅱ (サーバ構築)	1			1			45
		データベース演習Ⅰ (RDB)	1			1			30
		データベース演習Ⅱ (SQL)	2			2			30
		情報応用演習Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		情報応用演習Ⅱ		2			2		30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の 教育分野	情報技術系	情報セキュリティ	2				2		15
		情報システム開発論Ⅰ		2			2		15
		情報システム開発論Ⅱ		2			2		15
		情報処理技術Ⅰ（基盤の情報処理技術）		1			1		30
		情報処理技術Ⅱ（実践的アルゴリズム）		1			1		30
		情報システム運用管理論		2			2		15
		医用画像処理工学		2			2		15
		マルチメディア工学		2			2		15
	医学医療系	臨床医学総論	1		1				15
		臨床医学各論Ⅰ（感染症および寄生虫症）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅱ（新生物）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅳ（脳神経・感覚器等）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅶ（周産期系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅷ（筋骨格系）	1			1			15
		医学用語	1			1			15
		応用臨床医学Ⅰ		1		1			30
		応用臨床医学Ⅱ		1			1		30
		応用臨床医学Ⅲ		1			1		30
		診療情報論演習Ⅰ（診療録の臨床的理解）	1			1			30
		診療情報論演習Ⅱ（病院情報システム）	1			1			30
		医療管理総論（病院管理）	1			1			15
		医療管理各論（医療制度と医療評価）	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		医療管理演習（診療報酬制度）	1			1			30

※「情報応用演習Ⅰ・情報応用演習Ⅱ」及び「応用国際疾病分類法Ⅰ・応用国際疾病分類法Ⅱ」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の教育分野	医学医療系	国際疾病分類法演習Ⅰ		1		1			30
		国際疾病分類法演習Ⅱ		2		2			30
		応用国際疾病分類法Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		応用国際疾病分類法Ⅱ		2			2		30
		応用医療管理学		1			1		30
		社会福祉総論	2			2			15
		看護概論	1				1		15
		診療プロセス論Ⅰ（診断支援）	2				2		15
		診療プロセス論Ⅱ（治療支援）	2				2		15
		診療プロセス論Ⅲ（総合支援）	2					2	15
		医療関係法規	2					2	15
	統合系	生体情報演習Ⅰ	2		2				30
		生体情報演習Ⅱ		2		2			30
		医療情報学	1		1				30
		医療情報システム論Ⅰ	1			1			30
		医療情報システム論Ⅱ	1			1			30
		臨床データ分析Ⅰ（臨床研究支援）	1			1			30
		臨床データ分析Ⅱ（疫学研究支援）		1			1		30
		意思決定論		2			2		15
		応用医療情報技術		1			1		30
		医療情報総合演習Ⅰ （文書読解・作文技術）	1		1				30
		医療情報総合演習Ⅱ （医療産業）	1		1				30
		医療情報総合演習Ⅲ （医療情報基礎用語）	1			1			30
		医療情報総合演習Ⅳ （卒業試験）	2					2	30
		医療情報ゼミⅠ（医療情報入門）	2				2		30
		医療情報ゼミⅡ（医療情報応用）	2				2		30
		病院実習		2			2		45
		インターンシップ	2				2		45
		卒業研究		8				8	30

3-12. 医療保健学部 医療情報学科（令和2年度入学生から令和4年度入学生まで適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
		比較文化論		1				1	15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
医療の コラボ レー ション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	情報 技術 系	コンピュータシステムⅠ (ハードウェア)	2		2				15
		コンピュータシステムⅡ (ソフトウェア)	2		2				15
		IT 入門Ⅰ (ストラテジおよびマネジメント)	1		1				30
		IT 入門Ⅱ (テクノロジー)	1		1				30
		情報ワークショップⅠ (ハードウェア)	1		1				45
		情報ワークショップⅡ (ソフトウェア)	1		1				45
		通信ネットワーク	2		2				15
		情報数学		2	2				15
		プログラミング演習Ⅰ (C#初級)	2		2				30
		プログラミング演習Ⅱ (C#中級)	2			2			30
		プログラミング演習Ⅲ (C#上級)	2			2			30
		データ構造とアルゴリズム	1			1			30
		情報基礎実験Ⅰ (情報システム基盤)	1			1			45
		情報基礎実験Ⅱ (サーバ構築)	1			1			45
		データベース演習Ⅰ (RDB)	1			1			30
		データベース演習Ⅱ (SQL)	2			2			30
		情報応用演習Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		情報応用演習Ⅱ		2			2		30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	情報技術系	情報セキュリティ	2				2		15
		情報システム開発論Ⅰ		2			2		15
		情報システム開発論Ⅱ		2			2		15
		情報処理技術Ⅰ（基盤の情報処理技術）		1			1		30
		情報処理技術Ⅱ（実践的アルゴリズム）		1			1		30
		情報システム運用管理論		2			2		15
		医用画像処理工学		2			2		15
		マルチメディア工学		2			2		15
	医学医療系	臨床医学総論	1		1				15
		臨床医学各論Ⅰ（感染症および寄生虫症）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅱ（新生物）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅳ（脳神経・感覚器等）	1		1				15
		臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅶ（周産期系）	1			1			15
		臨床医学各論Ⅷ（筋骨格系）	1			1			15
		医学用語	1			1			15
		応用臨床医学Ⅰ		1		1			30
		応用臨床医学Ⅱ		1			1		30
		応用臨床医学Ⅲ		1			1		30
		診療情報論演習Ⅰ（診療録の臨床的理 解）	1			1			30
		診療情報論演習Ⅱ（病院情報システ ム）	1			1			30
		医療管理総論（病院管理）	1			1			15
		医療管理各論（医療制度と医療評価）	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		医療管理演習（診療報酬制度）	1			1			30

※「情報応用演習Ⅰ・情報応用演習Ⅱ」及び「応用国際疾病分類法Ⅰ・応用国際疾病分類法Ⅱ」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の教育分野	医学医療系	国際疾病分類法演習Ⅰ		1		1			30
		国際疾病分類法演習Ⅱ		2		2			30
		応用国際疾病分類法Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		応用国際疾病分類法Ⅱ		2			2		30
		応用医療管理学		1			1		30
		社会福祉総論	2			2			15
		看護概論	1				1		15
		診療プロセス論Ⅰ（診断支援）	2				2		15
		診療プロセス論Ⅱ（治療支援）	2				2		15
		診療プロセス論Ⅲ（総合支援）	2					2	15
		医療関係法規	2					2	15
	統合系	生体情報演習Ⅰ	2		2				30
		生体情報演習Ⅱ		1		1			30
		医療情報学	1		1				30
		医療情報システム論	2			2			15
		臨床データ分析Ⅰ（臨床研究支援）	1			1			30
		臨床データ分析Ⅱ（疫学研究支援）		1			1		30
		意思決定論		2			2		15
		応用医療情報技術		1			1		30
		医療情報総合演習Ⅰ （文書読解・作文技術）	1		1				30
		医療情報総合演習Ⅱ （医療産業）	1		1				30
		医療情報総合演習Ⅲ （医療情報基礎用語）	1			1			30
		医療情報総合演習Ⅳ （卒業試験）	2					2	30
		医療情報ゼミⅠ（医療情報入門）	2				2		30
		医療情報ゼミⅡ（医療情報応用）	2				2		30
		病院実習		2			2		45
		インターンシップ		2			2		45
		卒業研究		8				8	30

3-13. 医療保健学部 医療情報学科（令和5年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
		比較文化論		1				1	15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ	2		2				15
		公衆衛生学		2		2			15
		栄養学総論	2			2			15
		医療安全管理学	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学		2			2		15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論		1	1				15
		ボランティア活動		1	1				30
専門職の 教育分野	コンピ ュータ 科学	コンピュータシステム	2		2				15
		ワークショップ A	2		2				30
		ワークショップ B		2	2				30
		プログラミング演習Ⅰ	2			2			30
		プログラミング演習Ⅱ		2		2			30
		プログラミング演習Ⅲ		2			2		30
		情報基礎演習 A	2			2			30
		情報基礎演習 B		2			2		30
		情報応用演習		2			2		30
		Web デザイン		2			2		30
		マルチメディア工学		2			2		15
		通信ネットワーク	2			2			15
		情報セキュリティ	2				2		15
		情報システム開発論		2			2		15
		情報システム運用管理論		2			2		15
	情報 科学	情報数学		2	2				15
		基礎数学Ⅱ		2	2				15
		データ構造とアルゴリズム		2		2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	情報科学	AI 基礎		2			2		15
		データベース基礎	2			2			15
		データベース応用		2		2			30
		臨床データ分析Ⅰ	2			2			15
		臨床データ分析Ⅱ		2			2		15
		意思決定論		2			2		15
	医療情報	診療情報論Ⅰ	2			2			15
		診療情報論Ⅱ		2		2			15
		疾病分類演習Ⅰ		1		1			30
		疾病分類演習Ⅱ		2		2			30
		応用疾病分類演習Ⅰ		2			2		30
		応用疾病分類演習Ⅱ		2			2		30
		医療情報学概論	2		2				15
		医療情報システム論	2			2			15
		生体情報演習	2		2				30
		ワークショップC		2		2			30
		ワークショップD		2		2			30
		医療シミュレーション		1		1			30
		医用画像処理工学		2			2		15
		企業実習		2			2		45
		基礎ゼミⅠ	1		1				30
		基礎ゼミⅡ	1		1				30
		応用ゼミⅠ	1				1		30
		応用ゼミⅡ	2				2		30
		応用ゼミⅢ	2					2	30
		卒業研究		4				4	30
	ヘルスケア	看護概論	1				1		15
		社会福祉総論		2			2		15
		臨床医学総論	2		2				15
		臨床医学各論A		2		2			15
		臨床医学各論B		2		2			15
		臨床医学各論C		2			2		15
		臨床医学各論D		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の 教育分野	ヘルスケア	診療プロセス論 A	2		2				15
		診療プロセス論 B		2		2			15
		臨床検査概論		2			2		15
		医療関係法規		2			2		15
		医療制度論	1		1				15
		医事会計論		2		2			15
		病院管理概論	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		病院実習		2			2		45

別表第2

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1－1．東が丘・立川看護学部 | 看護学科（平成23年度入学生まで適用）＜削除＞ |
| 1－2．東が丘・立川看護学部
適用）＜削除＞ | 看護学科（平成24年度及び平成25年度入学生限り |
| 1－3．東が丘・立川看護学部 | 看護学科（平成26年度入学生限り適用）＜削除＞ |
| 1－4．東が丘・立川看護学部 | 看護学科（平成27年度入学生から適用）＜削除＞ |

別表第3

1-1. 東が丘看護学部 看護学科 (令和2年度入学生から適用)

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		文化人類学		1	1				15
		法学		1	1				15
	健康問題の解決	論理学	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	看護場面のコミュニケーション	社会保障制度概論		1		1			15
		ボランティア論		1		1			15
	自己啓発能力	統計学	2			2			15
		情報リテラシー	1		1				15
	キャリア開発能力	教育学	2			2			15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
専門基礎分野	人間関係の形成	医療と法 (看護関係法規)	1			1			15
	健康問題の解決／看護技術力	医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決／看護技術力	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ（神経系・筋骨系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
		人間工学		1		1			15
	自己啓発能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
	キャリア開発能力	実用医療英語	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
		保健医療福祉システム論		1		1			15
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護教育学	1					1	15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断）	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断）	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	1				1		30
		慢性期看護論	1			1			30
		終末期看護論	1				1		30
		成人看護実践論	1				1		30
		成人看護の探求	1				1		15
		急性期看護学実習	2				2		45
		慢性期看護学実習	2				2		45
		終末期看護学実習	2				2		45
		老年看護学概論	1		1				15
		老年看護実践論	2			2			30
		家族看護学	1			1			15
		老年生活支援実習	2			2			45
		老年看護学実習	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
統合分野	在宅看護学	在宅看護学概論	2				2		15
		在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1		30
		在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		在宅看護学実習	2					2	45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
統合分野	地域看護学	地域看護学概論	1			1			15
		自立支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			15
	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	看護管理学	1				1		15
		医療安全学	1				1		15
		災害看護学	1			1			15
		看護学統合実習	3					3	45
	キャリア開発	国際看護学Ⅰ	1			1			15
		国際看護学Ⅱ		2			2		15
		チーム医療論	1					1	15
		看護職とキャリア形成	1					1	15
		N P 論		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

1－2．東が丘看護学部 看護学科（令和4年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		文化人類学		1	1				15
		法学		2	2				15
	健康問題の解決	論理学	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	自己啓発能力	情報リテラシー	1		1				30
	キャリア開発能力	教育学	2			2			15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
専門基礎分野	人間関係の形成	医療と法(看護関係法規)	1			1			15
	人間関係の形成	カウンセリングの基礎		1		1			15
	健康問題の解決・看護技術力	医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	2		2				15
		栄養学	1			1			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門基礎分野	健康問題の解決・看護技術	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	1			1			15
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
	看護場面のコーディネート	人間工学		1		1			15
		ボランティア論		1		1			15
	自己啓発能力	看護情報学・統計学演習	1			1			30
	キャリア開発能力	実用医療英語	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
		保健医療福祉システム論	1			1			15
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護教育学	1					1	15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断）	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断）	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合）	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1			1			30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	地域・在宅看護学	地域看護学概論	1		1				15
		自立支援教育論	1		1				15
		疾病予防看護論	1			1			15
		在宅看護学概論	2			2			15
		在宅看護実践論	1				1		30
		在宅看護学実習	2				2		45
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	1				1		30
		慢性期看護論	1			1			30
		終末期看護論	1				1		30
		成人看護実践論	1				1		30
		成人看護の探求	1					1	15
		老年看護学概論	1		1				15
		老年看護実践論	2			2			30
		家族看護学	1			1			15
		急性期看護学実習	2				2		45
		慢性期看護学実習	3			3			45
		終末期看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
統合分野	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	災害看護学	1			1			15
		医療安全学	1				1		15
		看護管理学	1				1		15
		国際看護学Ⅰ	1			1			15
		国際看護学Ⅱ		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
統合分野	看護マネジメント	チーム医療論	1					1	15
		看護政策論		1				1	15
		看護学統合演習	1					1	30
		看護学統合実習	2					2	45
	キャリアマネジメント	看護職とキャリア形成	1					1	15
		N P 論		1				1	15
		キャリア開発実習：クリティカルケア		2				2	45
		キャリア開発実習：がん看護		2				2	45
		キャリア開発実習：認知症患者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：重症心身障害者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：マタニティケア		2				2	45
		キャリア開発実習：精神疾患患者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア		2				2	45
		キャリア開発実習：国際感染症患者のケア		2				2	45

別表第4

1-1. 立川看護学部 看護学科 (令和2年度入学生から適用)

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学		1	1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		法学		1	1				15
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用医療・看護英語	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	健康問題の解決	スポーツ科学		2	2				15
		教育学	2			2			15
		社会保障制度概論		1		1			15
	災害対応能力	災害ボランティア論		1		1			15
		情報リテラシー	1		1				15
		論理学	1		1				15
		自然科学の基礎	1		1				15
	看護探究能力	統計学	2			2			15
専門基礎分野	人間を尊重する能力	医療と法(看護関係法規)	1			1			15
		医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15
		疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
		人間工学		1		1			15
	連携・協働・協力	保健医療福祉システム論		1		1			15
		政策医療論	1			1			15
	看護能力探究	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
		医療・看護論文の講読	1			1			15
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	2				2		15
		慢性期看護論	2			2			15
		成人・老年看護実践論	2				2		30
		成人看護学実習Ⅰ(急性期)	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	2				2		45
		成人看護学実習Ⅲ(終末期)	2				2		45
		老年看護学概論	1		1				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門分野	臨床実践看護学	老年期看護論	1			1			15
		老年看護実践論	1			1			30
		老年看護学実習Ⅰ (地域で暮らす高齢者の看護)	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ (病と生きる高齢者の看護)	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
統合分野	在宅看護学	家族看護学	1			1			15
		在宅看護学概論	2				2		15
		在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1		30
		在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		在宅看護学実習	2					2	45
	地域看護学	地域看護学概論	1			1			15
		自立支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			15
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1		1				15
		災害看護学Ⅱ	1			1			15
		災害看護学Ⅲ	2				2		15
		災害看護学実習	1					1	45
	看護研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		災害看護学に関する卒業研究	3					3	30
	統合看護学	看護管理学	1				1		15
		医療安全学	1				1		15
		国際看護学	1				1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
統合分野	統合看護学	看護学統合実習	2					2	45
		コミュニティ形成論		1				1	15
		チーム医療論		1				1	15
		看護職とキャリア形成		1				1	15
		看護教育学		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

1－2．立川看護学部 看護学科（令和4年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学		1	1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		法学		1	1				15
		死生学	1		1				15
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用医療・看護英語	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	健康問題の解決能力	スポーツ科学		2	2				15
		教育学	2			2			15
		社会保障制度概論		1		1			15
	災害対応能力	災害ボランティア論		1		1			15
		情報リテラシー	1		1				15
		論理学	1		1				15
		自然科学の基礎	1		1				15
	看護探求能力	実践統計学	2		2				15
専門基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	医療と法（看護関係法規）	1			1			15
		医学概論	1		1				15
	健康問題の解決能力	解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15
		疾病と治療Ⅰ （呼吸器系・消化器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ （血液系・循環器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ （神経系・骨筋系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ （泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		疫学・保健統計	1		1				15
		公衆衛生学	2			2			15
		人間工学		1		1			15
	連携・協働する力	保健医療福祉システム論	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
	看護能力の探究	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
		医療・看護論文の講読	1			1			30
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		コミュニケーション技法	1		1				30
		フィジカルアセスメント	1			1			30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45
専門分野	地域・在宅看護学	家族看護学	1			1			15
		地域・在宅看護学概論	1		1				15
		地域・在宅看護支援論	2			2			15
		地域・在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1		30
		地域・在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		地域・在宅看護学実習	2					2	45
		自律支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			30
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	2				2		15
		慢性期看護論	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門分野	臨床実践看護学	成人・看護/老年看護実践 (A 成人看護編・B 老年看護編)	2				2		30
		老年看護学概論	1		1				15
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2				2		45
		老年期看護論	1			1			15
		老年看護実践論	1			1			30
		老年看護学実習Ⅰ (地域で暮らす高齢者の看護)	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ (病と生きる高齢者の看護)	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神保健	1			1			15
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		障害者看護論	1				1		15
専門分野	(災害対応能力 災害看護学)	災害看護学Ⅰ	1		1				15
		災害看護学Ⅱ	1			1			15
		災害看護学Ⅲ	2				2		15
		災害看護学実習	1					1	45
	看護探求 能力	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		災害看護学に関する卒業研究	3					3	30
	統合看護学	看護管理学	1				1		15
		医療安全学	1				1		15
		国際看護学	1				1		15
		看護学統合実習	2					2	45
		コミュニティ形成論		1				1	15
		チーム医療論		1				1	15
		看護職とキャリア形成		1				1	15
		看護教育学		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

別表第 5

1-1 千葉看護学部 看護学科 (平成 30 年度入学生限り適用)

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ (ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ (ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ (アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICT リテラシーⅠ (ベーシック)	2		2				15
		ICT リテラシーⅡ (アドバンス)		2	2				15
		情報通信と保健医療		1		1			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の教育分野	専門支持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ（看護技術の基本）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ（日常生活の援助）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ （治療を受ける患者の援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ （対象の個別性に応じた援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ （基礎看護技術の統合）	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ （論理的思考の形成）	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ （論理的思考の展開）	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ （批判的思考の発展）	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論（チームビルディング）	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ （クリティカルシンキング実習）	2			2			45
		機能看護学Ⅰ（セルフマネジメント）	2		2				15
		機能看護学Ⅱ（キャリアマネジメント）	1			1			15
		機能看護学Ⅲ（組織とマネジメント）	1				1		30
		機能看護学Ⅳ（トップマネジメント）		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ（急性期）	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ（慢性期）	2			2			15
		臨床看護学実習（急性期・慢性期）	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ（療養生活援助）	1				1		30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の教育分野	専門展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1				1		30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開）		3				3	25
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）		1	1				15
	実践統合	地域保健・医療の推進	1					1	30
		国際看護論		1	1				15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程（一種免許状）	教職に関する科目	教職への道※1	2			2			15
		教育原理	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育課程論	1			1			15
		道徳教育の理論と方法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	2				2		15
		学校教育相談	2				2		15
		養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計論	2			2			15
		公衆衛生学	2		2				15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）	1		1				15
		学校保健Ⅱ（学校保健の発展的展開）	1		1				15
		養護概論	2				2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖系)	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5				5		45
	養護又は教職に関する科目	クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		英会話Ⅰ (ベーシックⅠ)	2		2				15
		ICT リテラシーⅠ (ベーシック)	2		2				15
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

1-2 千葉看護学部 看護学科 (平成 31 年度入学生から適用)

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ (ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ (ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ (アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICT リテラシーⅠ (ベーシック)	2		2				15
		ICT リテラシーⅡ (アドバンス)		2	2				15
		情報通信と保健医療		1		1			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職 の 教育分野	専門 支 持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、 神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、 生殖系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ（看護技術の基本）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ（日常生活の援助）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ （治療を受ける患者の援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ （対象の個別性に応じた援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ （基礎看護技術の統合）	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ （論理的思考の形成）	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ （論理的思考の展開）	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ （批判的思考の発展）	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論（チームビルディング）	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ （クリティカルシンキング実習）	2			2			45
		機能看護学Ⅰ（セルフマネジメント）	2		2				15
		機能看護学Ⅱ（キャリアマネジメント）	1			1			15
		機能看護学Ⅲ（組織とマネジメント）	1				1		30
		機能看護学Ⅳ（トップマネジメント）		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ（急性期）	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ（慢性期）	2			2			15
		臨床看護学実習（急性期・慢性期）	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ（療養生活援助）	1				1		30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1				1		30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開）		3				3	25
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）		1	1				15
	実践統合	地域保健・医療の推進	1					1	30
		国際看護論		1	1				15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程（一種免許状）	教育の基礎的理解に関する項目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育／総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計論	2			2			15
		公衆衛生学	2		2				15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）	1		1				15
		学校保健Ⅱ（学校保健の発展的展開）	1		1				15
		養護概論	2				2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖系)	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5				5		45
	大学が独自に設定する科目	クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		英会話Ⅰ (ベーシックⅠ)	2		2				15
		ICT リテラシーⅠ (ベーシック)	2		2				15
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

1-3 千葉看護学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ(ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ(ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ(アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICTリテラシーⅠ(ベーシック)	2		2				15
		ICTリテラシーⅡ(アドバンス)		2	2				15
		情報通信と保健医療		1		1			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職 の 教育分野	専門 支 持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、 神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維 持、生殖系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1			1		15
		代替医療論		1			1		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ（看護技術の基本）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ（日常生活の援助）	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ （治療を受ける患者の援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ （対象の個別性に応じた援助）	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ （基礎看護技術の統合）	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ （論理的思考の形成）	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ （論理的思考の展開）	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ （批判的思考の発展）	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論（チームビルディング）	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ （クリティカルシンキング実習）	2			2			45
		機能看護学Ⅰ（セルフマネジメント）	2		2				15
		機能看護学Ⅱ（キャリアマネジメント）	1			1			15
		機能看護学Ⅲ（組織とマネジメント）	1				1		30
		機能看護学Ⅳ（トップマネジメント）		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ（急性期）	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ（慢性期）	2			2			15
		臨床看護学実習（急性期・慢性期）	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ（健康生活援助）	2			2			30
		在宅看護援助論Ⅱ（療養生活援助）	1				1		30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1				1		30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動）	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術）		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開）		3				3	25
		地域の健康危機管理と施策化・事業化		1			1		30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）		1	1				15
	実践統合	地域保健・医療の推進	1					1	30
		国際看護論		1	1				15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程（二種免許状）	教育の基礎的理解に関する項目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等 の内容及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳教育／総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計論	2			2			15
		公衆衛生学	2		2				15
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）	1		1				15
		学校保健Ⅱ（学校保健の発展的展開）	1		1				15
		養護概論	2				2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖器系)	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5				5		45
	大学が独自に設定する科目	クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		英会話Ⅰ (ベーシックⅠ)	2		2				15
		ICT リテラシーⅠ (ベーシック)	2		2				15
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の
共通開設科目

別表第6

1-1 和歌山看護学部 看護学科（平成30年度入学生限り適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
		スタディスキル	1		1				30
豊かな人間性を育む分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		芸術		1		1			15
		教育心理学		2		2			15
		生命倫理学		1	1				15
	社会参加	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		日本国憲法		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		文化人類学		1		1			15
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	自然科学	生物学		1	1				15
		化学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		物理学		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15
		英会話Ⅲ（発展）		2		2			15
		医療英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		韓国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護の基盤をつくる分野	人のからだと健康	体の仕組みと働きⅠ (呼吸・循環・血液・消化器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系)	2		2				15
		解剖生理学演習		1			1		30
		生活健康科学		2	2				15
		リラクゼーション論		1			1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		栄養学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		医用機器概論		1			1		15
	地域の健康	わかやま学	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		学校保健Ⅰ (学校保健の概要)	1			1			15
		学校保健Ⅱ (学校保健と学習指導要領)	1				1		15
	チーム医療と専門職	キャリア教育Ⅰ (仕事と職業)	1		1				15
		キャリア教育Ⅱ (専門職と倫理)	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ (看護職のキャリア)	1				1		15
		医療マネジメント論		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
看護実践能力を高める分野	看護の基礎	看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (生命兆候と体の観察)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (快適な環境と清潔)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅳ (食事と排泄)	1			1			30
		臨床看護技術	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的思考)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護過程演習)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (研究計画演習)	1				1		30
		看護倫理	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (看護観察・体験実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護展開実習)	2			2			45
	地域成育支援	母性看護学概論	1			1			30
		母性看護援助論Ⅰ (ウィメンズヘルスと看護)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (周産期の看護)	1				1		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護援助論Ⅰ (子どもの成長発達と看護)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ子どもの看護)	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
看護実践能力を高める分野	地域療養生活支援	成人看護学概論	1		1				30
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期・回復期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	1				2		15
		健康教育演習		1			1		15
		急性期看護学実習	3				3		45
		慢性期・回復期看護学実習	3				3		45
		老年看護学概論	1		1				30
		老年看護援助論Ⅰ (高齢者の健康生活を支える看護)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (健康障害を持つ高齢者の看護)	1			1			30
		老年看護学実習	3				3		45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ (心の健康を維持・増進する看護)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ (心の健康障害をもつ対象の看護)	1				1		30
		精神看護学実習	2				2		45
	看護の統合と発展	地域看護学概論	2		2				15
		地域看護活動論	1			1			15
		地域看護活動実習	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅰ (在宅看護における基本技術)	2			2			15
		在宅看護援助論Ⅱ (在宅における看護過程)	1				1		30
		在宅看護学実習	2				2		45
		公衆衛生看護活動論		2			2		15
		国際看護論	1				1		15
		災害看護援助論Ⅰ (災害医療・看護の基礎)	1					1	30
		災害看護援助論Ⅱ (災害看護活動)		1				1	30
		看護マネジメント		2			2		15
		医療安全管理学	2			2			15
		看護統合実習	2					2	45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
関連科目	公衆衛生看護	公衆衛生看護活動展開論		3				3	15
		公衆衛生看護管理論		1				1	15
		産業保健		1			1		15
		公衆衛生看護学実習		5				5	45
養護教諭教職課程（一種免許状）	教職に関する科目	教職への道	2			2			15
		教育原理	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育課程論	1			1			15
		道徳教育の理論と方法	1			1			15
		特別活動の指導法	1			1			15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	2				2		15
		学校教育相談	2				2		15
		養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		学校保健Ⅰ（学校保健の概要）	1			1			15
		学校保健Ⅱ（学校保健と学習指導要領）	1				1		15
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15
		栄養学	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （呼吸・循環・血液・消化器系）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ （骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖器系）	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ （心の健康を維持・増進する看護）	2			2			15
		看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助実習Ⅰ（看護観察・体験実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護展開実習）	2			2			45
		看護統合実習	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ子どもの看護)	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護援助論Ⅱ (心の健康障害をもつ対象の看護)	1				1		30
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期看護学実習	3				3		45
	養護又は教職に関する科目	クリティカル・シンキングⅡ (看護過程演習)	1			1			30
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法		2	2				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
職課程（二種免許状）	養護教諭教職課程	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

1 - 2 和歌山看護学部 看護学科（平成 31 年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
		スタディスキル	1		1				30
豊かな人間性を育む分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		芸術		1		1			15
		教育心理学		2		2			15
		生命倫理学		1	1				15
	社会参加	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		日本国憲法		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		文化人類学		1		1			15
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	自然科学	生物学		1	1				15
		化学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		物理学		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15
		英会話Ⅲ（発展）		2		2			15
		医療英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		韓国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護の基盤をつくる分野	人のからだと健康	体の仕組みと働きⅠ (呼吸・循環・血液・消化器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系)	2		2				15
		解剖生理学演習		1			1		30
		生活健康科学		2	2				15
		リラクゼーション論		1			1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		栄養学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		医用機器概論		1			1		15
	地域の健康	わかやま学	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		学校保健Ⅰ (学校保健の概要)	1			1			15
		学校保健Ⅱ (学校保健と学習指導要領)	1				1		15
	チーム医療と専門職	キャリア教育Ⅰ (仕事と職業)	1		1				15
		キャリア教育Ⅱ (専門職と倫理)	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ (看護職のキャリア)	1				1		15
		医療マネジメント論		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
看護実践能力を高める分野	看護の基礎	看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (生命兆候と体の観察)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (快適な環境と清潔)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅳ (食事と排泄)	1			1			30
		臨床看護技術	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的思考)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護過程演習)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (研究計画演習)	1				1		30
		看護倫理	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (看護観察・体験実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護展開実習)	2			2			45
	地域成育支援	母性看護学概論	1			1			30
		母性看護援助論Ⅰ (ウィメンズヘルスと看護)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (周産期の看護)	1				1		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護援助論Ⅰ (子どもの成長発達と看護)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ子どもの看護)	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2			2		15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護実践能力を高める分野	地域療養生活支援	成人看護学概論	1		1				30
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期・回復期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	1				2		15
		健康教育演習		1			1		15
		急性期看護学実習	3				3		45
		慢性期・回復期看護学実習	3				3		45
		老年看護学概論	1		1				30
		老年看護援助論Ⅰ (高齢者の健康生活を支える看護)	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ (健康障害を持つ高齢者の看護)	1			1			30
		老年看護学実習	3				3		45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ (心の健康を維持・増進する看護)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ (心の健康障害をもつ対象の看護)	1				1		30
		精神看護学実習	2				2		45
	看護の統合と発展	地域看護学概論	2		2				15
		地域看護活動論	1			1			15
		地域看護活動実習	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅰ (在宅看護における基本技術)	2			2			15
		在宅看護援助論Ⅱ (在宅における看護過程)	1				1		30
		在宅看護学実習	2				2		45
		公衆衛生看護活動論		2			2		15
		国際看護論	1				1		15
		災害看護援助論Ⅰ (災害医療・看護の基礎)	1					1	30
		災害看護援助論Ⅱ (災害看護活動)		1				1	30
		看護マネジメント		2			2		15
		医療安全管理学	2			2			15
		看護統合実習	2					2	45
関連科目	公衆衛生看護	公衆衛生看護活動展開論		3				3	15
		公衆衛生看護管理論		1				1	15
		産業保健		1			1		15
		公衆衛生看護学実習		5				5	45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生活指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		45
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		学校保健Ⅰ（学校保健の概要）	1			1			15
		学校保健Ⅱ（学校保健と学習指導要領）	1				1		15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （呼吸・循環・血液・消化器系）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ （骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系）	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ （心の健康を維持・増進する看護）	2			2			15
		看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助実習Ⅰ（看護観察・体験実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護展開実習）	2			2			45
		看護統合実習	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	小児看護援助論Ⅱ （健康障害をもつ子どもの看護）	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護援助論Ⅱ （心の健康障害をもつ対象の看護）	1				1		30
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期看護学実習	3				3		45
	大学が独自に設定する科目	クリティカル・シンキングⅡ （看護過程演習）	1			1			30
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2		2				15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

1－3．和歌山看護学部 看護学科（令和4年度入学生から適用）

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養分野	アカデミック・スキル 統計 言語	アカデミックスキル	1		1				15
		パーソナル・コンピューター入門		1	1				15
		情報リテラシー	1		1				30
		情報科学概論		1	1				15
		看護学研究基礎	1				1		15
		データサイエンス	2		2				15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		論理的表現法	1		1				30
		英語	2		2				15
		英語講読・記述		2				2	15
	外国語	フランス語		2	2				15
		韓国語		2	2				15
		英会話Ⅰ（基礎）	2		2				15
		英会話Ⅱ（発展）		2		2			15
		医療英語		2				2	15
	人文・社会 自然科学	心理学	1		1				15
		ボランティア論		1	1				15
		医学・医療概論	1		1				15
		哲学と宗教		2	2				15
		日本国憲法		2	2				15
		コミュニケーション論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
		生命倫理学		1	1				15
		社会学		2	2				15
		教育心理学		2		2			15
		ジェンダー論		1		1			15
		文化人類学		1		1			15
		芸術		1		1			15
		経済学		2		2			15
		国際関係論		1		1			15
		生物学		1	1				15
		化学		1	1				15
		物理学		1	1				15

分類	区分		科 目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
				必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教養分野	教養一般	身体科学	スポーツ科学		1	1				15
			スポーツ実習		1	1				30
	キャリア教育		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
			キャリア教育Ⅱ	1			1			15
			キャリア教育Ⅲ	1					1	15
専門分野	人体の構造と機能		体の仕組みと働きⅠ	1		1				15
			体の仕組みと働きⅡ	1		1				15
			体の仕組みと働きⅢ	1		1				15
			体の仕組みと働きⅣ	1		1				15
			解剖生理学演習		1		1			30
	疾病の成り立ちと回復の促進		治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ	1		1				15
			疾病治療論Ⅱ	1		1				15
			疾病治療論Ⅲ	1			1			15
			疾病治療論Ⅳ	1			1			15
			疾病治療論Ⅴ	1			1			15
			疾病治療論Ⅵ	1			1			15
			栄養学	2		2				15
			病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			臨床薬理学	2			2			15
			リラクゼーション論		1			1		15
			医用機器概論		1			1		15
	健康支援と社会（保障制度）		わかやま学	1		1				15
			公衆衛生学	2		2				15
			生活環境科学		1	1				15
			保健医療福祉行政論	2			2			15
			社会福祉論		2		2			15
			学校保健Ⅰ		1		1			15
			学校保健Ⅱ		1		1			15
	看護学	看護汎用全般、 several、一般	看護理論	1		1				15
			看護マネジメント	2					2	15
			看護倫理	1				1		15
			わかやま生活健康探索実習	2			2			45
			医療安全管理学	1					1	15
			総合看護学演習		1				1	30

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	基礎看護	基礎看護学概論	1		1				15
		基礎看護学実践論Ⅰ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅱ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅲ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅳ	1			1			30
		基礎看護学実践論Ⅴ	1			1			30
		基礎看護学実践方法論	2			2			15
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1				45
		基礎看護学実習Ⅱ	2			2			45
	看護学 領域別看護Ⅰ	地域・在宅看護学概論	1		1				15
		地域看護活動論	2			2			15
		在宅看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		在宅看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		在宅看護学実習	2				2		45
		成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護学実践論	1			1			15
		急性期・回復期看護学実践論	1			1			30
		周術期看護過程実践演習	1				1		30
		慢性期看護学実践論	1				1		30
		エンド・オブ・ライフ・ケア 看護学実践論	1				1		15
		急性期看護学実習	2				2		45
		慢性期看護学実習	2				2		45
		老年看護学概論	1			1			15
		老年看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		老年看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		老年看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		小児看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		母性看護学概論	1			1			15
		母性看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		母性看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		母性看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護学実践論Ⅰ	2			2			15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門分野	看護学	領域別看護	精神看護学実践論Ⅱ	1			1		30
		領域別看護	精神看護学実習	2			2		45
		領域別看護Ⅱ	災害看護学実践論Ⅰ		2			2	15
		領域別看護Ⅱ	災害看護学実践論Ⅱ		1			1	15
		領域別看護Ⅱ	国際看護学		1			1	15
		公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	1	1				15
			公衆衛生看護活動論		2		2		15
			産業保健		1		1		15
			公衆衛生看護活動展開論		4			4	15
			公衆衛生看護管理論		1			1	15
			公衆衛生看護学実習		5			5	45
		看護統合実践	看護統合実習 A	2				2	45
			看護統合実習 B	2				2	45
		看護研究	看護研究	2				2	30
養護教諭教職課程（一種免許状）	科目	教育の基礎的理解に関する	教育原理	1		1			15
		教育の基礎的理解に関する	教職論	2		2			15
		教育の基礎的理解に関する	教育制度論	1		1			15
		教育の基礎的理解に関する	教育心理学	2		2			15
		教育の基礎的理解に関する	特別支援教育の基礎	1			1		15
		教育の基礎的理解に関する	教育課程論	1		1			15
養護教諭教職課程（一種免許状）	の道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生活指導、教育に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1			1			15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2			2			45
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	疫学・保健統計論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		公衆衛生学	2		2				15
		学校保健Ⅰ	1			1			15
		学校保健Ⅱ	1			1			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅡ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅢ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅣ	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		基礎看護学概論	1		1				15
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1				45
		基礎看護学実習Ⅱ	2			2			45
		看護統合実習 A	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		急性期看護学実践論	1			1			15
		急性期看護学実習	2				2		45

分類	区分	科 目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	大学が独自に 設定する科目	基礎看護学実践方法論	2			2			15
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2		2				15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1		1				30
		英語	2		2				30
		英会話Ⅰ（基礎）	2		2				30
		パーソナル・コンピューター入門※		1	1				15
		情報リテラシー	1		1				30
		情報科学概論※		1	1				15
養護教諭教職課程 （二種免許状）		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1		1				30
		日本国憲法	2		2				15
		パーソナル・コンピューター入門※		1	1				15
		情報科学概論※		1	1				15
		学校保健Ⅱ	1			1			15

※「パーソナル・コンピューター入門」「情報科学概論」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

別表第 7

1－1．助産学専攻科（平成 23 年度入学生まで適用）＜削除＞

1－2．助産学専攻科（平成 24 年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1 単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎・ 関連領域	助産学概論	2		15
	生殖の形態と機能	2		15
	母子と栄養	1		15
	家族支援論	1		15
	ウイメンズヘルス	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ	3		30
	助産診断・技術学Ⅱ	3		30
	周産期の生理と病態	2		15
	健康教育論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	助産管理学	2		15
助産学実習	助産学実習Ⅰ（分娩介助実習）	6		45
	助産学実習Ⅱ（長期継続実習）	2		45
	助産学実習Ⅲ（NICU・GCU 見学実習）	1		45
	助産学実習Ⅳ（集団への健康教育）	1		45
	助産学実習Ⅴ（助産管理学実習）	1		45
助産学発展領域	助産学研究	1		30
	生命倫理学	1		15
	医療安全管理学	1		15
	代替医療論		1	15
	リラクゼーション論		1	15
計		34	2	

1－3．助産学専攻科（令和4年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎・ 関連領域	助産学概論	1		15
	生殖の形態と機能	2		15
	母子と栄養	1		15
	家族支援論	1		15
	ウイメンズヘルス	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ	3		30
	助産診断・技術学Ⅱ	3		30
	周産期の生理と病態	2		15
	健康教育論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	乳幼児の発育・発達とケア	1		15
	助産管理学	2		15
助産学実習	助産学実習Ⅰ（分娩介助実習）	6		45
	助産学実習Ⅱ（長期継続実習）	2		45
	助産学実習Ⅲ（NICU・GCU 見学実習）	1		45
	助産学実習Ⅳ（集団への健康教育）	1		45
	助産学実習Ⅴ（助産管理学実習）	1		45
助産学 発展領域	助産学研究	1		30
	生命倫理学	1		15
	医療安全管理学	1		15
	リラクゼーション論		1	15
計		34	1	

別表第 8

1－1．和歌山助産学専攻科（令和4年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1 単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎領域	助産学概論	1		15
	ウイメンズヘルス総論	1		15
	マタニティヘルス総論（周産期の生理と病態）	2		15
	乳幼児の成長・発達	1		15
	母子と家族の心理社会学	1		15
	生殖医療と生命倫理学	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ（妊娠準備期から妊娠期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅲ（産褥期）	1		30
	助産診断・技術学Ⅳ（新生児・乳幼児）	1		30
	助産診断技術学演習（分娩介助）	2		30
	周産期の救命救急演習	1		30
	健康教育演習	1		30
	カウンセリング論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	助産管理学	2		15
	助産学実習Ⅰ	2		45
	助産学実習Ⅱ	7		45
	助産学実習Ⅲ	1		45
	助産学実習Ⅳ	2		45
助産学発展領域	助産学研究	1		30
	災害と助産	1		15
	英語文献講読	1		15
	遠隔診療技術の基礎		1	15
	国際母子保健活動論		1	15
計		37	2	

1－2．和歌山助産学専攻科（令和6年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎領域	助産学概論	1		15
	ウイメンズヘルス総論	1		15
	マタニティヘルス総論（周産期の生理と病態）	2		15
	乳幼児の成長・発達	1		15
	母子と家族の心理社会学	1		15
	生殖医療と生命倫理学	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ（妊娠準備期から妊娠期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅲ（産褥期）	1		30
	助産診断・技術学Ⅳ（新生児・乳幼児）	1		30
	助産診断技術学演習（分娩介助）	2		30
	周産期の救命救急演習	1		30
	女性と家族の健康教育	1		15
	カウンセリング論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	助産管理学	1		15
	助産学実習Ⅰ（基礎助産実習）	2		45
	助産学実習Ⅱ（分娩介助と継続事例の実習）	7		45
	助産学実習Ⅲ（ハイリスク実習）	1		45
	助産学実習Ⅳ（地域母子保健助産管理実習）	2		45
助産学発展領域	助産学研究	1		30
	災害と助産	1		15
	英語文献講読	1		15
	遠隔診療技術の基礎		1	15
	国際母子保健活動論		1	15
計		36	2	

別表第9 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部

検定料

(単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
	検定料	35,000	35,000

別表第10 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部

学費、諸納金

(単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
	入学料	300,000	300,000
学 費	授業料	1,000,000	800,000
	施設費	300,000	300,000
	維持費	150,000	150,000
	実験実習費	別に定めるところによる	参加実習毎に個別徴収
	① 授業料、施設費は4月と10月に1/2ずつ納入。 ② 入学金は、入学時のみの納入とし、翌年度以降は納入不要。 ③ 在学中の学費は経済情勢の変動により改定することがある。 ④ 諸納金については別に定めるところによる。		

別表第11 助産学専攻科 検定料、学費及び諸納金

(単位 円)

検定料	入学料	授業料	実験実習費	維持運営費
35,000	210,000	600,000	550,000	250,000

※諸納金については別に定めるところによる。

別表第 12 和歌山助産学専攻科 検定料、学費及び諸納金 (単位 円)

検定料	入学金	授業料	施設維持費
35,000	210,000	1,150,000	250,000

※諸納金については別に定めるところによる。

別表第 13 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部
科目等履修生の学費 (単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
選考料	35,000		
在籍料	別に定める		
受講料	別に定める		

別表第 14 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部
研究生の学費 (単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
在籍料	別に定める		

(2) 変更事項を記載した書類

<変更の事由>

1. 令和7年度より、和歌山看護学部看護学科の入学定員及び収容定員を変更する。

<変更点>

1. 第8条の本学の入学定員及び収容定員についての表中「和歌山看護学部看護学科」「合計」の入学定員及び収容定員を変更する。
2. 附則の終わりに改正学則の附則として施行年月日「令和7年4月1日」を加える。

(3) 変更部分の新旧対照表

(下線部分は変更箇所)

新				旧			
第1条(本学の建学の精神・理念・目的)～第7条(学部及び学科)(略)				第1条(本学の建学の精神・理念・目的)～第7条(学部及び学科)(略)			
(学生定員)				(学生定員)			
第8条 本学の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。				第8条 本学の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。			
学部及び学科名		入学定員	収容定員	学部及び学科名		入学定員	収容定員
医療保健学部	看護学科	100 名	400 名	医療保健学部	看護学科	100 名	400 名
	医療栄養学科 (うち管理栄養 学専攻)	100 (68)	400		医療栄養学科 (うち管理栄養 学専攻)	100 (68)	400
	医療情報学科	80	320		医療情報学科	80	320
	計	280	1,120		計	280	1,120
東が丘看護学部	看護学科	100	400	東が丘看護学部	看護学科	100	400
立川看護学部	看護学科	100	400	立川看護学部	看護学科	100	400
千葉看護学部	看護学科	100	400	千葉看護学部	看護学科	100	400
和歌山看護学部	看護学科	<u>100</u>	<u>400</u>	和歌山看護学部	看護学科	<u>90</u>	<u>360</u>
合 計		<u>680</u>	<u>2,720</u>	合 計		<u>670</u>	<u>2,680</u>
第9条(修業年限及び在学年限)～第70条(細則)(略)				第9条(修業年限及び在学年限)～第70条(細則)(略)			
<u>附則</u>				<u>(新設)</u>			
本学則は令和7年4月1日から施行する。							

学則変更の趣旨等を記載した書類（本文）

目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・ P.2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・ P.2
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
(1) 教育課程の変更内容	・・・ P.5
(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・ P.6
(3) 教育組織の変更内容	・・・ P.7
(4) 大学全体の施設・設備の変更内容	・・・ P.7
4. 2つ以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	・・・ P.7

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

2025 年 4 月 1 日から、東京医療保健大学学則第 8 条に定める和歌山看護学部看護学科の入学定員 90 名から 100 名に、大学全体の収容定員を 2,680 名から 2,720 名に変更する。大学全体の入学定員及び収容定員は、以下の（図表 1）のとおりである。

（図表 1）収容定員増の内容及び内訳（単位：名）

学部	学科	変更前		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医療保健学部	看護学科	100	400	100	400
	医療栄養学科 （うち管理栄養学専攻）	100 (68)	400	100 (68)	400
	医療情報学科	80	320	80	320
東が丘看護学部	看護学科	100	400	100	400
立川看護学部	看護学科	100	400	100	400
千葉看護学部	看護学科	100	400	100	400
和歌山看護学部	看護学科	90	360	<u>100</u>	<u>400</u>
東京医療保健大学全体		670	2,680	<u>680</u>	<u>2,720</u>

【東京医療保健大学 各学部学科の収容定員変更前と変更後の入学定員と収容定員より】

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

東京医療保健大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法に基づき学校教育法の定める大学として、また私立学校法に従い、知識社会が実現すると予測される 21 世紀において、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探究し解決することのできる人材の育成を目的としている。

和歌山看護学部（以下、本学部という。）は 2018 年 4 月に、和歌山県（知事）及び和歌山市（市長）の誘致を受け、和歌山県、和歌山市、日本赤十字社和歌山医療センター、本学の 4 者で連携して和歌山県の地域医療の一翼を担う看護師の養成教育を展開して設置したものであり、設置の趣旨は以下の内容である。

我が国においては、近年、超高齢化、少子化、高学歴化、情報化、国際化が著しく進展しており、これに伴い医療も高度化し、医療の実践内容も複雑多岐にわたっているが、その中で医師不足、看護師不足が深刻になるとともに、医療の質的向上が喫緊の課題になっている。和歌山県でも人口減少、高齢化が進む中で、保健・医療・福祉にかかわる専門職

の育成が急務である。なかでも、看護職には看護の対象者が住み慣れた場所で少しでも長く自立した生活を続けられるようケアやサポートをすることが求められている。本学部はこうした現状を踏まえ、日本赤十字社和歌山医療センターと連携し、幅広く専門性の高い知識と確かな技術を修得し、「地域」を支える看護職を育成するために設立された。

本学部の開設前の和歌山県の看護師教育は、大学教育での看護師養成は1大学のみで専門学校での養成が主であった。現在は3校目の大学が開設されたが、医療の質向上の一端を担うために大学での教育を受けた看護師の養成が、和歌山県にとって重要であると考え

る。

本学部は、2018年度設置以降、設置計画を着実に履行し、特色ある教育活動を展開し、看護師養成教育の教育実績を向上させてきた。開設以降、毎年和歌山県において安定した入学者数を維持し、競争的な入学者選抜を経て入学者を安定して確保しているが、本学部の近年の入学者の状況は入学定員を超過しており、現在の定員では、和歌山県の多くの優秀な入学志願者の希望を満たすことができていない状況にある。入学者選抜機能を適正な水準で維持し、教育の質を維持・向上する観点から18歳人口減の中長期的影響などを慎重に検討した結果、変更後の入学定員を100名とした。これは、本学部の直近4カ年の平均入学定員超過率が1.12倍であるという入学者受入れ実績をもとに定員数を見直すものとも言える。(図表2)

今般の収容定員の変更は、和歌山県の看護職者養成のニーズに応じて現状の入学者受入の水準を維持しつつ、教育研究活動の質的低下を招くことがないように教育の充実を図り、厳格な定員管理をさらに徹底することを前提として行うものである。

(図表2) 直近4カ年の志願・入学者推移

学部学科	項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
和歌山看護学部看護学科	入学定員	90	90	90	90
	志願者数	417	424	365	268
	受験者数	390	404	340	252
	合格者数	179	173	166	177
	入学者数	110	97	99	100
	志願倍率	4.63	4.71	4.05	2.97
	在学生数	412	408	410	403
	収容定員充足率	1.14	1.13	1.13	1.11

【東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科 直近4カ年志願者合格者入学者より】

(図表2)の各年度における志願者数と受験者数において、2022年度をピークになっているが、(図表3)の和歌山県大学進学者数と比較しても同じような数値を示しているこ

とがわかる。また 2024 年度の志願者数と受験者数が減少しているのは、和歌山県内の 18 歳人口が前年に比べ減少数が多いことを挙げることができる（図表 4）。2027 年までは同程度の人口推移を示していることから、定員を変更しても十分に定員を充足することができると考える。

（図表 3）和歌山県高校 3 年生進学者数の動向（2020～2023 年）

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
卒業者数	8,482	7,968	7,816	7,289
大学進学者数	3,965	3,943	4,016	3,815

出典：リクルート進学総研マーケットレポート 2023 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率
地元残留率の動向 近畿版

（図表 4）和歌山県 18 歳人口予想（2023～2035 年）

	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年
人数	8,128	7,912	7,941	7,965	7,958	7,684	7,567	7,587
指数	100.0	97.3	97.7	98.0	97.9	94.5	93.1	93.3

出典：リクルート進学総研マーケットレポート 2023 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率
地元残留率の動向 近畿版

看護師の全国的な人材需要の動向について、「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」（厚生労働省）において 2025 年の全国における看護職員供給数の約 175～182 万人に対して、需要数は約 188～202 万人と推計がされており、供給不足であると推計している。また、公益社団法人日本看護協会において各年度の看護職求人数・求職数が報告されており、2022 年までの 4 カ年の報告書から求人倍率をみると、いずれも高い数値を示している（図表 5）。本学部所在地の和歌山県の看護職求人数・求職数については、全国に比べさらに高い数値を示している（図表 6）。供給不足である推計からも、地域的に見ても今後も需要は続くと考えられる。

（図表 5）全国看護職求人・求職・求人倍率（2019 年～2022 年）

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
求人	158,602	156,263	176,334	176,797
求職	67,710	76,244	132,938	96,302
求人倍率	2.34	2.04	1.32	1.83

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」（2019～2022）

(図表6) 和歌山県看護職求人・求職・求人倍率推移 (2019年～2022年)

	2019年	2020年	2021年	2022年
求人	1,198	1,182	1,374	1,251
求職	248	248	362	281
求人倍率	4.83	4.76	3.79	4.45

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」(2019～2022)

以上のことより、これまでの学生募集状況を踏まえ、本学部の進学需要に合わせて収容定員を変更することは問題ないとする。また看護師の供給不足であることから、現在の志願者数から入学者選抜機能を維持しながら、入学定員に見合う入学者を確保することは十分に可能であるとする。

3. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

本学部におけるディプロマ・ポリシーは、学部の理念・目的に掲げる看護職を育成するために、以下に挙げるような力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与する。

[知識・理解]

- ① 看護の専門職として必要な、医療・看護に関する基本的知識と技術および思考方法が身についている。
- ② 人間と社会に対する幅広い知識を有しており、地域社会をはじめ各々のコミュニティにおける人々の生活と健康の観点で看護を考えることができる。
- ③ 創造的で柔軟な思考や発想を担保する幅広い教養を身につけている。

[汎用的技能]

- ④ 言語能力を基礎としたコミュニケーションスキル、グローバル感覚、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力といった、知的社会生活で必要な学士にふさわしい汎用的技能を有している。

[態度・志向性]

- ⑤ 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神が身についている。
- ⑥ 看護専門職としてあるいは社会の一員として、関係する多職種や人々と連携・協働することができる。

[態度・志向性および総合的な学習経験と創造的思考力]

- ⑦ 看護専門職としての倫理観を有し、自らを律し、生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組む態度と能力が備わっている。

⑧ 上記の力が備わった人間として、看護を実践することができる。

本学部では、理念・目的に掲げる看護職を育成するために、教養分野科目と専門分野科目を体系的に編成し、科目横断的に学位授与の方針に掲げる力を培う。

今回の収容定員増に伴い教育課程の変更は行わないが、更なる看護の発展並びに地域の保健・健康促進に寄与すべく、2022年度に「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」の改正に伴い、教育課程の変更を行っている。

この改正では、入学時から学生が専門基礎分野および専門分野の科目において、主体的に学修し、得た知識を段階的に活用し、自分の興味・関心や進みたいコース、将来像に合った科目を選択し、計画的かつ主体的に学修していけるよう構成している。また、ディプロマ・ポリシーが明確に分かりやすいものになることにより、学生が科目により身につけることができる能力を理解し、学修することを可能にしている。このように科学的思考力とコミュニケーション能力、ICTを活用するための基礎的能力を高め、チームの一員としての看護師の役割発揮や多職種との連携・協働および臨床判断の基礎的能力を養うことができるカリキュラムとしている。

以上のように教育内容を充実させ、効果的な教育を収容定員変更後も継続して行うことにより、変更前と同等以上の内容を担保することができる。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

教育方法については、教育効果を高めるため、授業は、その内容や目的に応じ、講義、演習、実習あるいはこれらの併用により行う。またそれぞれの力の育成は、主として担う科目に拠るだけでなく、様々な科目での授業方法を通して行う。これにあたり、初年次に「アカデミック・スキル」で大学での学修方法の基礎の修得を図るとともに、「キャリア教育Ⅰ」で自己研鑽する態度を方向付ける。特に看護専門科目においては、確かな専門性とともに、人と社会の理解、論理的思考力、問題解決力、豊かな人間性と教養の涵養を図る。また初年次の方向付けに加え、事後に学びの意味づけを行うことで、力の修得を促進する。豊かな教養を育むために「教養分野」においては複数の下位分野の科目を横断的に履修することとしている。修得すべき内容が多い分野では、科目を細分化することにより、段階的で確実な知識・理解の修得を図る。実習科目においては、少人数グループでの指導により、これまで学んできた内容の定着と昇華を図るとともに、多様な臨地実習施設での学びを提供することにより、地域に根ざした確かな看護実践能力を涵養する。なお、臨地実習の実習先の確保は可能であるため、収容定員増後にも十分な教育ができると考えている。

履修方法については、初年次ははじめのオリエンテーションにおいて説明を行い、履修案内冊子にて履修指導を行っている。主に基幹教員がアドバイザーとして学生一人ひとりを担当し、学生の成績や履修状況等を考慮しながら、履修相談や学生指導を行う体制を確立している。

以上のことから、この度の収容定員増加に伴う教育方法、履修方法の変更は予定していないが、変更前と同等以上の内容が担保できると考えている。

（３）教員組織の変更内容

本学部を編成する基幹教員は 30 名であり、大学設置基準で定められている保健衛生学関係（看護学関係）の基幹教員数は、12 名であることからこれを十分満たしている。これは令和 6 年 5 月の申請時点で確定している人数であり、今後は専門分野と年齢構成に留意しつつ、計画的に採用を進め、特色ある教育課程を組織的に実施できるよう、教員組織の充実を図る。

S/T 比率を確認すると、本学部に所属する教員（基幹教員 30 名、助手 1 名、期間教員以外の教員 5 名）1 名辺りの学生数は 11.2 名となっており、学生個人に目を行き届かせることができる数になっている。アドバイザーグループ制度があり、入学時より学生を少人数グループに分け、アドバイザー教員を配置し、キャリア相談等、学生生活全般について個別相談等が受けられるよう、学生との人間関係を築きながら、4 年間の学習が一人一人の目的に合わせ進めていけるように支援している。

また、教育目標の実現に向けて、科目を担当する教員が組織的に責任を持って行う体制を整備し、教員組織については、収容定員を変更する前と比較して、同等以上の内容が担保することができる。

（４）大学全体の施設・設備の変更内容

講義室においては、既存校舎には 100 名以上収容できる教室が 4 室整備されており、この度の収容定員増加にも対応できる。また設備等については、全学生に PC を貸与しており、各教室に Wi-Fi アクセスポイントとプロジェクターを整備し、電子黒板の導入など、ICT を活用した学習環境の充実を図っている。

看護技術指導に必要な実習室の備品等については、収容定員が 100 名となった場合にも十分対応が可能である。

このように本学部では、教育環境の整備に取り組んでおり、施設・設備については、収容定員増後も同等以上の内容を担保できると考えている。

4. 2つ以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学部は、和歌山県和歌山市にある「雄湊キャンパス」と「日赤和歌山医療センターキャンパス」の 2 つのキャンパスに教育研究拠点を置いている。雄湊キャンパスは、主に 1、2 年次に使用し、教養科目と専門分野の基礎看護、各領域の看護概論と実践論等を学び、日赤和歌山医療センターキャンパスは、主に 3、4 年次に使用し、専門分野の領域看護実習や看護演習等を中心に学ぶ。なお、主としているが学年や科目で限定しているわけではないため、各校地ごとに収容定員は定めていない。

まずは教員への配慮についてだが、主に授業科目のあるそれぞれのキャンパスに研究室を用意し、雄湊キャンパスに 17 名・日赤和歌山医療センターキャンパスに 13 名の基幹教員を配置、またキャンパス間の移動手段として、両キャンパスに教職員用の電動自転車を 2 台ずつ設置して使用できるようにしている。また車の駐車スペースについても両キャンパスにおいて確保している。

学生への配慮については、キャンパス間は片道徒歩 15 分程度で移動でき、休憩時間の長い昼休みに移動すれば、午前と午後でそれぞれのキャンパスで授業を受けるといった時間割も可能である。またそれぞれに駐輪スペースを設置している。しかしながら、基本的には 1 日の中でキャンパス間の移動が発生しないような時間割の設定をしている。

施設・設備等に関しては、雄湊キャンパス及び日赤和歌山医療センターキャンパスの施設・設備には十分な余裕があり、今回の収容定員増加の後も授業を運営することに問題はない。

以上のように、本学部では複数の校地での教育を効果的・効率的に行う教育体制を構築している。

学則変更の趣旨等を記載した書類（資料目次）

添付資料

教育課程の概要 . . . P2

図表 1 収容定員増の内容及び内訳（単位：名） . . . P11

図表 2 直近 4 カ年の志願・入学者推移 . . . P11

図表 3 和歌山県高校 3 年生進学者数の動向（2020～2023 年） . . . P11

図表 4 和歌山県 18 歳人口予想（2023～2035 年） . . . P12

図表 5 全国看護職求人・求職・求人倍率（2019 年～2022 年） . . . P12

図表 6 和歌山県看護職求人・求職・求人倍率推移（2019 年～2022 年） . . . P12

教 育 課 程 等 の 概 要																			
(和歌山看護学部看護学科)																			
科目 区分			授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
教養分野	アカデミック・スキル	アカデミック・スキル	1 前	○	1			○						2	1		共同（一部）		
		パーソナル・コンピューター入門	1 前			1		○								1			
		情報リテラシー	1 前	○	1			○								1			
		情報科学概論	1 後			1		○								1			
		看護学研究基礎	3 前	○	1			○			1	1							
		統計	データサイエンス	1 後	○	2			○									1	
			疫学・保健統計学	2 後	○	2			○									1	
		言語	論理的表現法	1 前	○	1			○										1
			英語	1 前	○	2			○										1
			英語講読・記述	4 前			2		○										1
	外国語	フランス語	1 前			2		○									1	オムニバス	
		韓国語	1 前			2		○									1		
		英会話Ⅰ（基礎）	1 後	○	2			○									1		
		英会話Ⅱ（発展）	2 前			2		○									1		
		医療英語	4 後			2		○									1		
		人文・社会	心理学	1 前	○	1			○										1
			ボランティア論	1 前			1		○										1
			医学・医療概論	1 前	○	1			○										8
			哲学と宗教	1 前			2		○										1
			日本国憲法	1 前			2		○										1
			コミュニケーション論	1 後	○	1			○										1
			ボランティア活動	1 後			1		○										1
			生命倫理学	1 後			1		○										1
			社会学	1 後			2		○										1
			教育心理学	2 前			2		○										1
			ジェンダー論	2 前			1		○										1
			文化人類学	2 前			1		○										1
			芸術	2 後			1		○										1
		経済学	2 後			2		○									1		
		国際関係論	2 後			1		○									1		
	自然科学	生物学	1 前			1		○									1		
		化学	1 前			1		○									1		
		物理学	1 前			1		○									1		
	身体科学	スポーツ科学	1 前			1		○									1		
		スポーツ実習	1 前			1			○								1		
	キャリア教育	キャリア教育Ⅰ（学問と専門職倫理）	1 前	○	1			○					1						
		キャリア教育Ⅱ（看護職のキャリア）	2 後	○	1			○					1						
キャリア教育Ⅲ（キャリア再考）		4 通	○	1			○				1								
小計（38科目）			—	—	18	34	0	—			2	3	2	1	0	34			

専門分野	人体の構造と機能	体の仕組みと働きⅠ (筋、骨格系、自律神経系、内分泌系、血液)	1前	○	1			○								6	オムニバス
		体の仕組みと働きⅡ (脳神経系、神経系、感覚器系、免疫系)	1前	○	1			○								4	オムニバス
		体の仕組みと働きⅢ (循環器系、呼吸器系)	1後	○	1			○								2	オムニバス
		体の仕組みと働きⅣ (泌尿器系、消化器系、生殖器官系)	1後	○	1			○								5	オムニバス
		解剖生理学演習	2後			1			○							1	
	疾病の成り立ちと回復の促進	治療学総論	1前	○	1			○								7	オムニバス
		疾病治療論Ⅰ (筋、骨格系、感覚器系、免疫系)	1後	○	1			○								6	オムニバス
		疾病治療論Ⅱ (脳神経系、神経系、腎臓系、泌尿器系)	1後	○	1			○								4	オムニバス
		疾病治療論Ⅲ (循環器系、呼吸器系)	2前	○	1			○								3	オムニバス
		疾病治療論Ⅳ (内分泌系、消化器系、血液・造血器系)	2前	○	1			○								5	オムニバス
		疾病治療論Ⅴ (女性生殖系、小児期の疾病)	2後	○	1			○								6	オムニバス
		疾病治療論Ⅵ (精神疾患、産褥期の母子の異常)	2後	○	1			○								4	オムニバス
		栄養学	1後	○	2			○								1	
		病原微生物学	1後	○	2			○								2	オムニバス
		病態生理学	1後	○	2			○								1	
		臨床薬理学	2前	○	2			○								1	
	健康支援と社会 (保障制度)	リラクゼーション論	3前			1		○								1	
		医用機器概論	3前			1		○								1	
		わかやま学	1前	○	1			○			1	1	1				
		公衆衛生学	1後	○	2			○								1	
		生活環境学	1後			1		○								1	
	看護汎用全般	保健医療福祉行政論	2前	○	2			○								2	オムニバス
		社会福祉論	2前			2		○								1	
		学校保健Ⅰ(学校保健の概要)	2前			1		○			1			1			共同
		学校保健Ⅱ(学校保健と学習指導要領)	2後			1		○			1			1			共同
		小計(25科目)	—	—	24	8	0	—			1	1	1	1	0	47	
	基礎看護	看護理論	1前	○	1			○			1	1					
		看護マネジメント	4前	○	2			○				1					
		看護倫理	3前	○	1			○			1	1					
		わかやま生活健康探索実習	2前	○	2				○		5	7	3	8	1	5	共同
		医療安全管理学	4前	○	1			○				3					
		総合看護学演習	4後			1			○		5	7	3	8	1	1	共同
		基礎看護学概論	1前	○	1			○			1						
		基礎看護学実践論Ⅰ(看護技術の基本)	1前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅱ(フィジカルアセスメント)	1後	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅲ(快適な環境と清潔)	1後	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅳ(食事と排泄)	2前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅴ(診察に関わる看護技術)	2前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践方法論	2後	○	2			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1前	○	1				○		1	1		1		2	共同
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程展開実習)	2後	○	2				○		1	1		1		2	共同
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1後	○	1			○			1						
		地域看護活動論	2前	○	2			○			1			2			共同(一部)
		在宅看護学実践論Ⅰ(看護技術の基本)	2後	○	2			○			1			2			共同(一部)
		在宅看護学実践論Ⅱ(在宅看護における看護過程)	3前	○	1			○			1			2			共同(一部)
		在宅看護学実習	3後	○	2				○		1			2			共同
		成人看護学概論	1後	○	1			○			1	1					

専門分野	看護学	領域別看護Ⅰ	急性期看護学実践論	2 前	○	1			○			1	1	1		共同（一部）	
			急性期・回復期看護学実践論	2 後	○	1			○			1	1	1		共同（一部）	
			周術期看護過程実践演習	3 前	○	1				○		1	1	1	1	共同（一部）	
			慢性期看護学実践論	3 前	○	1			○			1	2		1		
			エンド・オブ・ライフ・ケア看護学実践論	3 前	○	1			○			1	2				
			急性期看護学実習	3 後	○	2				○		1		1	1	共同	
			慢性期看護学実習	3 後	○	2				○		1	2		1	共同	
			老年看護学概論	2 前	○	1			○				1		1	共同（一部）	
			老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康生活を支える看護）	2 後	○	2			○			1	1	1	1	共同（一部）	
			老年看護学実践論Ⅱ（健康障害を持つ高齢者の看護）	3 前	○	1			○			1	1	1	1	共同（一部）	
			老年看護学実習	3 後	○	2				○		1	1	1	1	共同	
			小児看護学概論	2 前	○	1			○			1	1			共同（一部）	
			小児看護学実践論Ⅰ（健康障害を持つ子どもの看護）	2 後	○	2			○			1	1	1		共同（一部）	
			小児看護学実践論Ⅱ（小児における看護過程の展開）	3 前	○	1			○			1	1	1		共同（一部）	
			小児看護学実習	3 後	○	2				○		1	1	1		共同	
			母性看護学概論	2 前	○	1			○			1					
			母性看護学実践論Ⅰ（女性の健康と看護）	2 後	○	2			○			1	1		1	共同（一部）	
			母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）	3 前	○	1			○			1	1		1	1	共同（一部）
			母性看護学実習	3 後	○	2				○		1	1		1	1	共同
			精神看護学概論	2 前	○	1			○				1				
			精神看護学実践論Ⅰ（精神医療保健と看護）	2 後	○	2			○				1		2		共同（一部）
			精神看護学実践論Ⅱ（精神看護）	3 前	○	1			○				1		2		共同（一部）
			精神看護学実習	3 後	○	2				○			1		2		共同
		領域別看護Ⅱ	災害看護学実践論Ⅰ	4 前			2		○								1
			災害看護学実践論Ⅱ	4 後			1		○								1
			国際看護学	4 後			1		○								1
		公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	1 後	○	1			○			1					
			公衆衛生看護活動論	3 前			2		○			1	1	1	1		共同（一部）
			産業保健	3 後			1		○				1				
			公衆衛生看護活動展開論	4 前			4			○		1	1	1	1		共同（一部）
			公衆衛生看護管理論	4 後			1		○			1	1	1			共同（一部）
			公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）	4 通			1			○		1	1	1			共同
			公衆衛生看護学実習Ⅱ（組織支援）	4 通			1			○		1	1	1			共同
			公衆衛生看護学実習Ⅲ（展開管理）	4 通			3			○		1	1	1			共同
	看護実践統 研 究	看護統合実習 A（組織された看護実践）	4 前	○	2				○		5	6	3	8	1	1	共同
		看護統合実習 B（看護の探求）	4 前	○	2				○		5	6	3	8	1	1	共同
		看護研究	4 通	○	2				○		6	8	5	8		1	共同
			小計（58科目）	—	—	67	18	0	—		7	8	5	10	1	8	

専門分野	養護教諭教職課程	教育原理	2 前			1		○							1	オムニバス	
		教育制度論	2 後			1		○				1					
		教育課程論	2 前			1		○							1		
		教育方法論	2 後			1		○							1		
		特別活動の指導法	2 後			1		○		1					1		
		生徒指導論	3 後			1		○							1	共同	
		学校教育相談	2 後			2		○		1			1				
		養護実習事前・事後指導	4 通			1			○	1			1				
		養護実習	4 通			4			○	1			1				
		教職実践演習（養護教諭）	4 通			2			○	1			1				
		教職論	2 前			2		○							1	共同	
		道德教育/総合的な学習の時間の指導法	3 前			1		○							1		
		特別支援教育の基礎	3 前			1		○							1		
		養護概論	3 前			2		○		1			1				
		学校健康相談	3 前			2		○		1			1				
		小計（15科目）	－	－	0	23	0	－		1	0	1	1	0	7		
合計（136科目）				－	－	109	83	0	－		7	8	5	10	1	92	
学位又は称号		学士（看護学）				学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
必修科目109単位、選択科目17単位以上（選択必修科目を含む）を修得し、126単位以上を修得すること。保健師国家試験受験資格を得るには、上記卒業要件に加え、公衆衛生看護関連科目19単位を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。									1 学年の学期区分				2 学期				
									1 学期の授業期間				15 週				
									1 時限の授業の標準時間				90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																			
(和歌山看護学部看護学科)																			
科目 区分			授業科目の名称	配当年度	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)		
教養分野	アカ デミッ ク・ス キ ル	アカ デミッ ク・ ス キ ル	アカデミック・スキル	1 前	○	1			○						2	1		共同（一部）	
			パーソナル・コンピューター入門	1 前			1		○								1		
			情報リテラシー	1 前	○	1			○								1		
			情報科学概論	1 後			1		○							1			
		統 計	データサイエンス	1 後	○	2			○								1		
			疫学・保健統計学	2 後	○	2			○								1		
		言 語	論理的表現法	1 前	○	1			○										1
			英語	1 前	○	2			○										1
		人文・ 社会 自然 科学 身体 科学	外 国 語	フランス語	1 前			2		○									
	韓国語			1 前			2		○										1
	英会話Ⅰ（基礎）			1 後	○	2			○										1
	英会話Ⅱ（発展）			2 前			2		○										1
	人 文・ 社 会		心理学	1 前	○	1			○										1
			ボランティア論	1 前			1		○										1
			医学・医療概論	1 前	○	1			○										8
			哲学と宗教	1 前			2		○										1
			日本国憲法	1 前			2		○										1
			コミュニケーション論	1 後	○	1			○										1
			ボランティア活動	1 後			1		○										1
			生命倫理学	1 後			1		○										1
			社会学	1 後			2		○										1
			教育心理学	2 前			2		○										1
			ジェンダー論	2 前			1		○										1
			文化人類学	2 前			1		○										1
	芸術		2 後			1		○										1	
	経済学		2 後			2		○										1	
	国際関係論		2 後			1		○										1	
	自 然 科 学		生物学	1 前			1		○										1
			化学	1 前			1		○										1
			物理学	1 前			1		○										1
	身 体 科 学		スポーツ科学	1 前			1		○										1
			スポーツ実習	1 前			1			○									1
	ア キ 教 育 リ	キャリア教育Ⅰ（学問と専門職倫理）	1 前	○	1			○					1						
キャリア教育Ⅱ（看護職のキャリア）		2 後	○	1			○					1							
		小計（34科目）	—	—	16	30	0	—			0	2	2	1	0	32			

専門分野	人体の構造と機能	体の仕組みと働きⅠ (筋、骨格系、自律神経系、内分泌系、血液)	1 前	○	1			○								6	オムニバス
		体の仕組みと働きⅡ (脳神経系、神経系、感覚器系、免疫系)	1 前	○	1			○								4	オムニバス
		体の仕組みと働きⅢ (循環器系、呼吸器系)	1 後	○	1			○								2	オムニバス
		体の仕組みと働きⅣ (泌尿器系、消化器系、生殖器系)	1 後	○	1			○								5	オムニバス
		解剖生理学演習	2 後			1			○							1	
	疾病の成り立ちと回復の促進	治療学総論	1 前	○	1			○								7	オムニバス
		疾病治療論Ⅰ (筋、骨格系、感覚器系、免疫系)	1 後	○	1			○								6	オムニバス
		疾病治療論Ⅱ (脳神経系、神経系、腎臓系、泌尿器系)	1 後	○	1			○								4	オムニバス
		疾病治療論Ⅲ (循環器系、呼吸器系)	2 前	○	1			○								3	オムニバス
		疾病治療論Ⅳ (内分泌系、消化器系、血液・造血管系)	2 前	○	1			○								5	オムニバス
		疾病治療論Ⅴ (女性生殖器、小児期の疾病)	2 後	○	1			○								6	オムニバス
		疾病治療論Ⅵ (精神疾患、産後の母子の異常)	2 後	○	1			○								4	オムニバス
		栄養学	1 後	○	2			○								1	
		病原微生物学	1 後	○	2			○								2	オムニバス
		病態生理学	1 後	○	2			○								1	
		臨床薬理学	2 前	○	2			○								1	
	健康支援と社会（保障制度）	わかやま学	1 前	○	1			○			1	1	1				
		公衆衛生学	1 後	○	2			○								1	
		生活環境学	1 後			1		○								1	
		保健医療福祉行政論	2 前	○	2			○								2	オムニバス
		社会福祉論	2 前			2		○								1	
		学校保健Ⅰ（学校保健の概要）	2 前			1		○			1			1			共同
		学校保健Ⅱ（学校保健と学習指導要領）	2 後			1		○			1			1			共同
		小計（23科目）	—	—	24	6	0	—			1	1	1	1	0	45	
専門分野	用全護 般汎	看護理論	1 前	○	1			○			1	1					
		わかやま生活健康探索実習	2 前	○	2				○		5	7	3	8	1	5	共同
	基礎看護	基礎看護学概論	1 前	○	1			○			1						
		基礎看護学実践論Ⅰ（看護技術の基本）	1 前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅱ（フィジカルアセスメント）	1 後	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅲ（快適な環境と清潔）	1 後	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅳ（食事と排泄）	2 前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践論Ⅴ（診察に関わる看護技術）	2 前	○	1			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実践方法論	2 後	○	2			○			1	1		1		2	共同
		基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）	1 前	○	1				○		1	1		1		2	共同
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程展開実習）	2 後	○	2				○		1	1		1		2	共同
	看護学 領域別看護Ⅰ	地域・在宅看護学概論	1 後	○	1			○			1						
		地域看護活動論	2 前	○	2			○			1			2			共同（一部）
		在宅看護学実践論Ⅰ（看護技術の基本）	2 後	○	2			○			1			2			共同（一部）
		成人看護学概論	1 後	○	1			○			1	1					
		急性期看護学実践論	2 前	○	1			○			1		1	1			共同（一部）
		急性期・回復期看護学実践論	2 後	○	1			○			1		1	1			共同（一部）
		老年看護学概論	2 前	○	1			○				1				1	共同（一部）
		老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康生活を支える看護）	2 後	○	2			○				1	1	1		1	共同（一部）
		小児看護学概論	2 前	○	1			○			1	1					共同（一部）
		小児看護学実践論Ⅰ（健康障害を持つ子どもの看護）	2 後	○	2			○			1	1	1				共同（一部）
		母性看護学概論	2 前	○	1			○			1						
		母性看護学実践論Ⅰ（女性の健康と看護）	2 後	○	2			○			1	1		1			共同（一部）

		精神看護学概論	2 前	○	1		○				1					共同（一部）	
		精神看護学実践論Ⅰ（精神医療保健と看護）	2 後	○	2		○				1		2				
		公衆衛生看護学概論	1 後	○	1		○				1						
		小計（26科目）	—	—	35	0	0	—			6	7	3	8	1	5	
専門分野	養護教諭教職課程	教育原理	2 前			1		○								1	オムニバス 共同
		教育制度論	2 後			1		○					1				
		教育課程論	2 前			1		○							1		
		教育方法論	2 後			1		○							1		
		特別活動の指導法	2 後			1		○			1				1		
		学校教育相談	2 後			2		○			1		1				
		教職論	2 前			2		○							1		
	小計（7科目）	—	—	0	9	0	—			1	0	1	1	0	4		
合計（90科目）			—	—	75	45	0	—			7	8	5	15	1	75	
学位又は称号		学士（看護学）				学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
必修科目109単位、選択科目17単位以上（選択必修科目を含む）を修得し、126単位以上を修得すること。保健師国家試験受験資格を得るには、上記卒業要件に加え、公衆衛生看護関連科目19単位を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。									1 学年の学期区分				2 学期				
									1 学期の授業期間				15 週				
									1 時限の授業の標準時間				90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																				
(和歌山看護学部看護学科)																				
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助手を除く)			
教養 分野	アカ デミ ック・ 言語 一般 養育	アカ デミ ック・ 言語 一般 養育	看護学研究基礎	3 前	○	1				○			1	1						
			英語講読・記述	4 前			2			○								1		
			医療英語	4 後			2			○								1		
			キャリア教育Ⅲ（キャリア再考）	4 通	○	1				○			1							
				小計（4科目）	－	－	2	4	0	－			2	1	0	0	0	2		
専門 分野	立 疾 の 促 と の 進 回 成 復 り		リラクゼーション論	3 前			1			○								1		
			医用機器概論	3 前			1			○								1		
			小計（2科目）	－	－	0	2	0	－			0	0	0	0	0	0	2		
専門 分野	看護 汎用 全般	看護 汎用 全般	看護マネジメント	4 前	○	2				○				1					オムニバス	
			看護倫理	3 前	○	1				○			1	1						
			医療安全管理学	4 前	○	1				○				3						
			総合看護学演習	4 後			1				○		5	7	3	8	1	1		
	領域 別 看護 Ⅰ	看護 Ⅰ	在宅看護学実践論Ⅱ（在宅看護における看護過程）	3 前	○	1				○			1			2			共同（一部）	
			在宅看護学実習	3 後	○	2						○	1			2				共同
			周術期看護過程実践演習	3 前	○	1						○	1		1	1		1	共同（一部）	
			慢性期看護学実践論	3 前	○	1				○			1	2						1
			エンド・オブ・ライフ・ケア看護学実践論	3 前	○	1				○			1	2						共同
			急性期看護学実習	3 後	○	2						○	1		1	1				
			慢性期看護学実習	3 後	○	2						○	1	2					1	共同
			老年看護学実践論Ⅱ（健康障害を持つ高齢者の看護）	3 前	○	1				○				1	1	1		1	共同（一部）	
			老年看護学実習	3 後	○	2						○		1	1	1		1		共同
			小児看護学実践論Ⅱ（小児における看護過程の展開）	3 前	○	1				○			1	1	1				共同（一部）	
			小児看護学実習	3 後	○	2						○	1	1	1					共同
			母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）	3 前	○	1				○			1	1		1		1	共同（一部）	
			母性看護学実習	3 後	○	2						○	1	1		1		1		共同
			精神看護学実践論Ⅱ（精神看護）	3 前	○	1				○				1		2			共同（一部）	
			精神看護学実習	3 後	○	2						○		1		2		2		共同
	領域 別 看護 Ⅱ	看護 Ⅱ	災害看護学実践論Ⅰ	4 前			2			○								1		
災害看護学実践論Ⅱ			4 後			1			○								1			
国際看護学			4 後			1			○								1			

	公衆衛生看護	公衆衛生看護活動論	3 前		2		○		1	1	1	1		共同（一部）		
		産業保健	3 後		1		○			1						
		公衆衛生看護活動展開論	4 前		4			○	1	1	1	1		共同（一部）		
		公衆衛生看護管理論	4 後		1		○		1	1	1			共同		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）	4 通		1			○	1	1	1			共同		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（組織支援）	4 通		1			○	1	1	1			共同		
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（展開管理）	4 通		3			○	1	1	1			共同		
	看護実践統合	看護統合実習 A（組織された看護実践）	4 前	○	2				○	5	6	3	8	1	1	共同
		看護統合実習 B（看護の探求）	4 前	○	2				○	5	6	3	8	1	1	共同
		看護研究	4 通	○	2			○		6	8	5	8		1	共同
		小計（32科目）	－	－	32	18	0	－	6	8	5	8	1	6		
専門分野	養護教諭教職課程	生徒指導論	3 後		1		○							1		
		養護実習事前・事後指導	4 後		1			○	1			1			共同	
		養護実習	4 通		4			○	1			1			共同	
		教職実践演習（養護教諭）	4 通		2			○	1			1			共同	
		道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	3 前		1		○							1		
		特別支援教育の基礎	3 前		1		○							1		
		養護概論	3 前		2		○		1			1			共同	
		学校健康相談	3 前		2		○		1			1			共同	
		小計（8科目）	－	－	0	14	0	－	1	0	0	1	0	3		
	合計（46科目）			－	－	34	38	0	－	7	8	5	9	1	13	
学位又は称号		学士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）								
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目109単位、選択科目17単位以上（選択必修科目を含む）を修得し、126単位以上を修得すること。保健師国家試験受験資格を得るには、上記卒業要件に加え、公衆衛生看護関連科目19単位を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。								1 学年の学期区分				2 学期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業の標準時間				90 分				

(図表 1) 収容定員増の内容及び内訳 (単位: 名)

学部	学科	変更前		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医療保健学部	看護学科	100	400	100	400
	医療栄養学科 (うち管理栄養学専攻)	100 (68)	400	100 (68)	400
	医療情報学科	80	320	80	320
東が丘看護学部	看護学科	100	400	100	400
立川看護学部	看護学科	100	400	100	400
千葉看護学部	看護学科	100	400	100	400
和歌山看護学部	看護学科	90	360	<u>100</u>	<u>400</u>
東京医療保健大学全体		670	2,680	<u>680</u>	<u>2,720</u>

【東京医療保健大学 各学部学科の収容定員変更前と変更後の入学定員と収容定員より】

(図表 2) 直近 4 カ年の志願・入学者推移

学部学科	項目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
和歌山看護学部看護学科	入学定員	90	90	90	90
	志願者数	417	424	365	268
	受験者数	390	404	340	252
	合格者数	179	173	166	177
	入学者数	110	97	99	100
	志願倍率	4.63	4.71	4.05	2.97
	在学生数	412	408	410	403
	収容定員 充足率	1.14	1.13	1.13	1.11

【東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科 直近 4 カ年志願者合格者入学者より】

1 書類等の題名

「和歌山県高校 3 年生進学者数の動向（2020～2023 年）」

図表 3 設置等の趣旨（資料）11 ページ

2 出典

リクルート進学総研マーケットリポート 2023 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 近畿版

3 引用範囲

<https://souken.shingakunet.com/research/18/>

4 その他の説明

2020 年～2023 年の卒業者数・大学進学者数について表を作成した。

1 書類等の題名

「和歌山県 18 歳人口予想（2023～2035 年）」

図表 4 設置等の趣旨（資料）12 ページ

2 出典

リクルート進学総研マーケットリポート 2023 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 近畿版

3 引用範囲

<https://souken.shingakunet.com/research/18/>

4 その他の説明

2023 年～2035 年までの人数・指標について表を作成した。

1 書類等の題名

「全国看護職求人・求職・求人倍率（2019 年～2022 年）」

図表 5 設置等の趣旨（資料）12 ページ

2 出典

ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書より

3 引用範囲

https://www.nurse.or.jp/home/assets/20231114_nl01.pdf

4 その他の説明

2019 年～2022 年までの求人・求職・求人倍率について表を作成した。

1 書類等の題名

「和歌山県看護職求人・求職・求人倍率推移（2019 年～2022 年）」

図表 6 設置等の趣旨（資料）12 ページ

2 出典

ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書より

3 引用範囲

https://www.nurse.or.jp/home/assets/20231114_nl01.pdf

4 その他の説明

2019 年～2022 年までの求人・求職・求人倍率について表を作成した。

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）

目次

(1) 収容定員を増加する組織の概要	・・・2
① 収容定員を増加する組織の概要	・・・2
② 収容定員を増加する組織の特色	・・・2
(2) 人材需要の社会的な動向等	・・・3
① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	・・・3
ア 人口推移による医療ニーズの状況	・・・3
② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	・・・4
③ 収容定員を増加する組織の主な学生募集地域	・・・5
ア 直近 4 カ年の志願・入学動向	・・・5
④ 既設組織の定員充足の状況	・・・5
(3) 学生確保の見通し	・・・6
① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	・・・6
ア 既設組織における取組とその目標	・・・6
(ア) オープンキャンパスの魅力アップ	・・・6
(イ) 高等学校内ガイダンスや進学相談会等、直接高校生へ PR できる機会を増加	・・・7
(ウ) 教育連携事業の強化	・・・7
(エ) インターネット、SNS を活用した広報の強化	・・・7
(オ) 多彩な入試制度	・・・8
イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標	・・・8
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員の増加する組織での入学者の見込み数	・・・8
② 競合校の状況分析	・・・9
ア 競合校の選定理由と収容定員の増加する組織との比較分析、優位性	・・・9
イ 競合校の入学志願動向等	・・・9
ウ 収容定員の増加する組織において定員を充足できる根拠等	・・・10
エ 学生納付金等の金額設定の理由	・・・10
③ 先行事例分析	・・・10
④ 学生確保に関するアンケート調査	・・・10
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等	・・・10
(4) 収容定員の増加する組織の定員設定の理由	・・・11

(1) 収容定員を増加する組織の概要

① 収容定員を増加する組織の概要

収容定員を増加する組織	入学定員	収容定員	所在地
東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科	90 (100)	360 (400)	雄湊キャンパス 和歌山県和歌山市東坂ノ上丁 3 日赤和歌山医療センターキャンパス 和歌山県和歌山市小松原通 4-20

② 収容定員を増加する組織の特色

東京医療保健大学（以下、本学という。）は、教育基本法に基づき学校教育法の定める大学として、また私立大学法に従い、知識社会が実現すると予測される 21 世紀において、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探究し解決できる人材の育成を目的としている。

2005 年 4 月に開学、設置した本学（医療保健学部看護学科、医療栄養学科、医療情報学科）は、2 年後の 2007 年 4 月には、大学院医療保健学研究科（修士課程）を設置し、2009 年 4 月には助産学専攻科と大学院医療保健学研究科（博士課程）を設置した。2010 年 4 月には、東が丘看護学部と大学院看護学研究科（修士課程）を設置し、2014 年 4 月に東が丘看護学部を東が丘・立川看護学部に変更し、大学院看護学研究科（博士課程）を設置。また 2018 年 4 月には千葉看護学部と和歌山看護学部をそれぞれ設置し、2020 年 4 月には東が丘・立川看護学部を東が丘看護学部と立川看護学部に変更し、大学院和歌山看護学研究科（修士課程）を設置した。翌年の 2021 年 4 月には大学院千葉看護学研究科（修士課程）を設置し、翌年の 2022 年 4 月には和歌山助産学専攻科を設置し、計 5 学部 7 学科、2 専攻科、大学院 4 研究科（修士課程・博士課程）という体制となった。この度、収容定員増加の申請を行う和歌山看護学部（以下、本学部という。）は、2018 年度の設置以降、設置計画を着実に履行し、特色ある教育活動を展開し、看護師養成教育の教育実績を向上させてきた。

本学部は、「変化する時代、社会を幅広く見据えながら、自律した専門職として、豊かな人間性と倫理観、高い看護実践能力をもち、発展的に地域社会の看護を創造しうる看護職の育成を図る。」との教育理念の下、2018 年に開設し、地域社会及び地域の人々の健康課題の解決並びに保健医療福祉の質の向上に貢献しているところである。

またディプロマ・ポリシーにおいて、1. 看護の専門職として必要な、医療・看護に関する基本的知識と技術および思考方法が身についている。2. 人間と社会に対する幅広い知識を有しており、地域社会をはじめ各々のコミュニティにおける人々の生活と健

康の観点で看護を考えることができる。3. 創造的で柔軟な思考や発想を担保する幅広い教養を身につけている。4. 言語能力を基礎としたコミュニケーションスキル、グローバル感覚、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力といった、知的社会生活に必要な学士にふさわしい汎用的技能を有している。5. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神が身につけている。6. 看護専門職としてあるいは社会の一員として、関係する多職種や人々と連携・協働することができる。7. 看護専門職としての倫理観を有し、自らを律し、生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組む態度と能力が備わっている。8. 上記の力が備わった人間として、看護を実践することができることを卒業認定・学位授与方針として示している。

我が国においては、近年、超高齢化、少子化、高学歴化、情報化、国際化が著しく進展しており、これに伴い医療も高度化し、医療の実践内容も複雑多岐にわたっている。しかしながら、その中で医師不足、看護師不足が深刻になるとともに、医療の質的向上が喫緊の課題になっている。和歌山県でも人口減少、高齢化が進む中で、保健・医療・福祉にかかわる専門職の育成が急務である。なかでも、看護職には看護の対象者が住み慣れた場所で少しでも長く自立した生活を続けられるようケアやサポートをすることが求められている。本学部はこうした現状を踏まえ、日本赤十字社和歌山医療センターと連携し、幅広く専門性の高い知識と確かな技術を修得し、「地域」を支える看護職を育成するために設立され、高度な看護実践能力を身につけた看護職者を輩出している。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

ア 人口推移による医療ニーズの状況

我が国における、近年の少子高齢化の進展状況において、総人口における15歳未満の割合は、2022年度では11.6%(2015年度は12.5%)、65歳以上の割合は29.0%(2015年度は26.6%)【資料1】厚生統計要覧(令和5年度,厚生労働省))となっている。また本学部が設置されている和歌山県においても、2022年度では11.2%(2015年度では12.1%)、65歳以上の割合は34.0%(2015年度では30.9%)【資料2-1,2-2】年齢(3区分),男女別人口)となっており、全国を上回る速さで少子高齢化が進展している。

このような状況の中、高度急性期医療の発展や医療機関の機能分化により早期に在宅への移行が可能となったことから、住み慣れた地域社会において自分らしく安心して生きることへのニーズも高まっている。また、国民の健康や生活に対する認識は変化していることから、健康の保持・増進並びに健康課題の解決に向けた保健医療福祉の取り組みに対するニーズは多様化している。看護職者が求められる能力として、保健師は多岐にわたる健康課題に多職種と協働しながら対応できる専門的能力及び行政的能力、助産師はニーズの多様化を踏まえた実践力、看護師は医療の高度化・専門化、在宅医療

の普及等に対応できる知識や技術が必要となっており、看護職者の養成校においても、自己教育力を基盤とし、看護実践力を高めながら看護専門職としてのプロフェッショナルリズムを醸成し続けられる自律した看護専門職者を養成していくことを求められていると考える。

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

この度収容定員を変更する本学部の定員充足について、文部科学省の学校基本調査をもとにした令和 5（2023）年度調査における全国の 18 歳人口の推移予測は【図表 1】のとおりである。令和 5（2023）年度調査における収容定員を変更する令和 7（2025）年の 18 歳人口予測は、1,090,562 人であり、完成年度となる令和 10（2028）年の 18 歳人口予測は、1,069,005 人と約 2%減少しており、収容定員を変更する令和 7（2025）年から 10 年間の推移でも、毎年 1~2%減少していき、2035 年の全国の 18 歳人口予測は 970,429 人と 2025 年より 11%少ない人口予測になっている。

次に、地域的な 18 歳人口の推移予想について確認する。本学部の立地する和歌山県が属する近畿 2 府 4 県の令和 5（2023）年度調査における 18 歳人口の推移予測より、収容定員を変更する令和 7（2025）年の近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測は、179,388 人であり、完成年度となる令和 10（2028）年の 18 歳人口予測は、174,534 人と約 2.7%減少している。収容定員を変更する令和 7（2025）年から 10 年間の推移でも、毎年 1~2%減少しており、2035 年の近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測は、158,282 人と 2025 年より 11.7%少ない人口予測になっている。

また、本学部の立地する和歌山県の令和 5（2023）年度調査における 18 歳人口の推移予測より、収容定員を変更する令和 7（2025）年の和歌山県の 18 歳人口予測は、7,941 人であり、完成年度となる令和 10（2028）年の 18 歳人口予測は、7,684 人と約 3.2%減少している。収容定員を変更する令和 7（2025）年から 10 年間の推移でも、毎年 1~5%減少しており、2035 年の和歌山県の 18 歳人口予測は、6,582 人と 2025 年より 16.7%少ない人口予測になっている。

本学部が立地する和歌山県は、全国の人口推移や近畿 2 府 4 県の人口推移予測と比べると人口の減少が大きいと予測されているが、看護師の全国的な人材需要の動向について、「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」（厚生労働省）において 2025 年の全国における看護職員供給数の約 175~182 万人に対して、需要数は約 188~202 万人と推計がされており、供給不足であると推計している。また、公益社団法人日本看護協会において各年度の看護職求人数・求職数が報告されており、2022 年までの 4 カ年の報告書から求人倍率をみると、いずれも高い数値を示している（図表 2）。本学部所在地の和歌山県の看護職求人数・求職数については、全国に比べさらに高い数値を示している（図表 3）。供給不足である推計からも、地域的に見ても今後も需要は続くと考えられる。

以上のことより、本学部の進学需要に合わせて収容定員を変更することは問題ないと思う。また看護師の供給不足であることから、現在の志願者数から入学者選抜機能を維持しながら、入学定員に見合う入学者を確保することは十分に可能であると思う。

③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

ア 直近4カ年の志願・入学動向

本学部は立地している和歌山県からの入学生が中心であるが、大阪府南部も学生募集エリアとしていることから、両府県からの入学者が安定して在籍している(図表4)。

また、直近4カ年の志願状況は平均志願倍率が4.09倍を超えており、今回の収容定員増加により入学定員は100名となるが、過去の志願者数はこれを大きく上回っており、変更後の入学定員は継続して充足できていると考えている。また、合格者の入学歩留まり率(入学者数/合格者数)は、2021年度61%、2022年度56%、2023年度59%、2024年度56%と平均58%と入学者数も安定して確保していることから本学部は志望度の極めて高い受験者を確保できていると言える(図表5)。

本学部の受験の傾向として、第一希望としている受験生のうち、一定数が合格するまで複数回入試を受験している。2023年度以降志願者数が減少しているのは、優秀な受験生を総合型選抜、学校推薦型選抜で多数確保したことにより複数回受験者が一定数減少したことに起因するものである。ただし合格者数は過去4年間を見ても一定数を維持し、入学者数についても安定していることから(図表5)、全く問題はなく変更後の入学定員は充足できていると考えている。

18歳人口の減少等少子化の傾向がある中でも、本学部が志願者及び入学者を確保しているのは、地域社会のニーズに応え、専門職者等人材を輩出してきた結果であり、今後も引き続いて本学へ期待が寄せられるものと考えている。

④既設組織の定員充足の状況

本学において、2024年5月1日時点で収容定員充足率が0.7倍を下回る学科は、医療保健学部医療栄養学科及び医療情報学科の2学科となっており、前者の充足率は0.66、後者の充足率は0.67である。その他の学部学科は収容定員充足率が0.7倍を下回っていない(図表6)。

医療保健学部医療栄養学科は、募集定員100名に対し、2020年度入学者数98名(志願者数274名)、2021年度入学者数101名(志願者数244名)と推移してきたが、その後、2022年度入学者数65名(志願者数178名)、2023年度入学者数54名(志願者数145名)と推移し、急速かつ大幅な入学者減となり、また18歳人口が継続的に減少することが確実なことから、医療栄養学科の改善策を早急に講じる必要があると考え、2024年4月に、医療の専門家の連携による「チーム医療」の一員として参画できる高度専門職の養成を目指して、医療栄養学科に管理栄養学専攻と臨床検査学専攻の2専攻を

設置したことにより、2024 年度入学者数 80 名（志願者数 184 名）と前年までに比べて入学者数と志願者数を増加させた。

また医療情報学科においては、募集定員 80 名に対して、2020 年度入学者数 92 名（志願者数 164 名）、2021 年度入学者数 85 名（志願者数 149 名）と推移してきたが、2022 年度入学者数 53 名（志願者数 98 名）、2023 年度入学者数 48 名（志願者数 98 名）、2024 年度入学者数 33 名（志願者数 64 名）と推移し、2020 年以降急激な入学者減という課題に直面している。この課題に対処するため、この間、医療情報学科では、定員充足の取り組みとして、ヘルスケア業界の動向と受験生のニーズを見据え、学科の意識改革やカリキュラム見直しなどを行ってきた。2020 年度から 2021 年度にかけて Plus-DX（デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン）と産業 DX（デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業 DX をけん引する高度専門人材育成事業）補助金の支援を受けると共に、2022 年度には、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」に認定いただく等、IT・データサイエンス教育を強化してきた。それらを踏まえ、医療情報学科は、学科の再編を図るべく、2023 年 7 月 21 日に文部科学省支援事業「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲のある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革を行う」という新たな試みにもチャレンジしている。しかし、医療情報学科を取り巻く外部環境は想定以上に变化しており、多くの大学でデータサイエンス系の学部学科が新設されることもあり、学生募集は依然厳しい状況になっていることから、医療情報学科単独ではなく医療保健学部各学科のシナジー効果を最大限に引き出せる学科改組による再編プラン（リバイバルプラン）を策定中である。

上記のとおり、医療栄養学科は入学者数の増加により収容定員充足率を向上させており、引き続き収容定員充足率の向上を図っていく。なお、医療情報学科については、学科再編へ向けた取り組みの中で、今後収容定員充足を図っていく。

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

本学部では広報委員会が中心となり全教職員で学生募集活動にあたっている。また、事務部に学生募集活動を主な業務とする担当者を置き、高校生や保護者、高等学校教員への情報発信等を専門的に行っている。なお、継続的な学生確保を目的として、オープンキャンパスの内容を充実すること、学内外での学生・教員の活動を積極的に広報することを重点としており、今後さらに強化していく。

（ア）オープンキャンパスの魅力アップ

本学部ではオープンキャンパスでの大学情報発信に取り組んできた。それによ

り本学部のオープンキャンパスへは毎年多くの高校生に来場してもらうことができている（図表 7）。

2024 年度入学者への本学部のアピールとなる 2023 年度のイベントは年間 5 回（6 月、7 月、8 月 2 回、9 月）開催し、大学理解・職業理解を促す体験授業や大学概要説明のほか、教育内容の特色等を受験生、保護者に明確に説明している。また同じ学生が何度もイベントに参加して頂ける傾向にあり、高校生が直接在学生と話ができる企画を行うなど、毎回プログラムを変更して高校生に興味・関心を抱いていただけるよう配慮しながら実施している。

（イ）高等学校内ガイダンスや進学相談会等、直接高校生へ PR できる機会を増加

本学部の PR 機会を持つために、高等学校内で開催される出前授業や進学説明会に力を入れてきた。和歌山県下の高等学校の進路指導担当者への直接訪問を行い、各高等学校で独自の大学説明会や進学相談会を実施している。

2023 年度実績として、学生募集担当者が和歌山県下の高等学校 25 校へ合計 103 回の高校訪問をし、高等学校での大学説明会、進路説明会、入試説明会を 20 校に合計 23 回実施。また、高校生が本学部に来校して実施する体験講義や本学部教員が各高等学校で行う出前授業を 6 校に合計 16 回実施している。

（ウ）教育連携事業の強化

和歌山県に所在する高等学校 8 校（県立粉河高等学校、県立那賀高等学校、県立星林高等学校、県立和歌山商業高校、県立海南高等学校、県立耐久高等学校、県立新宮高等学校、和歌山信愛高等学校）と教育連携協定を結んでおり、高校教諭と本学教員との協議会を開催し、本学部での授業の見学を定期的で開催している。また本学部教員による出前授業などを実施し、大学での学びの理解と本学の教員・学生の様子を高校生が知る機会を提供している。その結果、教育連携協定を結ぶ高等学校からの入学者数は増加傾向にあり、今後も積極的な活動に努める（図表 8）。

（エ）インターネット、SNS を活用した広報の強化

本学部ではインターネットにおける広報活動に力を入れている。本学 HP に加え、本学部では和歌山特設サイトを運営しており、本学部に特化した情報を発信している。また Instagram では、本学部のイベント情報や演習風景の他、学内情報の発信などを行っており、2023 年度実績では、53 件の投稿と 1,123 件の“いいね”を得ている。

(オ) 多彩な入試制度

本学部では多彩な入試制度を実施しており、多様な学習歴をもつ高校生に広く門戸を開いている。2024 年度入試では、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜では、A 日程、B 日程、C 日程、特別日程、大学入学共通テスト利用入試前期、大学入学共通テスト利用入試後期の 8 入試を実施している（図表 9）。

収容定員増加後の次年度入試では、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜では、A 日程、C 日程、特別日程、大学入学共通テスト利用入試の 6 入試を予定している（図表 10）。

高校生の年内入試への意識が高くなり、一般選抜の受験者が年々減少していることに対応し、入学者の早期獲得を目指すため、入試日程を変更するものである。

試験内容は、総合型選抜で自己推薦書・プレゼンテーション・面接での総合評価。学校推薦型選抜では、調査書・小論文・面接での総合評価。一般選抜では、4 科目（英語・国語・数学・理科）を用意し、日程によって 2 科目もしくは 3 科目受験としている。プレゼンテーションと面接に重点を置いた入試、小論文と面接に重点を置いた入試等様々な特色ある入試を実施することで、本学部の学士過程教育で培う能力・素養に応じて、多様な知識・技能、目的意識・意欲を備えた受験生を、アドミッション・ポリシーに基づき、幅広く受け入れている。

イ 収容定員の増加する組織における取組とその目標

収容定員を変更した後も、定員を充足させていくため、学校訪問などを行う学生募集担当を新たに雇用し、収容定員を変更する年度以降も学生募集活動に力を入れていく。また、本学部の卒業生が病院等で活躍している姿を見てもらうため、オープンキャンパス等のイベントに招聘し、卒業生の声を高校生に届ける機会を設定している。

教育連携事業についても、毎年 5 月に教育連携協定を結んでいる高校教諭と本学教員との連絡会議を実施しており、今後も続けて実施していく予定である。

またインターネットや SNS を活用した広報については、継続して情報発信を行っていく予定である。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員の増加する組織での入学者の見込み数

オープンキャンパス等のイベントへ参加した受験対象者のうち、60~70%程度の高校生が受験に繋がっており、入学率も 50~78%程度になっていることから、継続して学生募集イベントを実施していくことで、同程度の受験率と入学率を確保できると考えている（図表 11）。

教育連携事業の強化では、教育連携協定を結ぶ高等学校との連携は勿論だが、学生募集担当者による高校訪問等で高校教員、高校生への本学部を知る機会を増加入学確保に繋げることにより、教育連携協定を結ぶ高等学校からは、各校平均 6 名以上の入学者数を見込んでいる（図表 8）。

前述の本学部志願者数推移からも定員の増加を行っても、継続して定員を満たせるものと確信している。

②競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と収容定員の増加する組織との比較分析、優位性

本学部の立地条件と看護師養成大学であること、また過去に入学した学生の出身高校所在地から、和歌山県と大阪府に所在する全看護系私立大学 21 校及び近在する和歌山県立医科大学保健看護学部と和歌山県立高等看護学院看護学科を競合校として選定した。

本学部は、看護師国家試験受験資格の他に、保健師国家試験受験資格、養護教諭一種・二種を取得できる。また修学支援制度として、和歌山県私立看護大学運営支援補助金を活用し、和歌山県在住の入学者を対象とした入学金半額支援制度（一定の条件を満たせば対象者全員が入学金 30 万円の半額を返金するというもの）や成績優秀者を特待生として授業料を免除するスカラシップ制度を設定している。他にも病院奨学金制度として、卒業後の就職を前提とした、病院が学生を支援する奨学金制度も設定している。開学当初より本学部専用枠を連携病院である日本赤十字社和歌山医療センターをはじめ、和歌山県内病院施設等に設定していただき、令和 6 年度現在、和歌山県内 27 の医療施設等から「東京医療保健大学枠」を確保しており、平成 30（2018）年度生は 56 名、令和元（2019）年度生は 63 名、令和 2（2020）年度生は 53 名、令和 3（2021）年度生は 51 名、令和 4（2022）年度生は 49 名、令和 5（2023）年度生は現在のところ 43 名の学生が病院奨学金を受給している。以上の点は競合校に対しての優位性であると言える。

イ 競合校の入学志願動向等

和歌山県と大阪府の競合校との入学者数を比較してみる。分析時点ではすべての大学の 2024 年度入学者数情報が揃わないため、2023 年度入試における入学者数の状況を見る。

2023 年度における和歌山県の看護系大学と大阪府の看護師養成私立大学は本学部を含め 22 大学あるが、すべての大学が入学定員を満たしており、2023 年度入学生における定員充足率も 100%を下回る大学はない（図表 12）。また、前述のとおり志願倍率は 2.9 倍を超えていることから、収容定員増加の後も継続して学生確保は可能であると考えている。また近畿地区他府県の看護師養成大学の入学状況から

見ても、入学定員の確保は可能であると考え（図表 13）。

また近在する和歌山県立医科大学保健看護学部と和歌山県立高等看護学院看護学科は、本学部と併願受験をする受験生が毎年多い。直近 3 カ年の入学者数と志願者数を確認すると、和歌山県立医科大学保健看護学部は入学定員数と同じ 80 名（志願者数 2022 年度 320 名、2023 年度 315 名、2024 年度 297 名）であり、和歌山県立高等看護学院看護学科は定員数と同じ 50 名（志願者数 2022 年度 100 名、2023 年度 97 名、2024 年度 95 名）と、定員を満たしており、志願者数も若干減少しているが、定員数を超える人数であることがわかる。

ウ 収容定員の増加する組織において定員を充足できる根拠等

選定した競合校に定員未充足の大学はないため、記述しない。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

学生納付金は、収容定員変更前と変わらず現状どおり（4 年間の合計 6,763,900 円）とした。なお、競合する近隣の看護系私立大学の学納金は、（図表 14）「2024 年度 和歌山県と大阪府の同系統学部学費一覧」のとおりである。近隣の 22 看護系大学（私立大学）の 4 年間の学納金は平均 6,903,869 円であり、本学部は平均を下回っていることから、他大学との競争力を維持できる妥当な金額である。

③先行事例分析

本学において学部の収容定員の変更は先行事例がないため、該当はないが、前述した学生納付金等の金額設定の理由より、収容定員の変更後も学納金の変更は行わない予定のため、引き続き他大学との学納金面での競争力を維持できるものと考えている。

④学生確保に関するアンケート調査

アンケート調査は実施せず、既設組織の実績に基づいて説明を行う。

ア 既設組織の当該実績

本学部の過去の志願・入学者推移から、志願者数は 4.63 倍～2.97 倍で推移しており、入学者数は 1.22 倍～1.11 倍で推移、合格者入学歩留率は、0.61～0.56 で推移していることから、収容定員の増加する組織の 100 名という定員設定は、問題ないと言える。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

前述にもあるが、和歌山県における看護職者の状況は、「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」（厚生労働省）において現在の看護

職員の供給不足に加え、2025 年の全国における看護職員供給数の約 175～182 万人に対して、需要数は約 188～202 万人と推計がされており、供給不足であると推計している。また公益社団法人日本看護協会において各年度の看護職求人数・求職数が報告されており、2022 年までの 4 カ年の報告書から求人倍率をみると、いずれも高い数値を示している（図表 2）。本学部所在地の和歌山県の看護職求人数・求職数については、全国に比べさらに高い数値を示している（図表 3）。供給不足である推計からも、地域的に見ても今後も需要は続くと考えられる。

また、本学部卒業生の就職先を確認すると、和歌山県内での就職率が高く、1 期生 2021 年度卒業生のうち就職を希望した 94 名の学生の 92.5%（87 名）、2 期生 2022 年度卒業生のうち就職を希望した 89 名の学生の 94.3%（84 名）、3 期生 2023 年度卒業生のうち就職を希望した 100 名のうち 87%（87 名）が和歌山県内の病院等へ就職しており、和歌山県の看護師需要に大きく貢献するとともに、若者の県外流出を留める効果も充分果たしていると言える。

（４）収容定員の増加する組織の定員設定の理由

「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共催事業団）」の調査によると、2020 年から 2023 年の 4 年間で看護学部は 100 学部から 110 学部増加しているが、入学者数約 1 万人に対し、約 5 万人の志願者数で推移しており、全国的に看護学部が増えた現状にあっても看護職者を志す学生は多い。【資料 3-1,3-2,3-3】

また、本学部の志願動向を見ると、過去 4 年間の志願倍率は減少傾向で推移しているが、2024 年度でも 2.97 倍を確保していることがわかる（図表 5）。

以上、全国的な看護学部の志願状況、本学部の志願状況及び和歌山県における看護師の不足状況を踏まえた上で、教育の質を担保しながら提供可能な本学部の教育体制などを総合的に判断し、本学部の新定員を 100 名と設定する。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料目次）

図表 1	18 歳人口の推移	・・・ P2
図表 2	全国看護職求人・求職・求人倍率（2019 年～2022 年）	・・・ P2
図表 3	和歌山県看護職求人・求職・求人倍率推移（2019 年～2022 年）	・・・ P2
図表 4	府県別入学者数（出身高校所在地別）	・・・ P3
図表 5	直近 4 カ年の和歌山看護学部看護学科の志願・入学者推移	・・・ P3
図表 6	東京医療保健大学の各学部学科の収容定員の充足状況	・・・ P4
図表 7	オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ集計）	・・・ P4
図表 8	教育連携協定校からの入学者数推移（2022 年度～2024 年度入学者数）	・・・ P5
図表 9	入学者選抜（2024 年度入試）	・・・ P5
図表 10	入学者選抜（2025 年度入試）	・・・ P5
図表 11	イベントの参加者数と受験率、入学率	・・・ P5
図表 12	2023 年度 和歌山県と大阪府の看護系私立大学入学者数、定員充足率の状況	・・・ P6
図表 13	近畿地区 府県別 看護師養成大学 入学状況	・・・ P7
図表 14	2024 年度 和歌山県と大阪府の同系統学部学費一覧	・・・ P8
資料 1	総人口・将来推計人口・構成割合	・・・ P9
資料 2-1	総人口・構成割合（令和 4 年 10 月 1 日現在）	・・・ P10
資料 2-2	総人口・構成割合（平成 27 年 10 月 1 日現在）	・・・ P11
資料 3-1	主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R2～R3	・・・ P12
資料 3-2	主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R3～R4	・・・ P13
資料 3-3	主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R4～R5	・・・ P14
別紙 1	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	・・・ P15
別紙 2-1	既設学科等の入学定員の充足状況 和歌山看護学部看護学科	・・・ P16
別紙 2-2	既設学科等の入学定員の充足状況 医療保健学部看護学科	・・・ P17
別紙 2-3	既設学科等の入学定員の充足状況 医療保健学部医療栄養学科	・・・ P18
別紙 2-4	既設学科等の入学定員の充足状況 医療保健学部医療情報学科	・・・ P19
別紙 2-5	既設学科等の入学定員の充足状況 東が丘看護学部看護学科	・・・ P20
別紙 2-6	既設学科等の入学定員の充足状況 立川看護学部看護学科	・・・ P21
別紙 2-7	既設学科等の入学定員の充足状況 千葉看護学部看護学科	・・・ P22
別紙 3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	・・・ P23

1 書類等の題名

「18 歳人口の推移」図表 1 学生確保（資料）2 ページ

2 出典

文部科学省 学校基本調査,リクルート進学総研

3 引用範囲

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_souken_report/2023_kinki_souken_report.pdf

4 その他の説明

近畿・和歌山・全国と 2025 年・2028 年の表中を赤枠で囲んだ。

1 書類等の題名

「全国看護職求人・求職・求人倍率（2019 年～2022 年）」

図表 2 学生確保（資料）2 ページ

2 出典

ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書（2019～2022）

3 引用範囲

https://www.nurse.or.jp/home/assets/20231114_nl01.pdf

4 その他の説明

2019 年～2022 年の各年の求人・求職・求人倍率の表を作成した。

1 書類等の題名

「和歌山県看護職求人・求職・求人倍率推移（2019 年～2022 年）」

図表 3 学生確保（資料）2 ページ

2 出典

ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書（2019～2022）

3 引用範囲

https://www.nurse.or.jp/home/assets/20231114_nl01.pdf

4 その他の説明

2019 年～2022 年の各年の求人・求職・求人倍率の表を作成した。

(図表 4) 府県別入学者数（出身高校所在地別）

府県	2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大阪府	7	6%	2	2%	4	4%	2	2%
奈良県	—	—	—	—	—	—	2	2%
佐賀県	—	—	1	1%	—	—	—	—
和歌山県	103	94%	94	97%	95	96%	96	96%
合計	110		97		99		100	

【直近 4 カ年の出身高校所在地別入学者より】

(図表 5) 直近 4 カ年の和歌山看護学部看護学科の志願・入学者推移

学部学科	項目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
和歌山看護学部 看護学科	入学定員	90	90	90	90
	志願者数	417	424	365	268
	受験者数	390	404	340	252
	合格者数	179	173	166	177
	入学者数	110	97	99	100
	志願倍率	4.63	4.71	4.05	2.97
	在学生数	412	408	410	404
	収容定員 充足率	1.14	1.13	1.13	1.12
	合格者 入学歩留率	0.61	0.56	0.59	0.56

【4 カ年志願者受験者合格者入学者より】

(図表 6) 東京医療保健大学の各学部学科の収容定員の充足状況

大学・学部等名	入学 定員	収容 定員	学生数 (令和 6 年 5 月 1 日現在)	収容定員 充足率	備考
東京医療保健大学 医療保健学部 (合計)	280	1,120	950	0.84	
看護学科	100	400	469	1.17	
医療栄養学科	100	400	266	0.66	
医療情報学科	80	320	215	0.67	
東が丘看護学部 看護学科	100	400	456	1.14	
立川看護学部 看護学科	100	400	456	1.14	
千葉看護学部 看護学科	100	400	450	1.12	
和歌山看護学部 看護学科	100	400	404	1.12	令和 7 月 4 月 収容定員変更 変更前収容定員：360 変更後収容定員：400

【東京医療保健大学 各学部学科 収容定員の充足状況】

(図表 7) オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ集計）

2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
472	596	479	472

【オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ：2020 年～2023 年）より】

(図表 8) 教育連携協定校からの入学者数推移 (2022 年度～2024 年度入学者数)

高校名	2022 年度	2023 年度	2024 年度
粉河	3	3	3
那賀	4	2	8
星林	11	17	7
和歌山商業	6	4	3
海南	6	5	9
耐久	6	7	7
新宮	4	2	3
信愛	6	8	9
合計	46	48	49

【教育連携協定校からの入学者数推移より】

(図表 9) 入学者選抜 (2024 年度入試)

総合型選抜	学校推薦型選抜		一般選抜				大学入学共通 テスト利用入試	
10 月	指定校	公募制	A 日程	B 日程	C 日程	特別日程	前期	後期

【東京医療保健大学和歌山看護学部 入学者選抜区分より】

(図表 10) 入学者選抜 (2025 年度入試)

総合型選抜	学校推薦型選抜		一般選抜			大学入学共通 テスト利用入試
10 月	指定校	公募制	A 日程	C 日程	特別日程	前期・後期

【東京医療保健大学和歌山看護学部 入学者選抜区分より】

(図表 11) イベントの参加者数と受験率、入学率

	2023 年度入試	2024 年度入試
参加者等総数	479 人	603 人
うち受験対象者数	207 人	143 人
うち受験者数	127 人	103 人
うち入学者数	66 人	81 人
受験率	61.35%	72.03%
入学率	51.97%	78.64%

【東京医療保健大学和歌山看護学部 イベント参加者と受験率、入学率】

1 書類等の題名

「2023 年度 和歌山県と大阪府の看護系私立大学入学者数、定員充足率の状況」

図表 12 学生確保（資料）6 ページ

2 出典

和歌山県・大阪府の看護系私立 21 大学の HP 公開データより

3 引用範囲

宝塚医療大学 <https://www.tumh.ac.jp/course/kango/>

関西医療大学 <https://www.kansai.ac.jp/>

太成学院大学 <https://www.tgu.ac.jp/>

宝塚大学 <https://www.takara-univ.ac.jp/>

関西看護医療大学 <https://www.kki.ac.jp/>

四条畷学園大学 <https://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/>

大阪青山大学 <https://www.osaka-aoyama.ac.jp/>

千里金蘭大学 <https://www.kinran.ac.jp/>

大手前大学 <https://www.otemae.ac.jp/>

藍野大学 <https://univ.aino.ac.jp/index2.php>

大阪信愛学院大学 <https://www.osgu.ac.jp/>

関西医療大学 <https://www.kansai.ac.jp/>

大阪医科薬科大学 <https://www.ompu.ac.jp/>

畿央大学 <https://www.kio.ac.jp/>

大和大学 <https://www.yamato-u.ac.jp/>

四天王寺大学 <https://www.shitennoji.ac.jp/>

森ノ宮医療大学 <https://www.morinomiya-u.ac.jp/>

摂南大学 <https://www.setsunan.ac.jp/>

大阪成蹊大学 <https://univ.osaka-seikei.jp/>

梅花女子大学 <https://www.baika.ac.jp/>

4 その他の説明

大学名・学部名・学科名・入学定員・入学者数（2021 年～2023 年）・定員充足率を引用し表を作成した。

1 書類等の題名

「近畿地区 府県別 看護師養成大学 入学状況」

図表 13 学生確保（資料）7 ページ

2 出典

厚生労働省作成 2023 年度看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就学状況調査より

3 引用元

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450141&tstat=000001022606>

4 その他の説明

近畿 2 府 5 県（京都府・大阪府・三重県・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県）の学校数・総定員・1 学年定員・応募者数・受験者数・合格者数・入学者数・競争率・充足率の項目で表を作成した。

1 書類等の題名

「2024 年度 和歌山県と大阪府の同系統学部学費一覧」

図表 14 学生確保（資料）8 ページ

2 出典

宝塚医療大学 <https://www.tumh.ac.jp/course/kango/>

関西医療大学 <https://www.kansai.ac.jp/>

太成学院大学 <https://www.tgu.ac.jp/>

宝塚大学 <https://www.takara-univ.ac.jp/>

関西看護医療大学 <https://www.kki.ac.jp/>

四条畷学園大学 <https://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/>

大阪青山大学 <https://www.osaka-aoyama.ac.jp/>

千里金蘭大学 <https://www.kinran.ac.jp/>

大手前大学 <https://www.otemae.ac.jp/>

藍野大学 <https://univ.aino.ac.jp/index2.php>

大阪信愛学院大学 <https://www.osgu.ac.jp/>

関西医療大学 <https://www.kansai.ac.jp/>

大阪医科薬科大学 <https://www.ompu.ac.jp/>

畿央大学 <https://www.kio.ac.jp/>

大和大学 <https://www.yamato-u.ac.jp/>

四天王寺大学 <https://www.shitennoji.ac.jp/>

森ノ宮医療大学 <https://www.morinomiya-u.ac.jp/>

摂南大学 <https://www.setsunan.ac.jp/>

大阪成蹊大学 <https://univ.osaka-seikei.jp/>

梅花女子大学 <https://www.baika.ac.jp/>

3 引用元

和歌山県と大阪府の同系統 22 大学の HP の公開データより

4 その他の説明

大学名・学部・学科・初年度納付金・4 年間総額の項目で表を作成した。

1 書類等の題名

「総人口・将来推計人口・構成割合,年齢3区分×年次別」

資料1 学生確保（資料）9 ページ

2 出典

総務省統計局「人口推計」「国勢調査報告」, 国立社会保障・人口問題研究所

「日本の将来推計人口, 令和5年推計」の中位推計値

3 引用範囲

https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp

4 その他の説明

第1-4表を引用し、平成27年（2015）と令和4年（2022）の数値をハイライトした。

1 書類等の題名

「総人口・構成割合,年齢3区分×都道府県別」

資料2-1 学生確保（資料）10 ページ

2 出典

総務省統計局「人口推計」

3 引用範囲

https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp

4 その他の説明

令和4年10月1日現在の第1-7表を引用し、和歌山県にハイライトした。

1 書類等の題名

「総人口・構成割合,年齢3区分×都道府県」

資料 2-2 学生確保（資料）11 ページ

2 出典

総務省統計局「人口推計」

3 引用範囲

https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp

4 その他の説明

平成 27 年 10 月 1 日現在の第 1-7 表を引用し、和歌山県にハイライトした。

1 書類等の題名

「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R2～R3」

資料 3-1 学生確保（資料）12 ページ

2 出典

日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部

私立大学・短期大学等入学志願動向 主な学部別の志願者：入学者動向より

3 引用範囲

https://www.shigaku.go.jp/s_center_d_shigandoukou.htm

4 その他の説明

保健系・看護学部箇所を青枠で囲った。

1 書類等の題名

「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R3～R4」

資料 3-2 学生確保（資料）13 ページ

2 出典

日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部

私立大学・短期大学等入学志願動向 主な学部別の志願者：入学者動向より

3 引用範囲

https://www.shigaku.go.jp/s_center_d_shigandoukou.htm

4 その他の説明

保健系・看護学部の箇所を青枠で囲った。

1 書類等の題名

「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）R4～R5」

資料 3-3 学生確保（資料）14 ページ

2 出典

日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部

私立大学・短期大学等入学志願動向 主な学部別の志願者：入学者動向より

3 引用範囲

https://www.shigaku.go.jp/s_center_d_shigandoukou.htm

4 その他の説明

保健系・看護学部の箇所を青枠で囲った。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	和歌山県	96人	96.0%
2	大阪府	2人	2.0%
3	奈良県	2人	2.0%
4	—	0人	0.0%
5	—	0人	0.0%
	全 体	100人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 （都道府県）	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	和歌山県	84.51%	88.65%	89.69%
2	—	—	—	—

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	保健系学部（大学）	94.58%	96.60%	97.09%
2	—	—	—	—

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 和歌山看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	8人	8人	8人	5人
	延べ人数	志願者数	-	-	47人	39人	38人
		受験者数	-	-	46人	39人	38人
		合格者数	-	-	13人	27人	19人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	-	-	47人	39人	38人
		受験者数	-	-	46人	39人	38人
		合格者数	-	-	13人	27人	19人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	0人
	入学者数	-	-	13人	17人	17人	16人
学校推薦型選抜	募集人数	43人	43人	43人	43人	40人	42人
	延べ人数	志願者数	124人	147人	122人	102人	118人
		受験者数	124人	147人	121人	102人	118人
		合格者数	75人	77人	61人	63人	69.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	13人	11人	10人	12人	12.6
	実人数	志願者数	124人	147人	122人	102人	118
		受験者数	124人	147人	121人	102人	117.8
		合格者数	75人	77人	61人	63人	69.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	13人	11人	10人	12人	12.6
	入学者数	62人	66人	51人	51人	56人	57.2
一般選抜	募集人数	39人	39人	34人	34人	34人	36
	延べ人数	志願者数	190人	236人	205人	180人	185.8
		受験者数	169人	209人	187人	156人	164.8
		合格者数	90人	82人	76人	62人	74.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	49人	41人	49人	37人	43.4
	実人数	志願者数	190人	236人	205人	180人	185.8
		受験者数	169人	209人	187人	156人	164.6
		合格者数	90人	82人	76人	62人	74.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	49人	41人	49人	37人	43.4
	入学者数	40人	41人	27人	25人	23人	31.2
共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	5人	5人	5人	6.2
	延べ人数	志願者数	35人	34人	45人	34人	34.4
		受験者数	35人	34人	45人	34人	34.4
		合格者数	20人	20人	20人	19人	20
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	18人	17人	17人	18人	17.6
	実人数	志願者数	35人	34人	45人	34人	34.4
		受験者数	35人	34人	45人	34人	34.4
		合格者数	20人	20人	20人	19人	20
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	18人	17人	17人	18人	17.6
	入学者数	2人	3人	3人	1人	2人	2.2
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	若干名	若干名	3人	1
	延べ人数	志願者数	-	-	5人	10人	5.7
		受験者数	-	-	5人	10人	5.7
		合格者数	-	-	3人	5人	3.3
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0
		辞退者数	-	-	0人	0人	0
	実人数	志願者数	-	-	5人	10人	5.7
		受験者数	-	-	5人	10人	5.7
		合格者数	-	-	3人	5人	3.3
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0
		辞退者数	-	-	0人	0人	0
	入学者数	-	-	3人	5人	2人	3.3
合計	募集人数	90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	349人	417人	424人	365人	365人
		受験者数	328人	390人	404人	341人	343人
		合格者数	185人	179人	173人	176人	178人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	80人	69人	76人	67人	74人
	実人数	志願者数	349人	417人	424人	365人	365人
		受験者数	328人	390人	404人	341人	343人
		合格者数	185人	179人	173人	176人	178人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	80人	69人	76人	67人	74人
	入学者数	104人	110人	97人	99人	100人	102人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入学定員充足率	1.16	1.22	1.08	1.10	1.11	1.13
歩留率	0.56	0.61	0.56	0.56	0.56	0.57

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
総合型選抜・その他の特別選抜はR4年度より実施。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 医療保健学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	8人	12人	12人	12人	12人	11人
	延べ人数	志願者数	96人	142人	103人	91人	107人
		受験者数	95人	140人	103人	90人	106人
		合格者数	11人	34人	29人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	96人	142人	103人	91人	107人
		受験者数	95人	140人	103人	90人	106人
		合格者数	11人	34人	29人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	11人	34人	28人	30人	32人	27人
学校推薦型選抜	募集人数	22人	28人	28人	28人	28人	27人
	延べ人数	志願者数	35人	70人	58人	48人	54人
		受験者数	35人	69人	57人	48人	54人
		合格者数	27人	40人	45人	40人	38.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	35人	70人	58人	48人	54.4
		受験者数	35人	69人	57人	48人	54
		合格者数	27人	40人	45人	40人	38.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	27人	40人	45人	40人	39人	38.2
一般選抜	募集人数	52人	50人	50人	50人	50人	50.4
	延べ人数	志願者数	675人	806人	667人	597人	669.8
		受験者数	585人	720人	587人	517人	588
		合格者数	179人	164人	184人	174人	179.2
		うち追加合格者数	34人	0人	10人	5人	12.4
		辞退者数	122人	131人	134人	129人	133.4
	実人数	志願者数	675人	806人	667人	597人	669.8
		受験者数	585人	720人	587人	517人	588
		合格者数	179人	164人	184人	174人	179.2
		うち追加合格者数	34人	0人	10人	5人	12.4
		辞退者数	122人	131人	134人	129人	133.4
	入学者数	57人	33人	50人	45人	44人	45.8
共通テスト利用入試	募集人数	18人	10人	10人	10人	10人	11.6
	延べ人数	志願者数	313人	351人	300人	233人	277.6
		受験者数	313人	351人	300人	233人	277.6
		合格者数	112人	104人	89人	74人	97.6
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	103人	97人	88人	74人	93.2
	実人数	志願者数	313人	351人	300人	233人	277.6
		受験者数	313人	351人	300人	233人	277.6
		合格者数	112人	104人	89人	74人	97.6
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	103人	97人	88人	74人	93.2
	入学者数	9人	7人	1人	0人	5人	4.4
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	1119人	1369人	1128人	969人	1109人
		受験者数	1028人	1280人	1047人	888人	1026人
		合格者数	329人	342人	347人	318人	342人
		うち追加合格者数	35人	0人	10人	5人	13人
		辞退者数	225人	228人	223人	203人	227人
	実人数	志願者数	1119人	1369人	1128人	969人	1109人
		受験者数	1028人	1280人	1047人	888人	1026人
		合格者数	329人	342人	347人	318人	342人
		うち追加合格者数	35人	0人	10人	5人	13人
		辞退者数	225人	228人	223人	203人	227人
	入学者数	104人	114人	124人	115人	120人	115人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.04	1.14	1.24	1.15	1.20	1.15
歩留率	0.32	0.33	0.36	0.36	0.32	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 医療保健学部医療栄養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	20人	30人	33人	40人	40人	33人
	延べ人数	志願者数	55人	66人	32人	44人	47人
		受験者数	55人	66人	32人	36人	46人
		合格者数	50人	59人	31人	35人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	55人	66人	32人	36人	47人
		受験者数	55人	66人	32人	36人	46人
		合格者数	50人	59人	31人	35人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	2人	1人
	入学者数	50人	58人	31人	33人	39人	42人
学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	13人	21人	18人	10人	25人
		受験者数	13人	21人	18人	10人	25人
		合格者数	12人	21人	18人	10人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	13人	21人	18人	10人	25人
		受験者数	13人	21人	18人	10人	25人
		合格者数	12人	21人	18人	10人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	12人	21人	18人	10人	25人	17.2人
一般選抜	募集人数	45人	40人	40人	35人	35人	39人
	延べ人数	志願者数	124人	87人	64人	56人	76人
		受験者数	104人	63人	49人	42人	61人
		合格者数	96人	59人	43人	34人	47人
		うち追加合格者数	1人	1人	2人	0人	0人
		辞退者数	66人	44人	30人	24人	33人
	実人数	志願者数	124人	87人	64人	56人	76人
		受験者数	104人	63人	49人	42人	61人
		合格者数	96人	59人	43人	34人	47人
		うち追加合格者数	1人	1人	2人	0人	0人
		辞退者数	66人	44人	30人	24人	33人
	入学者数	30人	15人	13人	10人	14人	16.4人
共通テスト利用入試	募集人数	15人	10人	7人	5人	5人	8.4人
	延べ人数	志願者数	82人	70人	64人	43人	39人
		受験者数	82人	70人	64人	43人	39人
		合格者数	73人	69人	63人	43人	39人
		うち追加合格者数	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	62人	60人	42人	37人
	実人数	志願者数	82人	70人	64人	43人	39人
		受験者数	82人	70人	64人	43人	39人
		合格者数	73人	69人	63人	43人	39人
		うち追加合格者数	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	62人	60人	42人	37人
	入学者数	6人	7人	3人	1人	2人	3.8人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	274人	244人	178人	145人	184人
		受験者数	254人	220人	163人	131人	168人
		合格者数	231人	208人	155人	122人	150人
		うち追加合格者数	1人	2人	2人	0人	0人
		辞退者数	133人	107人	90人	68人	70人
	実人数	志願者数	274人	244人	178人	145人	184人
		受験者数	254人	220人	163人	131人	168人
		合格者数	231人	208人	155人	122人	150人
		うち追加合格者数	1人	2人	2人	0人	0人
		辞退者数	133人	107人	90人	68人	70人
	入学者数	98人	101人	65人	54人	80人	80人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.98	1.01	0.65	0.54	0.80	0.80
歩留率	0.42	0.49	0.42	0.44	0.53	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	40人	45人	45人	45人	40人	43人
	延べ人数	62人	51人	32人	22人	19人	37人
	志願者数	61人	51人	31人	22人	19人	37人
	受験者数	60人	51人	29人	22人	19人	36人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	3人	0人	0人	1人	1人
	辞退者数	62人	51人	32人	22人	19人	37人
	志願者数	61人	51人	31人	22人	19人	37人
	受験者数	60人	51人	29人	22人	19人	36人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	3人	0人	0人	1人	1人
	辞退者数	59人	48人	29人	22人	18人	35人
学校推薦型選抜	募集人数	13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	11人	15人	19人	14人	10人	14人
	志願者数	11人	15人	19人	14人	10人	14人
	受験者数	11人	15人	19人	14人	10人	13.8
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	11人	15人	19人	14人	10人	13.8
	志願者数	11人	15人	19人	14人	10人	13.8
	受験者数	11人	15人	19人	14人	10人	13.8
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	11人	15人	19人	14人	10人	13.8
一般選抜	募集人数	20人	17人	17人	17人	22人	18.6
	延べ人数	62人	49人	29人	40人	24人	40.8
	志願者数	57人	42人	20人	32人	22人	34.6
	受験者数	53人	41人	19人	30人	17人	32
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
	うち追加合格者数	35人	25人	16人	22人	12人	22
	辞退者数	62人	49人	29人	40人	24人	40.8
	志願者数	57人	42人	20人	32人	22人	34.6
	受験者数	53人	41人	19人	30人	17人	32
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
	うち追加合格者数	35人	25人	16人	22人	12人	22
	辞退者数	18人	16人	3人	8人	5人	10
共通テスト利用入試	募集人数	7人	5人	5人	5人	5人	5.4
	延べ人数	29人	34人	18人	22人	11人	22.8
	志願者数	29人	34人	18人	22人	11人	22.8
	受験者数	23人	34人	17人	22人	9人	21
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	19人	28人	15人	18人	9人	17.8
	辞退者数	29人	34人	18人	22人	11人	22.8
	志願者数	29人	34人	18人	22人	11人	22.8
	受験者数	23人	34人	17人	22人	9人	21
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	19人	28人	15人	18人	9人	17.8
	辞退者数	4人	6人	2人	4人	0人	3.2
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	-	-	-	-	-	-
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	164人	149人	98人	98人	64人	115人
	志願者数	158人	142人	88人	90人	62人	108人
	受験者数	147人	141人	84人	88人	55人	103人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	55人	56人	31人	40人	22人	41人
	辞退者数	164人	149人	98人	98人	64人	115人
	志願者数	158人	142人	88人	90人	62人	108人
	受験者数	147人	141人	84人	88人	55人	103人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	55人	56人	31人	40人	22人	41人
	辞退者数	92人	85人	53人	48人	33人	62人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	1.15	1.06	0.66	0.60	0.41	0.78
歩留率	0.63	0.60	0.63	0.55	0.60	0.60

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 東が丘看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	8人	8人	8人	5人
	延べ人数						
	志願者数	-	-	101人	93人	40人	78人
	受験者数	-	-	99人	92人	40人	77人
	合格者数	-	-	21人	20人	18人	20人
	うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	実人数						
	志願者数	-	-	101人	93人	40人	78人
	受験者数	-	-	99人	92人	40人	77人
	合格者数	-	-	21人	20人	18人	20人
	うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	入学者数	-	-	21人	20人	18人	20人
学校推薦型選抜	募集人数	40人	43人	38人	38人	38人	39人
	延べ人数						
	志願者数	62人	79人	80人	77人	24人	64人
	受験者数	62人	78人	79人	77人	24人	64人
	合格者数	58人	73人	57人	52人	24人	52.8
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数						
	志願者数	62人	79人	80人	77人	24人	64.4
	受験者数	62人	78人	79人	77人	24人	64
	合格者数	58人	73人	57人	52人	24人	52.8
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	58人	73人	57人	52人	24人	52.8
一般選抜	募集人数	50人	50人	47人	47人	47人	48.2
	延べ人数						
	志願者数	421人	563人	513人	358人	368人	444.6
	受験者数	361人	499人	450人	292人	310人	382.4
	合格者数	137人	159人	137人	125人	152人	142
	うち追加合格者数	11人	0人	10人	3人	5人	5.8
	辞退者数	82人	113人	102人	87人	95人	95.8
	実人数						
	志願者数	421人	563人	513人	358人	368人	444.6
	受験者数	361人	499人	450人	292人	310人	382.4
	合格者数	137人	159人	137人	125人	152人	142
	うち追加合格者数	11人	0人	10人	3人	5人	5.8
	辞退者数	82人	113人	102人	87人	95人	95.8
	入学者数	55人	45人	35人	38人	57人	46
共通テスト利用入試	募集人数	10人	7人	7人	7人	7人	7.6
	延べ人数						
	志願者数	188人	196人	183人	110人	81人	151.6
	受験者数	188人	196人	183人	110人	81人	151.6
	合格者数	65人	64人	47人	33人	44人	50.6
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	63人	60人	44人	32人	42人	48.2
	実人数						
	志願者数	188人	196人	183人	110人	81人	151.6
	受験者数	188人	196人	183人	110人	81人	151.6
	合格者数	65人	64人	47人	33人	44人	50.6
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	63人	60人	44人	32人	42人	48.2
	入学者数	2人	4人	3人	1人	2人	2.4
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数						
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数						
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数						
	志願者数	671人	838人	877人	638人	513人	707人
	受験者数	611人	773人	811人	571人	455人	644人
	合格者数	260人	296人	262人	230人	238人	257人
	うち追加合格者数	11人	0人	10人	3人	5人	6人
	辞退者数	145人	173人	146人	119人	137人	144人
	実人数						
	志願者数	671人	838人	877人	638人	513人	707人
	受験者数	611人	773人	811人	571人	455人	644人
	合格者数	260人	296人	262人	230人	238人	257人
	うち追加合格者数	11人	0人	10人	3人	5人	6人
	辞退者数	145人	173人	146人	119人	137人	144人
	入学者数	115人	122人	116人	111人	101人	113人

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.15	1.22	1.16	1.11	1.01	1.13
歩留率	0.44	0.41	0.44	0.48	0.42	0.44

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
総合型選抜はR4年度より実施。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 立川看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	8人	2人
	延べ人数					88人	88人
	志願者数	-	-	-	-	88人	88人
	受験者数	-	-	-	-	21人	21人
	合格者数	-	-	-	-	0人	0人
	うち追加合格者数	-	-	-	-	0人	0人
	辞退者数	-	-	-	-	88人	88人
	実人数	-	-	-	-	88人	88人
	志願者数	-	-	-	-	21人	21人
	受験者数	-	-	-	-	0人	0人
	合格者数	-	-	-	-	0人	0人
	うち追加合格者数	-	-	-	-	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	40人	43人	43人	43人	38人	41人
	延べ人数					75人	76人
	志願者数	68人	95人	71人	73人	75人	76人
	受験者数	68人	95人	71人	73人	75人	76人
	合格者数	60人	66人	63人	62人	51人	60.4
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0.2
	実人数	68人	95人	71人	73人	75人	76.4
	志願者数	68人	95人	71人	73人	75人	76.4
	受験者数	68人	95人	71人	73人	75人	76.4
	合格者数	60人	66人	63人	62人	51人	60.4
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
一般選抜	募集人数	50人	50人	50人	50人	47人	49.4
	延べ人数					47人	428
	志願者数	410人	458人	516人	398人	358人	428
	受験者数	359人	404人	458人	339人	313人	374.6
	合格者数	143人	155人	136人	135人	112人	136.2
	うち追加合格者数	30人	0人	8人	7人	14人	11.8
	辞退者数	88人	102人	90人	80人	70人	86
	実人数	410人	458人	516人	398人	358人	428
	志願者数	410人	458人	516人	398人	358人	428
	受験者数	359人	404人	458人	339人	313人	374.6
	合格者数	143人	155人	136人	135人	112人	136.2
	うち追加合格者数	30人	0人	8人	7人	14人	11.8
共通テスト利用入試	募集人数	10人	7人	7人	7人	7人	7.6
	延べ人数						150.2
	志願者数	178人	180人	163人	149人	81人	150.2
	受験者数	178人	180人	163人	149人	81人	150.2
	合格者数	64人	62人	51人	43人	33人	50.6
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	61人	58人	46人	43人	31人	47.8
	実人数	178人	180人	163人	149人	81人	150.2
	志願者数	178人	180人	163人	149人	81人	150.2
	受験者数	178人	180人	163人	149人	81人	150.2
	合格者数	64人	62人	51人	43人	33人	50.6
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数						
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数	-	-	-	-	-	-
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数						
	志願者数	656人	733人	750人	620人	602人	672人
	受験者数	605人	679人	692人	561人	557人	619人
	合格者数	267人	283人	250人	240人	217人	251人
	うち追加合格者数	30人	0人	8人	7人	14人	12人
	辞退者数	149人	160人	136人	123人	102人	134人
	実人数	656人	733人	750人	620人	602人	672人
	志願者数	656人	733人	750人	620人	602人	672人
	受験者数	605人	679人	692人	561人	557人	619人
	合格者数	267人	283人	250人	240人	217人	251人
	うち追加合格者数	30人	0人	8人	7人	14人	12人
	辞退者数	149人	160人	136人	123人	102人	134人
	入学者数	118人	123人	114人	117人	115人	117人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
入 学 定 員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入 学 定 員 充 足 率	1.18	1.23	1.14	1.17	1.15	1.17
歩 留 率	0.44	0.43	0.46	0.49	0.53	0.47

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
総合型選抜はR4年度より実施。

大学学部学科等名：東京医療保健大学 千葉看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	8人	8人	3人
	延べ人数						
	志願者数	-	-	-	57人	30人	44人
	受験者数	-	-	-	57人	30人	44人
	合格者数	-	-	-	19人	16人	18人
	うち追加合格者数	-	-	-	0人	0人	0人
	辞退者数	-	-	-	0人	0人	0人
	実人数						
	志願者数	-	-	-	57人	30人	44人
	受験者数	-	-	-	57人	30人	44人
	合格者数	-	-	-	19人	16人	18人
	うち追加合格者数	-	-	-	0人	0人	0人
	辞退者数	-	-	-	0人	0人	0人
	入学者数	-	-	-	19人	16人	18人
学校推薦型選抜	募集人数	40人	43人	43人	38人	38人	40人
	延べ人数						
	志願者数	78人	71人	67人	51人	40人	61人
	受験者数	78人	71人	67人	51人	40人	61人
	合格者数	61人	64人	63人	44人	38人	54
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数						
	志願者数	78人	71人	67人	51人	40人	61.4
	受験者数	78人	71人	67人	51人	40人	61.4
	合格者数	61人	64人	63人	44人	38人	54
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	61人	64人	63人	44人	38人	54
一般選抜	募集人数	50人	50人	50人	47人	47人	48.8
	延べ人数						
	志願者数	481人	412人	440人	344人	365人	408.4
	受験者数	425人	360人	385人	283人	313人	353.2
	合格者数	140人	146人	148人	153人	131人	143.6
	うち追加合格者数	18人	5人	16人	16人	21人	15.2
	辞退者数	91人	99人	102人	81人	86人	91.8
	実人数						
	志願者数	481人	412人	440人	344人	365人	408.4
	受験者数	425人	360人	385人	283人	313人	353.2
	合格者数	140人	146人	148人	153人	131人	143.6
	うち追加合格者数	18人	5人	16人	16人	21人	15.2
	辞退者数	91人	99人	102人	81人	86人	91.8
	入学者数	49人	47人	46人	72人	45人	51.8
共通テスト利用入試	募集人数	10人	7人	7人	7人	7人	7.6
	延べ人数						
	志願者数	192人	178人	138人	89人	91人	137.6
	受験者数	192人	178人	138人	89人	91人	137.6
	合格者数	70人	66人	48人	33人	40人	51.4
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	65人	65人	47人	32人	40人	49.8
	実人数						
	志願者数	192人	178人	138人	89人	91人	137.6
	受験者数	192人	178人	138人	89人	91人	137.6
	合格者数	70人	66人	48人	33人	40人	51.4
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	65人	65人	47人	32人	40人	49.8
	入学者数	5人	1人	1人	1人	0人	1.6
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数						
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数						
	志願者数	-	-	-	-	-	-
	受験者数	-	-	-	-	-	-
	合格者数	-	-	-	-	-	-
	うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
	辞退者数	-	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数						
	志願者数	751人	661人	645人	541人	526人	625人
	受験者数	695人	609人	590人	480人	474人	570人
	合格者数	271人	276人	259人	249人	225人	256人
	うち追加合格者数	18人	5人	16人	16人	21人	15人
	辞退者数	156人	164人	149人	113人	126人	142人
	実人数						
	志願者数	751人	661人	645人	541人	526人	625人
	受験者数	695人	609人	590人	480人	474人	570人
	合格者数	271人	276人	259人	249人	225人	256人
	うち追加合格者数	18人	5人	16人	16人	21人	15人
	辞退者数	156人	164人	149人	113人	126人	142人
	入学者数	115人	112人	110人	136人	99人	114人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.15	1.12	1.10	1.36	0.99	1.14
歩留率	0.42	0.41	0.42	0.55	0.44	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
総合型選抜はR4年度より実施。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：東京医療保健大学和歌山看護学部オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	479人	603人	①取組概要 授業体験や入試説明会、在学生との懇親など学部の特徴がわかるイベントを実施。 R6年度入試対象(R5開催)：計4回実施(6/11, 7/23, 8/6, 8/20) R5年度入試対象(R4開催)：(6/12, 7/23, 7/24, 8/6, 8/7, 8/21, 9/4) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 過去の実績より、イベントに参加した受験生のうち、受験率・入学率ともに上昇していることを確認できる。
うち受験対象者数(b)	207人	143人	
うち受験者数(c)	127人	103人	
うち入学者数(d)	66人	81人	
(受験率 c/b)	61.35%	72.03%	
(入学率 d/b)	51.97%	78.64%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：東京医療保健大学和歌山看護学部イベントDM（郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	711人	820人	①取組概要 オープンキャンパスなどのイベント内容一覧を和歌山県・大阪府の受験生を中心に送付。R6, R5とも5月に送付。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 過去の実績より、送付した受験対象者のうち、受験率・入学率ともに上昇していることを確認できる。
うち受験対象者数(b)	572人	636人	
うち受験者数(c)	76人	135人	
うち入学者数(d)	35人	69人	
(受験率 c/b)	13.29%	21.23%	
(入学率 d/b)	46.05%	51.11%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	カメヤマ シュウジ 亀山 周二 ＜令和3年4月＞		博士（医学）		東京医療保健大学 学長 (令和3.4～令和7.3)